

基本目標別達成状況総括表

基本目標1
<p>数値目標</p> <p>○転出超過数 320人(H30)→117人(R4)→144人(R6) ※期間は各年10月1日～翌年9月30日</p> <p>○人口に対する個人の市民税の納税義務者数の割合 36.5%(H30)→37.7%(R4)→36.5%(R6)</p>
<p>数値目標に対する総合評価</p> <p>転出超過数 ○令和4年度は117人となっており、前年度(189人)と比較して72人の減となっている。 ○要因として、この要因として、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響から人の動きが少なかったことが考えられます。</p> <p>人口に対する個人の市民税の納税義務者数の割合 ○前年度(37.4%)と比較して割合は横ばいで推移している。 ○要因として、納税義務者数及び人口ともに前年度から減少したものの、前年度の人口(R3.9:24,190人)に対する個人の市民税の納税義務者数(9,049人)の割合と、令和4年度の人口(R4.9:23,700人)に対する個人の市民税の納税義務者数(8,926人)の割合が近似していたことによるものである。</p>

仕事づくり							
①魅力ある雇用の確保							
(KPI)	H30	R2末	R3末	R4末	R6	評価(KPIの達成度、今後の対策など)	
1	企業誘致に伴う新規雇用者数【累計】	4人 (H29実績)	0人 (R2実績)	1人 (R3累計)	1人 (R4累計)	30人 (R2-R6累計)	<p>R2末</p> <p>○令和2年度の企業誘致に伴う新規雇用者数は0人であり、また工業・流通団地全体の就業者数も令和元年度末が180人に対し、令和2年度末は176人と減少している。 ○引き続き竹原市へ誘致を考えている企業等への雇用奨励金等助成制度の周知を行い、企業誘致及び雇用の促進を目指す。</p> <p>R3末</p> <p>○令和3年度の企業誘致に伴う新規雇用者数は1人であり、工業・流通団地全体の就業者数は令和2年度末の176人に対し、令和3年度末は183人と増加している。 ○引き続き竹原市へ誘致を考えている企業等への雇用奨励金等助成制度の周知を行い、企業誘致及び雇用の促進を目指す。</p> <p>R4末</p> <p>○令和4年度の企業誘致に伴う新規雇用者数は0人(R2-R4累計は1人)であり、工業・流通団地全体の就業者数は令和3年度の183人に対し、令和4年度は192人と増加している。 ○企業誘致促進条例を改正し、雇用奨励金等の拡充および要件緩和することで雇用の創出に繋げる。</p>
2	竹原市就職ガイダンス参加者のうち市内企業への就職者数【単年】	9人	3人	0人	3人	20人	<p>R2末</p> <p>○令和2年度は新型コロナウイルスの影響から、就職ガイダンスへの参加者数、参加事業所数及び就職者数は減少した。 ○今後はSNSを活用した情報発信を強化し、県内のみならず県外の求職者に対して就職ガイダンスの周知を行うことで、就職ガイダンス参加者の増加を目指す。</p> <p>R3末</p> <p>○R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため就職ガイダンスが開催できなかった。 ○今後は状況に応じてオンライン開催も検討する。また、SNS等の活用を強化し、ふるさと就職登録者を募るとともに、登録者に就職ガイダンス案内を送付し、市内事業所への就職に繋がるよう取り組む。</p> <p>R4末</p> <p>○令和4年度は遠方の求職者が参加できるようにするため、従来の対面式のガイダンスと並行しオンライン式ガイダンスを実施した。 ○県内の学校や、ハローワークに広報協力依頼を行い、求職者へ広報をおこなう。</p>
3	ふるさと就職登録希望者数	71人	76人	110人	138	150人	<p>R2末</p> <p>○令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため成人式が開催できず、成人式での登録者を募ることができなかったことなどが影響し、登録者は微増となった。 ○今後はSNSを活用した情報発信を強化し、登録者を募るとともに、登録者に就職ガイダンス案内を送付し、市内事業所への就職に繋がるよう取り組む。</p> <p>R3末</p> <p>○令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため就職ガイダンスが開催できなかったものの、市内高等学校に生徒のふるさと就職登録へ協力していただいたことで、登録者は増加した。 ○今後はSNSを活用した情報発信を強化し、登録者を募るとともに、登録者に就職ガイダンス案内を送付し、市内事業所への就職に繋がるよう取り組む。</p> <p>R4末</p> <p>○令和4年度は就職ガイダンス参加者や市内高等学校の生徒へふるさと就職制度への登録依頼を行った。また、ホームページからの直接申込の受付を開始した。 ○引き続き、市内の高等学校をはじめ、成人式、就職ガイダンス等のイベントで登録呼びかけを行う。また、事業者向けメールマガジンを利用し、市内事業者への本事業の周知を図る。</p>
②創業の促進							
(KPI)	H30	R2末	R3末	R4末	R6	評価(KPIの達成度、今後の対策など)	
1	新規創業者数【累計】	37人 (H30実績)	20人 (R2実績)	39人 (R3累計)	54人 (R4累計)	175人 (R2-R6累計)	<p>R2末</p> <p>○新型コロナウイルスに影響を受け、例年活用実績のある空き店舗等改修補助事業について令和2年度は申請が0件であるなど、新規創業者数は減少傾向にある。 ○引き続き創業者の支援を行うとともに、各支援機関と連携をとりながら、創業の促進に取り組む。</p> <p>R3末</p> <p>○空き店舗等改修補助事業について、令和3年度は2件の交付決定(申請は3件)となり、令和2年度実績(申請0件)と比べて増加となった。 ○引き続き創業者の支援を行うとともに、各支援機関と連携をとりながら、創業の促進に取り組む。</p> <p>R4末</p> <p>○竹原市まちなか賑わい創業支援助成金の活用を見込む新規創業者は、これまでも引き合いがあり、この助成事業を継続していくことにより魅力ある店舗の増加に繋がるため、令和5年4月からも実施できるよう要綱改正を行った。 ○新規創業者へのサポート等を行っていくため、竹原市創業支援事業計画に基づき、各機関と連携しながら、継続的に相談対応を行う。</p>
③地域産業の振興							
(KPI)	H30	R2末	R3末	R4末	R6	評価(KPIの達成度、今後の対策など)	
1	新規就農者数+新規農業従事者数【累計】	1人	5人 (R2実績)	8人 (R3累計)	10人 (R4累計)	12人 (R2-R6累計)	<p>R2末</p> <p>○新規就農希望者、新規参入希望者の意向に沿って、農地集積、地域との調整等を図ることで、新規就農者4者及び新規就農者のうち1者において新規農業従事者1人の増加につながった。 ○引き続き新規就農相談及び農地集積の段階から支援を行い、新規就農者の確保を図る。</p> <p>R3末</p> <p>○農福連携の実施を目指し、社会福祉法人宗越園と株式会社八天堂とが竹原市内の農地を活用する取組を実施するため、新規就農者1者及び新規農業従事者2人の増加につながった。 ○引き続き、幅広い作物に関する新規就農相談の実施や農地集積への積極的な支援を行うことで、新規就農者の確保を図る。</p> <p>R4末</p> <p>○新規就農希望者の意向に沿った農地集積を行い、地域との調整等を図るなど農地のマッチングを行うことで、新規就農者2者の増加につながった。 ○引き続き新規就農相談及び農地集積の段階から支援を行い、新規就農者の確保を図る。</p>
2	資本金等の金額が1億円以下の法人数	605社	598社 (R1実績)	607社 (R2実績)	610社 (R3実績)	595社	<p>R2末</p> <p>○令和元年度は、後継者不足による廃業等の理由から、法人数は微減となった。 ○今後も引き続き、関係機関と連携を行い、事業承継の支援に取り組む。 ○令和2年度は、コロナ禍により、多くの中小事業者にとって事業継続が厳しい状況であったが、国のコロナ融資や各種支援等により、法人数は微減が想定される。引き続きコロナ禍にあるが、消費喚起策をはじめとした各種施策や、低利の中小企業融資の運営や先端設備の導入促進等により、中小企業者の支援に取り組む。</p> <p>R3末</p> <p>○令和2年度は、令和元年度実績(598社)と比較して9社の増となった。 ○コロナ禍にあるが、引き続き消費喚起策をはじめとした各種施策や、低利の中小企業融資の運営や先端設備の導入促進等により、中小企業者の支援に取り組む。</p> <p>R4末</p> <p>○令和3年度は、令和2年度実績(607社)と比較して3社の増となった。 ○企業誘致促進条例を改正し、事業者の設備投資を促進する。</p>

移住・定住の促進						
①まちへの誇りと愛着の醸成						
(KPI)	H30	R2末	R3末	R4末	R6	評価(KPIの達成度、今後の対策など)
1 「地域や子供会などの行事に参加している」と答えた児童生徒の割合【県調査】	73.9%	-	67.5%	R2末	79.0%	○令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県の質問紙調査は中止となり、成果指標の算出ができなかった。コロナ禍の状況の中で、多くの地域の行事や子供会活動が中止となったことで、地域と関わる機会が減少し、「地域や子供会などの行事に参加している」と答えた児童生徒の割合」及び、「自分の住んでいる地域が好き」と答えた児童生徒の割合」が減少していることが懸念される。 ○令和3年度には調査が実施されることから、その結果を注視するとともに、引き続きコミュニティ・スクールを活用した、地域活動への積極的な参加を促し、地域と関わる機会の創出を行う。
				R3末		○コロナ禍の状況の中で、多くの地域の行事や子供会活動が中止となったことで、地域と関わる機会が減少していると考えられる。しかし、県の平均値が45.8%であることから、本市においては、地域や子供会などの行事に積極的に参加している状況であると捉えることができる。 ○今後はコロナ禍による自主規制等の緩和により、地域の行事や活動が実施されることに伴い、積極的な参加を促し、地域と関わる機会の創出を行う。
				R4末		○昨年度に続き、コロナ禍の状況の中で、自粛により多くの地域の行事や子供会活動が中止となった。県の平均値が43.5%であり、本市においては、他市町と比較し、地域や子供会などの行事に積極的に参加している状況である。 ○今後はコロナ禍による規制の緩和により、各地域における行事や子供会活動が通常通り実施されることが期待でき、地域との関わりをもつ機会が増加する可能性が高い。
2 「自分の住んでいる地域が好き」と答えた児童生徒の割合【県調査】	86.3%	-	90.8%	R2末	89.0%	○令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県の質問紙調査は中止となり、成果指標の算出ができなかった。コロナ禍の状況の中で、多くの地域の行事や子供会活動が中止となったことで、地域と関わる機会が減少し、「地域や子供会などの行事に参加している」と答えた児童生徒の割合」及び、「自分の住んでいる地域が好き」と答えた児童生徒の割合」が減少していることが懸念される。 ○令和3年度には調査が実施されることから、その結果を注視するとともに、引き続きコミュニティ・スクールを活用した、地域活動への積極的な参加を促し、地域と関わる機会の創出を行う。
				R3末		○前回調査時よりも数値は向上している。また、県の平均値が85.2%であることから、本市における児童生徒の地域へ愛着度は高い。各学校における地域を題材とした教育内容の創造及び実践を通して、児童生徒の地域への愛着を生み出していると考えられる。 ○引き続きコミュニティ・スクールを通して、地域とともにある学校づくりを推進し、地域の子供たちを地域で育てていく風土を醸成していきたい。
				R4末		○昨年度に引き続き、目標値を達成している。また、県の平均値が88.7%であることから、本市における児童生徒の地域へ愛着度は依然高い。各学校においてコミュニティ・スクールを核とし、地域の教育資源を十分活用した教育内容の創造及び実践を通して、児童生徒の地域への愛着を生み出している。 ○引き続きコミュニティ・スクールを通して、地域とともにある学校づくりを推進するとともに、地域の行事等への積極的な参加を促すことにより、次代の地域を担う人材として育成していきたい。

②U・I・Jターンの促進						
(KPI)	H30	R2末	R3末	R4末	R6	評価(KPIの達成度、今後の対策など)
1 移住者数(施策に関連した者に限る)【累計】	12人 (H30実績)	3人 (R2実績)	19人 (R3累計)	R2末	50人 (R2-R6累計)	○令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、移住・定住セミナー、フェアはすべてオンラインでの実施となった。都市から地方への移住ニーズは高まっており、電話やメールでの相談件数は増加傾向であるが、実際に現地を訪ねることが困難な状況であったことから、移住者数は減少傾向となった。 ○引き続き広島県と連携し、移住・定住セミナー、フェアを実施するとともに、移住者の属性(家族構成、職業、性別、年代など)ごとの傾向など調査し、誰をターゲットにどのような情報を届けるのが効果的であるかを検討した上で、情報発信の強化を行う。
				R3末		○令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、移住・定住セミナー、フェアはすべてオンラインでの実施となった。都市から地方への移住ニーズは高まっており、電話やメールでの相談件数は増加傾向にある。また、移住者数についても、前年度と比較して増加した。 ○引き続き広島県と連携し、移住・定住セミナー、フェアを実施するとともに、移住者の属性(家族構成、職業、性別、年代など)ごとの傾向など調査し、誰をターゲットにどのような情報を届けるのが効果的であるかを検討した上で、情報発信の強化を行う。
				R4末		○大阪・東京にて、移住・定住セミナー、フェアに参加し、竹原の魅力発信を行った。都市から地方への移住ニーズは高まっており、電話やメールでの相談件数は前年と比較して減少したものの、移住者数については、前年度と比較して増加した。 ○引き続き広島県と連携し、移住・定住セミナー、フェアを実施するとともに、観光まちづくり機構と連携して移住定住サポートセンターを開設し、地域のキーパーソンを移住コーディネーターに任命することで、移住希望者のニーズに合わせた地域情報の発信・相談対応を実施していく。

③暮らしやすい環境の創出						
(KPI)	H30	R2末	R3末	R4末	R6	評価(KPIの達成度、今後の対策など)
1 都市機能誘導施設が充足している区域	4区域	2区域	2区域	R2末	4区域	○平成30年7月豪雨により災害復旧・復興事業の実施や市税等の一般財源の減少及び社会保障関連経費・施設の老朽化への対応経費など、厳しい財政状況を踏まえた財政健全化計画に基づく取組において、出張所等の一部が廃止され、2区域に減少となった。 ○引き続き代替機能の確保や公共交通の利便性向上等の取組を進め、暮らしやすい環境の創出に取り組んでいく。
				R3末		○厳しい財政状況を踏まえた財政健全化計画に基づく取組において、出張所及び連絡所が廃止され、2区域に減少となった。 ○引き続き代替機能の確保や公共交通の利便性向上等の取組を進め、暮らしやすい環境の創出に取り組んでいく。
				R4末		○厳しい財政状況を踏まえた財政健全化計画に基づく取組において、出張所及び連絡所が廃止され、2区域に減少となった。 ○令和4年度は公共交通の利便性向上等の取組を進めるため、吉名地区・仁賀地区で住民ニーズの把握や適正な運行ダイヤなどのデータを収集を目的としたデマンド型乗合タクシー実証運行を実施した。 ○引き続き代替機能の確保や公共交通の利便性向上等の取組を進め、暮らしやすい環境の創出に取り組んでいく。
2 路線バス全路線の平均乗車密度(高速バスを除く)	1.9人	1.4人	1.4人	R2末	2.0人	○平成30年度7月豪雨災害によりJRの代替として路線バスを利用した人が多かったことなどの要因から数値が上昇した令和元年度と比較し、そうした要因が解消された令和2年度には数値が減少した。 ○引き続き利用者のニーズを踏まえた公共交通の再編に向けた取組を行う。
				R3末		○令和3年5月に同地区の交通モードの見直しにより竹原駅から安芸津方面へのバス路線が休止となったものの、残りの6路線の平均乗車密度は、前年度と比較し同率となった。 ○令和3年5月から市内2地区で開始したデマンド型乗合タクシー実証運行に係る令和3年度の平均乗車密度 ●吉名地区【3.3人】 ●仁賀地区【1.5人】 ○引き続き利用者のニーズを踏まえた公共交通の再編に向けた取組を行う。
				R4末		○市内のバス路線は、バス路線の乗客数がコロナの影響に伴いコロナ前までの状態に回復が見込めない状況にあり、かつ、令和3年5月に休止となっていた竹原駅から安芸津方面へのバス路線が令和5年4月から廃止となったことにより路線バス全路線の平均乗車密度は前年と比較し減少した。 ○令和3年5月から市内2地区で開始したデマンド型乗合タクシー実証運行に係る令和4年度の平均乗車密度は、令和3年度の実績に基づき運航ダイヤ等の見直しを行った結果、吉名地区で4.5人、仁賀地区で1.8人となり前年度と比較し増加した。 ○これらを踏まえ、今後、通勤や通学等で利用できない公共交通空白地の解消や高齢者や観光客に配慮した異なる交通モードへのスムーズな乗り継ぎができる環境づくりへの取組などを実施し、市内外の利用者が利用しやすい持続可能な公共交通ネットワーク体系の構築に取り組む、竹原でのひとの流れの創出を促進する必要がある。
3 空き家バンク成約件数【H20からの累計】	49件	81件	97件	R2末	78件	○令和2年度の成約件数は17件、累計成約件数は81件となり、当初目標値を達成している。 ○引き続き、都市整備課の改修費助成や家財道具処分費補助の紹介や地元宅建業者との連携を図り、成約件数を伸ばす取組を進める。
				R3末		○令和3年度の成約件数は16件、累計成約件数は97件となり、当初目標値を達成している。 ○引き続き、改修費助成や家財道具処分費補助の紹介や地元宅建業者との連携を図り、成約件数を伸ばす取組を進める。
				R4末		○令和4年度の成約件数は14件、累計成約件数は111件となり、当初目標値を達成している。 ○引き続き、改修費助成や家財道具処分費補助の紹介や地元宅建業者との連携を図り、成約件数を伸ばす取組を進める。
4 地域防災リーダー登録者数【累計】	-	68人	87人	R2末	75人	○令和元年より受付を開始し、市内にある75自治会のうち、35自治会に1人以上の防災リーダーが登録しており、目標数値を達成できる見込みである。 ○今後は女性の防災リーダーの増加と合わせ、各自治会に最低1人以上の防災リーダーの養成を目指し、市全体の地域防災力向上に努める。
				R3末		○令和元年より受付を開始し、市内にある75自治会のうち、43自治会に1人以上の防災リーダーが登録しており、すでに目標数値を達成している。 ○今後は女性の防災リーダーの増加と合わせ、各自治会に最低1人以上の防災リーダーの養成を目指し、市全体の地域防災力向上に努める。
				R4末		○令和元年より受付を開始し、市内にある75自治会のうち、45自治会に1人以上の防災リーダーが登録しており、すでに目標数値を達成している。 ○今後は女性の防災リーダーの増加と合わせ、各自治会に最低1人以上の防災リーダーの養成を目指し、市全体の地域防災力向上に努める。

個別事業シート

基本目標1 しごとをつくり安心して働けるようになる
竹原への新しいひとの流れをつくる

施策の方向性 仕事づくり ①魅力ある雇用の確保

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)	
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財			
1 サテライトオフィス等誘致促進事業	R2	市内産業の活性化及び雇用促進のため、近年業界成長の著しい情報サービス業等の企業の誘致を促進する。	市ホームページ等で誘致促進にサテライトオフィス等誘致促進助成制度の紹介をしている。	【目標】 サテライトオフィスの誘致 【目標数値】 なし	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	呼び込む"ちから"づくりの推進	0					0	C	【担当課意見】 HP等で積極的に事業の情報提供を行っているが、未だに申請に結びついていない。 【今後の見通し】 引き続き情報発信を行い、市内へのオフィス誘致を促進に努める。
	R3	市内産業の活性化及び雇用促進のため、近年業界成長の著しい情報サービス業等の企業の誘致を促進する。	市ホームページ等で誘致促進にサテライトオフィス等誘致促進助成制度の紹介をしている。	【目標】 サテライトオフィスの誘致 【目標数値】 なし	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	呼び込む"ちから"づくりの推進	0					0	B	【担当課意見】 R3年度に首都圏から1件の誘致があった。 【今後の見通し】 引き続き県とも連携を図りながら情報発信を行い、市内へのオフィス誘致を促進に努める。
	R4	市内産業の活性化及び雇用促進のため、近年業界成長の著しい情報サービス業等の企業の誘致を促進する。	市ホームページ等で誘致促進にサテライトオフィス等誘致促進助成制度の紹介をしている。	【目標】 サテライトオフィスの誘致 【目標数値】 なし	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	呼び込む"ちから"づくりの推進	0					0	B	【担当課意見】 県と連携を図りながら情報発信を行う中で、R4年度は事業承継に伴い新たに新規申請があったが、それ以外の新規申請はなかった。 【今後の見通し】 引き続き県とも連携を図りながら情報発信を行い、市内へのオフィス誘致の促進に努める。
2 企業誘致事業	R2	雇用機会の確保と産業の活性化を図るため、県などの関係機関と連携して、竹原工業・流通団地など市内への製造業等の企業誘致活動を展開する。	市ホームページ等で企業誘致及び増設に係る奨励金を紹介した。 工場立地法の緑地面積率の緩和を図った。	【目標】 企業誘致に伴う新規雇用者数 【目標数値】 30人(R2-R6累計)	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	0					0	B	【担当課意見】 R2年度はI区画が購入され、残りG区画のみとなった。 【今後の見通し】 引き続き奨励金制度の広報に努め、企業誘致を促進し雇用の促進を図る。
	R3	雇用機会の確保と産業の活性化を図るため、県などの関係機関と連携して、竹原工業・流通団地など市内への製造業等の企業誘致活動を展開する。	市ホームページ等で企業誘致及び増設に係る奨励金を紹介した。	【目標】 企業誘致に伴う新規雇用者数 【目標数値】 30人(R2-R6累計)	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	142,500					142,500	B	【担当課意見】 R2年度にI区画が購入され、残りG区画のみとなっており(分譲率93.8%)、奨励金制度について市HPで紹介するなど企業誘致活動を展開しているが、100%には達していない。 【今後の見通し】 引き続き奨励金制度の広報に努め、企業誘致を促進し雇用の促進を図る。
	R4	雇用機会の確保と産業の活性化を図るため、県などの関係機関と連携して、竹原工業・流通団地など市内への製造業等の企業誘致活動を展開する。	市ホームページ等で企業誘致及び増設に係る奨励金を紹介した。	【目標】 企業誘致に伴う新規雇用者数 【目標数値】 30人(R2-R6累計)	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	142,500					142,500	A	【担当課意見】 R4年度にG区画が購入され、当団地の分譲率は100%となった。 【今後の見通し】 市内へのさらなる企業誘致、雇用の確保を推進するため、R5.4月から新たに「竹原市企業誘致促進条例」を制定し、市内全域を対象に奨励措置の対象となる業種の拡大、要件の緩和、奨励金の増額など、制度の拡充を図り、民間の遊休資産を活用しながら企業誘致を進める。

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)	
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財			
3 ふるさと就職登録制度推進事業	R2	市内事業所の人材確保を図るため、市内への就職希望者の情報を登録し、登録情報を市内事業所に提供する。	HPや広報誌等で、本制度を周知するとともに、市内の県立高等学校に出向き登録者を募った。登録者情報をHPに掲載するとともに、就職ガイダンス参加事業所に制度を紹介した。R2年度ふるさと就職登録希望者数は76人と目標を達成していない。	【目標】 ふるさと就職登録希望者数 【目標数値】 R6-150人	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	-	0					0	C	【担当課意見】 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため成人式が開催できず、成人式での登録者を募ることができなかったことが影響し、登録者の増加数は目標数値に達成しなかった。 【今後の見通し】 今後はSNS等の活用を強化し、登録者を募るとともに、登録者に就職ガイダンス案内を送付し、市内事業所への就職に繋がるよう取り組む。
	R3	市内事業所の人材確保を図るため、市内への就職希望者の情報を登録し、登録情報を市内事業所に提供する。	HPや広報誌等で、本制度を周知するとともに、市内の県立高等学校に出向き登録者を募った。登録者情報をHPに掲載するとともに、就職ガイダンス参加事業所に制度を紹介した。R3年度ふるさと就職登録希望者数は110人と目標を達成していない。	【目標】 ふるさと就職登録希望者数 【目標数値】 R6-150人	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	-	0					0	B	【担当課意見】 R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため就職ガイダンスが開催できず、就職ガイダンスでの登録者を募ることができなかったものの、なかったものの、市内高島学校に生徒のふるさと就職登録へ協力していただいたことで、登録者は増加した。 【今後の見通し】 今後はSNS等の活用を強化し、登録者を募るとともに、登録者に就職ガイダンス案内を送付し、市内事業所への就職に繋がるよう取り組む。
	R4	市内事業所の人材確保を図るため、市内への就職希望者の情報を登録し、登録情報を市内事業所に提供する。	HPや広報誌等で、本制度を周知するとともに、市内の県立高等学校に出向き登録者を募った。登録者情報をHPに掲載するとともに、就職ガイダンス参加事業所に制度を紹介した。求職者がより本制度を活用しやすくなるため、HPから本制度の申込受付を開始した。	【目標】 ふるさと就職登録希望者数 【目標数値】 R6-150人	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	-	0					0	B	【担当課意見】 R4年度は就職ガイダンス参加者や市内高等学校の生徒に登録を呼びかけや、HPから直接申込受付を開始したことで登録者数は増加した。 【今後の見通し】 引き続き市内高校生等へ本制度の登録を呼びかけるとともに、市内事業者に対しメルマガ等を活用し、本制度の広報に努める。
4 就職ガイダンス開催事業	R2	市内事業所の人材確保を図るため、新卒を含むすべての就職希望者を対象に、就職ガイダンスを開催する。	R3年2月に、就職ガイダンスを開催した。13事業所が参加し、就職ガイダンス参加者13名のうち3名が採用となった。	【目標】 就職ガイダンス参加者のうち市内企業への就職者数 【目標数値】 R6-20人	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	-	66,278					66,278	C	【担当課意見】 令和2年度は新型コロナウイルスの影響から、就職ガイダンスへの参加者数、参加事業所数及び就職者数は減少した。 【今後の見通し】 今後はSNS等の活用を強化し、登録者を募るとともに、登録者に就職ガイダンス案内を送付し、市内事業所への就職に繋がるよう取り組む。
	R3	市内事業所の人材確保を図るため、新卒を含むすべての就職希望者を対象に、就職ガイダンスを開催する。	R4年2月に開催を予定していた令和3年度の就職ガイダンスは、新型コロナウイルス感染症感染拡大状況を鑑み、中止とした。	【目標】 就職ガイダンス参加者のうち市内企業への就職者数 【目標数値】 R6-20人	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	-	95,192					95,192	C	【担当課意見】 R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため就職ガイダンスが開催できず目標達成値を下回った。 【今後の見通し】 今後は状況に応じてオンライン開催も検討する。また、SNS等の活用を強化し、ふるさと就職登録者を募るとともに、登録者に就職ガイダンス案内を送付し、市内事業所への就職に繋がるよう取り組む。
	R4	市内事業所の人材確保を図るため、新卒を含むすべての就職希望者を対象に、就職ガイダンスを開催する。	R5年3月に、就職ガイダンスを開催した。R4年度は、遠方の参加者も参加できるよう従来の対面式のガイダンスと同時並行でオンライン式のガイダンスを実施した	【目標】 就職ガイダンス参加者のうち市内企業への就職者数 【目標数値】 R6-20人	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	-	62,870					62,870	C	【担当課意見】 令和4年度は、ガイダンスを通じて2名の採用があった。 目標達成のためには、ガイダンスの周知と求職者に対する就労に係るアドバイスが効果的と思われる。 【今後の見通し】 求職者については、ふるさと就職登録者を募るとともに、登録者に就職ガイダンス案内を送付する。事業者については、事業者向けメルマガ等でガイダンスの案内を送付する。 また、ガイダンスの際に就労相談窓口を設け、求職者の適正にあった職業の紹介を行い、周知市内事業所への就職に繋がるよう取り組む。

個別事業シート

基本目標1 しごとをつくり安心して働けるようになる
竹原への新しいひとの流れを作る

施策の方向性 仕事づくり ②創業の促進

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財		
1 サテライトオフィス等誘致促進事業【再掲】	R2	市内産業の活性化及び雇用促進のため、近年業界成長の著しい情報サービス業等の企業の誘致を促進する。	市ホームページ等で誘致促進にサテライトオフィス等誘致促進助成制度の紹介をしている。	【目標】 サテライトオフィスの誘致 【目標数値】 なし	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	呼び込む"ちから"づくりの推進	0				0	C	【担当課意見】 HP等で積極的に事業の情報提供を行っているが、未だに申請に結び付いていない。 【今後の見通し】 引き続き情報発信を行い、市内へのオフィス誘致を促進に努める。
	R3	市内産業の活性化及び雇用促進のため、近年業界成長の著しい情報サービス業等の企業の誘致を促進する。	市ホームページ等で誘致促進にサテライトオフィス等誘致促進助成制度の紹介をしている。	【目標】 サテライトオフィスの誘致 【目標数値】 なし	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	呼び込む"ちから"づくりの推進	0				0	B	【担当課意見】 県と連携を図りながら情報発信を行う中で、R3年度は首都圏から1件の誘致を行うことができた。 【今後の見通し】 引き続き県とも連携を図りながら情報発信を行い、市内へのオフィス誘致の促進に努める。
	R4	市内産業の活性化及び雇用促進のため、近年業界成長の著しい情報サービス業等の企業の誘致を促進する。	市ホームページ等で誘致促進にサテライトオフィス等誘致促進助成制度の紹介をしている。	【目標】 サテライトオフィスの誘致 【目標数値】 なし	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	呼び込む"ちから"づくりの推進	0				0	B	【担当課意見】 県と連携を図りながら情報発信を行う中で、R4年度は事業承継に伴い新たに新規申請があったが、それ以外の新規申請はなかった。 【今後の見通し】 引き続き県とも連携を図りながら情報発信を行い、市内へのオフィス誘致の促進に努める。
2 空き店舗等改修補助事業	R2	空き店舗の増加による商店街の空洞化や衰退を打開するとともに、移住希望者の受入環境としても寄与し、地域の賑わいを創出するため、空き店舗等を活用する創業者等に対して店舗改修に係る経費の一部を助成する。	HPや広報誌等で募集を行ったが、コロナ禍も影響し、申請件数は0件であった。R2年度から、対象業種に、情報サービス業、インターネット附随サービス業、コールセンター業等を追加、対象物件に、忠海エリアの空き家を追加するなど、対象の拡充を図った。	【目標】 空き店舗等を活用した創業数 【目標数値】 年3件	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	呼び込む"ちから"づくりの推進	0				0	B	【担当課意見】 R2年度は、コロナ禍も影響し、申請件数は0件であったが、翌年度の申請検討も含め、本事業への相談は多かった。 【今後の見通し】 R3年度は、既に2件の申請があり、相談も多い。引き続き、空き店舗等の改修による創業を支援し、地域の賑わい創出に取り組む。
	R3	空き店舗の増加による商店街の空洞化や衰退を打開するとともに、移住希望者の受入環境としても寄与し、地域の賑わいを創出するため、空き店舗等を活用する創業者等に対して店舗改修に係る経費の一部を助成する。	HPや広報誌等で募集を行ったが、コロナ禍も影響し、申請件数は0件であった。R2年度から、対象業種に、情報サービス業、インターネット附随サービス業、コールセンター業等を追加、対象物件に、忠海エリアの空き家を追加するなど、対象の拡充を図った。	【目標】 空き店舗等を活用した創業数 【目標数値】 年3件	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	呼び込む"ちから"づくりの推進	2,000,000				2,000,000	B	【担当課意見】 R3年度は、申請件数は3件であり、目標に達していたが、最終的には2件の交付決定であった。 【今後の見通し】 空き店舗等の改修に係る相談はあるため、引き続き、創業を支援し、地域の賑わい創出に取り組む。 また、広く活用される助成金とするため、同一事業者への助成金の交付については一定の制限を設ける。
	R4	空き店舗の増加による商店街の空洞化や衰退を打開するとともに、移住希望者の受入環境としても寄与し、地域の賑わいを創出するため、空き店舗等を活用する創業者等に対して店舗改修に係る経費の一部を助成する。	R2年度から、対象業種に、情報サービス業、インターネット附随サービス業、コールセンター業等を追加、対象物件に、忠海エリアの空き家を追加するなど、対象の拡充を図った。	【目標】 空き店舗等を活用した創業数 【目標数値】 年3件	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	呼び込む"ちから"づくりの推進	2,376,000				2,376,000	B	【担当課意見】 R3年度は、申請件数は3件で目標に達しており、一定の成果はあった。 【今後の見通し】 空き店舗等の改修に係る相談はあるため、引き続き、創業を支援し、地域の賑わい創出に取り組む。

個別事業シート

基本目標1 しごとをつくり安心して働けるようになる
竹原への新しいひとの流れを作る

施策の方向性 仕事づくり ③地域産業の振興

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財		
1 地域おこし協力隊事業	R2	都市部からの地域おこし協力隊2名を募集し、少子高齢化の進行が顕著で一次産業者の割合が高い振興山村(田万里・仁賀)等の活性化、竹原市郷土産業振興館を中心とした、地域資源の活用やブランド化の推進を図る。	R2年7月から協力隊員2人を委嘱し、地域活性化の活動を実施した。	【目標】 振興山村の活性化及び地域資源の活用、ブランド化の推進 【目標数値】 なし	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	6,367,493			6,367,493	0	B	【担当課意見】 R2年7月から協力隊員2人を委嘱し、地域活性化の活動を実施している。 【今後の見通し】 隊員の任期が最長3年となっていることから、継続的かつ効果的な取組が実施できるよう支援していく。
	R3	都市部からの地域おこし協力隊2名を募集し、少子高齢化の進行が顕著で一次産業者の割合が高い振興山村(田万里・仁賀)等の活性化、竹原市郷土産業振興館を中心とした、地域資源の活用やブランド化の推進を図る。	R2年7月から協力隊員1名、R3年10月から1名を委嘱し、地域活性化の活動を実施した。	【目標】 振興山村の活性化及び地域資源の活用、ブランド化の推進 【目標数値】 なし	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	6,921,041			6,921,041	0	B	【担当課意見】 R2年7月から協力隊員1名、R3年10月から1名を委嘱し、地域活性化の活動を実施している。 【今後の見通し】 隊員の任期が最長3年となっていることから、継続的かつ効果的な取組が実施できるよう支援していく。
	R4	都市部からの地域おこし協力隊2名を募集し、少子高齢化の進行が顕著で一次産業者の割合が高い振興山村(田万里・仁賀)等の活性化、竹原市郷土産業振興館を中心とした、地域資源の活用やブランド化の推進を図る。	協力隊をR2年7月から1名、R3年10月から1名を委嘱し、地域活性化の活動を実施した。	【目標】 振興山村の活性化及び地域資源の活用、ブランド化の推進 【目標数値】 なし	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	9,599,200			9,599,200	0	B	【担当課意見】 協力隊員をR2年7月から1名、R3年10月から1名を委嘱し、地域活性化の活動を実施している。 【今後の見通し】 隊員の任期が最長3年となっていることから、継続的かつ効果的な取組が実施できるよう支援していく。
2 築磯漁場整備事業	R2 【隔年】	メバル、マダイ、ヒラメ、オニオコゼ、カサゴ、キジハタ等の稚魚放流と、放流した稚魚を初めとする魚類の棲家となる漁場の整備を一体的に推進することで、主要な漁獲物の資源増大を図る。	R2年12月施工開始 【施工方法】 13.5m×18.0mの長方形の範囲内に、高さ2.0m程度で自然石(1トン)を設置する。(2か所)	【目標】 放流した稚魚等の良好な漁場の整備を図る 【目標数値】 なし	産業振興課 建設課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	4,500,000		3,000,000		1,500,000	B	【担当課意見】 放流した稚魚等の良好な漁場を整備することができた。かつての漁場を再生するためには、今後も継続した整備が必要。 【今後の見通し】 漁業者の所得向上等のため、引き続き築磯漁場整備事業を実施し、良好な漁場の整備を図っていく。
	R4 【隔年】	メバル、マダイ、ヒラメ、オニオコゼ、カサゴ、キジハタ等の稚魚放流と、放流した稚魚を初めとする魚類の棲家となる漁場の整備を一体的に推進することで、主要な漁獲物の資源増大を図る。	R5年2月施工開始 【施工方法】 13.5m×18.0mの長方形の範囲内に、高さ2.0m程度で自然石(1トン)を設置する。	【目標】 放流した稚魚等の良好な漁場の整備を図る 【目標数値】 なし	産業振興課 建設課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	4,500,000		3,000,000		1,500,000	B	【担当課意見】 放流した稚魚等の良好な漁場を整備することができた。かつての漁場を再生するためには、今後も継続した整備が必要。 【今後の見通し】 漁業者の所得向上等のため、引き続き築磯漁場整備事業を実施し、良好な漁場の整備を図っていく。

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)	
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財			
3 農業振興地域整備計画更新事業	R2~R3	農業振興地域の整備に関する法律により農業振興地域整備計画の抜本的な計画改正を5年を目途に実施することとされているが、平成18年から改正しておらず、現状の「守るべき農用地」を適切に反映する必要があることから更新を行う。	農業振興地域整備計画に関する基礎調査として、農用地等の面積、土地利用、農業就業人口の規模、人口規模、農業生産その他農林水産省令で定める事項に関する現況及び将来の見通しについての調査を行った。	【目標】 農業振興地域整備計画の更新 【目標数値】 なし	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	2,140,000					2,140,000	A	【担当課意見】 R2年度は、当初の予定通り農業振興地域整備計画の基礎調査が完了した。 【今後の見通し】 R3年度は、基礎調査の内容を反映させた農業振興地域整備計画を策定する。
	R2~R4	農業振興地域の整備に関する法律により農業振興地域整備計画の抜本的な計画改正を5年を目途に実施することとされているが、平成18年から改正しておらず、現状の「守るべき農用地」を適切に反映する必要があることから更新を行う。	農業振興地域整備計画に関する基礎調査として、農用地等の面積、土地利用、農業就業人口の規模、人口規模、農業生産その他農林水産省令で定める事項に関する現況及び将来の見通しについての調査を行った。	【目標】 農業振興地域整備計画の更新 【目標数値】 なし	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	1,600,000					1,600,000	A	【担当課意見】 R3年度は、農業振興地域整備計画(案)を作成した。 【今後の見通し】 R4年度は県と協議を行い、農業振興地域整備計画を策定する。
	R2~R5	農業振興地域の整備に関する法律により農業振興地域整備計画の抜本的な計画改正を5年を目途に実施することとされているが、平成18年から改正しておらず、現状の「守るべき農用地」を適切に反映する必要があることから更新を行う。	農業振興地域整備計画に関する基礎調査を実施し、それを基に計画案を作成した。作成した計画案を、県と協議するとともに、縦覧することで広く意見を募った。令和5年4月に計画の作成が完了した。	【目標】 農業振興地域整備計画の更新 【目標数値】 なし	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	1,600,000					1,600,000	A	【担当課意見】 R5年4月に、農業振興地域整備計画の更新が完了した。 【今後の見通し】 更新した計画により、農業振興を促進していく。
4 中小企業融資制度補助事業	R2	市内中小企業者の資金繰りを支援するため、市内金融機関に融資資金を預託し、低利な融資制度を運営する。	市内金融機関に融資資金を預託し、低利な融資制度を運営するとともに、信用保証料の低減を図った。	【目標】 市内中小企業者の資金繰りの支援 【目標数値】 なし	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	200,000,000					200,000,000	B	【担当課意見】 R2年度は、新型コロナウイルスの影響により、国のコロナ融資への申込が多く、市の中小企業融資への申込が少なかった。 【今後の見通し】 R2年度で国のコロナ融資が終了したため、R3年度は、市の中小企業融資の申込が増えている。今後も、制度内容を適宜見直ししながら、中小企業者の資金繰りを支援していく。
	R3	市内中小企業者の資金繰りを支援するため、市内金融機関に融資資金を預託し、低利な融資制度を運営する。	市内金融機関に融資資金を預託し、低利な融資制度を運営するとともに、信用保証料の低減を図った。	【目標】 市内中小企業者の資金繰りの支援 【目標数値】 なし	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	180,000,000					180,000,000	B	【担当課意見】 R2年度で国のコロナ融資が終了したため、R3年度は、市の中小企業融資の申込が増えた。 【今後の見通し】 今後も、制度内容を適宜見直ししながら、中小企業者の資金繰りを支援していく。
	R4	市内中小企業者の資金繰りを支援するため、市内金融機関に融資資金を預託し、低利な融資制度を運営する。	市内金融機関に融資資金を預託し、低利な融資制度を運営するとともに、信用保証料の低減を図った。	【目標】 市内中小企業者の資金繰りの支援 【目標数値】 なし	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	160,000,000					16,000,000	B	【担当課意見】 R4年度は、R3年度と比較して市の中小企業融資の申込が減少した。 【今後の見通し】 今後も、制度内容を適宜見直ししながら、中小企業者の資金繰りを支援していく。また、SNSやメルマガを活用し、事業者へ本制度の周知を行う。

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあつての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財		
5 郷土産業振興館運営事業	R2	農村漁村の所得向上や雇用創出を図るため、価値の高まる可能性のある一次産品を中心に加工して商品化する拠点施設の運営を行い、本市の農林水産物の高付加価値化や一年を通して安定供給できる仕組みを構築する。	地元産品を活用した商品を製造し、売上の増加を図るとともに、ふるさと産品福袋PR事業により地元の魚について、その魅力や食べ方をPRすることで関係人口を増やすことができた。 商品開発に係るアドバイザーにより提案された商品を開発できるよう、設備を導入した。	【目標】 新規雇用者の増加、魅力ある商品の開発、販路拡大 【目標数値】 売上:43,650千円 新規雇用者:6人 ご当地料理もしくは加工品:9品	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	20,053,347			5,939,666	14,113,681	C	【担当課意見】 目標に対しての実績が売上:5,940千円、新規雇用者:6人、加工品7品 コロナ禍の影響もあり、売上は予算額大きく下回ったが、新規雇用者と加工品は順調に推移していると考ええる。 【今後の見通し】 売り上げ目標の達成に向け、ECを中心とした販路の拡大やSNS等による広報・発信、加工品の開発に取り組む。
	R3	農村漁村の所得向上や雇用創出を図るため、価値の高まる可能性のある一次産品を中心に加工して商品化する拠点施設の運営を行い、本市の農林水産物の高付加価値化や一年を通して安定供給できる仕組みを構築する。	・前年度、設置した設備を活用して、小魚等を活用した節を商品化に取り組んだ。 ・ふるさと納税の寄附者に対し、魚を使った加工品で返礼を行い、豊かな水産資源を本市の魅力の一つとしてPRした。 ・SNS(InstagramとFacebook)のアカウントを作成し、事業内容や本市漁業の現状について発信を行った。	【目標】 新規雇用者の増加、魅力ある商品の開発、販路拡大 【目標数値】 売上:43,650千円 新規雇用者:6人 ご当地料理もしくは加工品:9品	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	17,736,244			8,262,063	9,474,181	B	【担当課意見】 目標に対しての実績が売上8,262千円、新規雇用者6人、加工品14品 コロナ禍の影響もあり、売上は予算額大きく下回ったが、新規雇用者と加工品は順調に推移していると考ええる。 【今後の見通し】 売り上げ目標の達成に向け、ECを中心とした販路の拡大やSNS等による広報・発信、加工品の開発に取り組む。
	R4	農村漁村の所得向上や雇用創出を図るため、価値の高まる可能性のある一次産品を中心に加工して商品化する拠点施設の運営を行い、本市の農林水産物の高付加価値化や一年を通して安定供給できる仕組みを構築する。	・小魚等を活用した節を商品化に取り組んだ。 ・近隣市町の道の駅等、地域産品の販路を広く、PR機会を増やした。 ・ふるさと納税の寄附者に対し、魚を使った加工品で返礼を行い、豊かな水産資源を本市の魅力の一つとしてPRした。 ・SNS(InstagramとFacebook)のアカウントで事業内容や本市漁業の現状について発信を行った。	【目標】 新規雇用者の増加、魅力ある商品の開発、販路拡大 【目標数値】 売上:43,650千円 新規雇用者:6人 ご当地料理もしくは加工品:9品	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	16,810,434			9,968,937	6,841,497	B	【担当課意見】 目標に対しての実績が売上9,969千円、新規雇用者6人、加工品16品 コロナ禍の影響もあり、売上は予算額を下回ったが、新規雇用者と加工品は順調に推移していると考ええる。 【今後の見通し】 売り上げ目標の達成に向け、ECを中心とした販路の拡大やSNS等による広報・発信、加工品の開発に取り組む。
6 鳥獣被害対策事業	R2	農林水産業への鳥獣による被害を防止することを目的とし、侵入防止策の整備や加害鳥獣の捕獲、捕獲の担い手の育成等の取組を一体的に推進する。	鳥獣の侵入防止措置補助や箱わなの貸出し、狩猟免許取得費用の助成、担い手の圃場への大規模侵入防止措置の設置を行った。 令和2年度のイノシシによる被害額は333万円、シカによる被害額は93万円で概ね達成できた。	【目標】 鳥獣による被害額の減少 【目標数値】 イノシシ335万円 シカ53万円	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	10,835,000	2,765,000			8,070,000	B	【担当課意見】 侵入防止柵と捕獲の一体的な活動により、イノシシ・シカの捕獲頭数が増加し、イノシシにおける被害金額の目標値を達成したが、その他鳥による果樹への被害が減少していない。 【今後の見通し】 引き続き、侵入防止柵と捕獲の一体的な活動を推進し、シカにおける被害金額の目標値の達成を目指す。
	R3	農林水産業への鳥獣による被害を防止することを目的とし、侵入防止策の整備や加害鳥獣の捕獲、捕獲の担い手の育成等の取組を一体的に推進する。	鳥獣の侵入防止措置補助や箱わなの貸出し、狩猟免許取得費用の助成、担い手の圃場への大規模侵入防止措置の設置を行った。 令和3年度のイノシシによる被害額は299万円で達成、シカによる被害額は106万円未達成だった。	【目標】 鳥獣による被害額の減少 【目標数値】 イノシシ 335万円 シカ 53万円	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	10,903,216		3,539,208		7,364,008	B	【担当課意見】 侵入防止柵と捕獲の一体的な活動により、イノシシにおける被害金額はR3末現在でR6目標値以下となったが、シカによる水稲、野菜への被害が減少していない。 【今後の見通し】 引き続き、侵入防止柵と捕獲の一体的な活動を推進し、シカにおける被害金額の目標値の達成を目指す。
	R4	農林水産業への鳥獣による被害を防止することを目的とし、侵入防止策の整備や加害鳥獣の捕獲、捕獲の担い手の育成等の取組を一体的に推進する。	鳥獣の侵入防止措置補助や箱わなの貸出し、狩猟免許取得費用の助成、担い手の圃場への大規模侵入防止措置の設置を行った。 令和4年度のイノシシによる被害額は249万円で達成、シカによる被害額は131万円未達成だった。	【目標】 鳥獣による被害額の減少 【目標数値】 イノシシ 335万円 シカ 53万円	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	11,286,215		3,596,364		7,689,851	B	【担当課意見】 令和4年度の農作物被害額は令和3年度に比べ、イノシシが減少、シカが増加となった。また、イノシシ・シカを含む鳥獣被害全体は大きく減少した。 被害の増加・減少の要因特定は困難であるが、捕獲と侵入防止の対策も要因の一つであると考ええる。 【今後の見通し】 引き続き、侵入防止柵と捕獲の一体的な活動を推進する。

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあつての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財		
7 水産業振興事業	R2	メバルやオニオコゼ、マダイなどの種苗放流や簡易的な漁場の整備等を行うことにより、竹原市の水産資源の維持増大させるとともに、漁業者の所得を向上させる。	メバルやオニオコゼ、マダイの種苗放流やたこつぼ型産卵礁・小型魚礁の設置並びにその効果検証を行った。	【目標】 水産資源の高付加価値化及び竹原市水産業発展の推進 【目標数値】 なし	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	4,057,529		50,000		4,007,529	B	【担当課意見】 種苗放流については、漁業者から放流効果があると聞いている。小型魚礁については、潜水調査により、魚類の住処として一定の効果が実証できたが、芸南漁協組合の漁獲高は減少傾向にあり、今後の課題として捉えている。 【今後の見通し】 引き続き、種苗放流と漁場整備の一体的な取組を行い、水産資源の維持増大、高付加価値化を推進する。
	R3	メバルやオニオコゼ、マダイなどの種苗放流や簡易的な漁場の整備等を行うことにより、竹原市の水産資源の維持増大させるとともに、漁業者の所得を向上させる。	メバルやオニオコゼ、マダイの種苗放流やたこつぼ型産卵礁・小型魚礁の設置並びにその効果検証を行った。	【目標】 水産資源の高付加価値化及び竹原市水産業発展の推進 【目標数値】 なし	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	4,019,399		50,000		3,969,399	B	【担当課意見】 種苗放流については、漁業者から放流効果があると聞いている。小型魚礁については、潜水調査により、魚類の住処として一定の効果が実証できたが、芸南漁協組合の漁獲高は減少傾向にあり、今後の課題として捉えている。 【今後の見通し】 引き続き、種苗放流と漁場整備の一体的な取組を行い、水産資源の維持増大、高付加価値化を推進する。
	R4	メバルやオニオコゼ、マダイなどの種苗放流や簡易的な漁場の整備等を行うことにより、竹原市の水産資源の維持増大させるとともに、漁業者の所得を向上させる。	メバルやオニオコゼ、マダイの種苗放流やたこつぼ型産卵礁・小型魚礁の設置並びにその効果検証を行った。	【目標】 水産資源の高付加価値化及び竹原市水産業発展の推進 【目標数値】 なし	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	4,022,036		70,000		3,952,036	B	【担当課意見】 種苗放流については、漁業者から放流効果があると聞いている。小型魚礁については、潜水調査により、魚類の住処として一定の効果が実証できたが、芸南漁協組合の漁獲高は減少傾向にあり、今後の課題として捉えている。 【今後の見通し】 引き続き、種苗放流と漁場整備の一体的な取組を行い、水産資源の維持増大、高付加価値化を推進する。
8 6次産業化地産地消推進事業	R2	市内の農林水産物の生産・商品開発・販売力(広報)の向上による農林水産業を核とした地域の活性化(6次産業化)及び地産地消の推進を目的とした活動をする団体への補助を行う。	竹原市6次産業化地産地消推進協議会の実施する食の研修事業及び食の体験・交流事業への補助を行った。令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響のため、例年、協議会が実施していたフードフェスティバルへの出店ができず、夢プラザへの出品も縮小した。	【目標】 竹原の食資源を生かし、農林水産物の生産から加工、販売までを行う6次産業化事業並びに地産地消の推進による農山漁村の活性化及び所得向上 【目標数値】 なし	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	86,000				86,000	B	【担当課意見】 R2年度は新型コロナウイルス感染症対策の観点から、ほとんど事業を行うことができなかった。 【今後の見通し】 今後の状況を鑑み、実施される事業への補助を行い、6次産業化を推進する。
	R3	市内の農林水産物の生産・商品開発・販売力(広報)の向上による農林水産業を核とした地域の活性化(6次産業化)及び地産地消の推進を目的とした活動をする団体への補助を行う。	竹原市6次産業化地産地消推進協議会の実施する食の研修事業及び食の体験・交流事業への補助を行った。令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響のため、例年、協議会が実施していたフードフェスティバルへの出店ができず、夢プラザへの出品も縮小した。	【目標】 竹原の食資源を生かし、農林水産物の生産から加工、販売までを行う6次産業化事業並びに地産地消の推進による農山漁村の活性化及び所得向上 【目標数値】 なし	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	0				0	B	【担当課意見】 R3年度は新型コロナウイルス感染症対策の観点から、ほとんど事業を行うことができなかった。 【今後の見通し】 今後の状況を鑑み、実施される事業への補助を行い、6次産業化を推進する。
	R4	市内の農林水産物の生産・商品開発・販売力(広報)の向上による農林水産業を核とした地域の活性化(6次産業化)及び地産地消の推進を目的とした活動をする団体への補助を行う。	竹原市6次産業化地産地消推進協議会の実施する食の研修事業及び食の体験・交流事業への補助を行った。令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響のため、夢プラザへの出品も縮小するなど、活動が制限された。	【目標】 竹原の食資源を生かし、農林水産物の生産から加工、販売までを行う6次産業化事業並びに地産地消の推進による農山漁村の活性化及び所得向上 【目標数値】 なし	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	0				0	B	【担当課意見】 R4年度は新型コロナウイルス感染症対策の観点から、ほとんど事業を行うことができなかった。 【今後の見通し】 今後の状況を鑑み、実施される事業への補助を行い、6次産業化を推進する。

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財		
9 漁港施設長寿命化対策事業	R3~5	市が管理する漁港施設、海岸保全施設の適正な維持保全及び運営を行うとともに、施設更新のコスト平準化、縮減を図るため、特に劣化程度の著しい施設の長寿命化に取り組む。	竹原漁港施設の改修に伴う設計業務を実施。	【目標】 漁業振興のための、漁港施設の適正な維持管理。 【目標数値】 なし	建設課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活力と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	14,026,100	7,013,050			7,013,050	B	【担当課意見】 平成30年7月豪雨に係る災害復旧を優先するため、事業開始を3年遅らせた。 【今後の見通し】 令和5年度までに、吉名地区4浮桟橋の改修、及び長浜地区の護岸改修の完了を目指す。
	R3~5	市が管理する漁港施設、海岸保全施設の適正な維持保全及び運営を行うとともに、施設更新のコスト平準化、縮減を図るため、特に劣化程度の著しい施設の長寿命化に取り組む。	竹原漁港長浜地区の護岸改修工事及び竹原漁港吉名地区の浮桟橋改修工事を実施した。	【目標】 漁業振興のための、漁港施設の適正な維持管理。 【目標数値】 なし	建設課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活力と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	45,026,300	22,486,950			22,537,350	B	【担当課意見】 長浜地区の護岸改修及び、吉名地区の2浮桟橋(吉名2号、柏1号)の改修が完了した。 【今後の見通し】 令和5年度までに、吉名地区2浮桟橋(柏2、3号桟橋)の改修の完了を目指す。
10 森林経営管理事業	R3	国により制度創設された森林環境譲与税を活用して、適正な森林管理に向けた森林整備、木材利用、人材育成、普及啓発等を行う。	森林所有者へ今後とも自ら経営管理を継続するか意向調査を実施。(仁賀町内の11筆11haを対象)	【目標】 森林整備の進展や生産された木材の利活用、市民の森林・林業への理解の醸成、山村振興を目指す。 【目標数値】 なし	建設課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活力と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	5,523,363			106,810	5,416,553	B	【担当課意見】 国土調査実施済みの区域から優先的に森林の現況調査を行った上、意向調査対象箇所を選定した。 【今後の見通し】 森林の集積を図り、効率的かつ効果的な森林整備の実施を目指す。
	R4	国により制度創設された森林環境譲与税を活用して、適正な森林管理に向けた森林整備、木材利用、人材育成、普及啓発等を行う。	令和3年度の調査結果を基に、仁賀町内の森林2.92haの間伐を実施した。仁賀町内の人工林(111林・135林)について、森林所有者の特定及び周辺所有者の把握、アンケートを実施し、今後の経営管理の方向性を検討するための調査を実施した。(35筆23.339haを対象)	【目標】 森林整備の進展や生産された木材の利活用、市民の森林・林業への理解の醸成、山村振興を目指す。 【目標数値】 なし	建設課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活力と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	—	10,742,751			4,324,751	6,418,000	B	【担当課意見】 意向調査を基に保育間伐を実施し、良好な森林環境の整備に努めるとともに、今後の森林整備に向けた調査を引き続き実施した。 【今後の見通し】 森林の集積を図り、効率的かつ効果的な森林整備の実施を目指す。

個別事業シート

基本目標1 しごとをつくり安心して働けるようになる
竹原への新しいひとの流れを作る

施策の方向性 移住・定住の促進 ①まちへの誇りと愛着の醸成

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財		
1 シティプロモーション事業	R2	市民のまちへの誇りと愛着を高めるとともに、市内外の人々から“選ばれるまち”となり、本市に「訪れたい」「関わりたい」「住みたい」人を増やすため、各種シティプロモーション事業を実施する。	「たけはらファンクラブ」の創設・運営、広島ドラゴンフライズの連携、わがまち魅力発信隊による本市のPR実施を実施した。	【目的】 市民のまちへの誇りと愛着を高めるとともに、市内外の人々から「選ばれるまち」となり、本市に「訪れたい」「関わりたい」「住みたい」人を増やす。 【目標数値】 たけはらファンクラブ加入者数 R3.3(現在値)=864, R6=200 転出超過数 H30=320人, R6=144人	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	呼び込む“ちから”づくりの推進	454,372				454,372	A	【担当課意見】 令和2年8月に、本市を応援してくれる人達で組織する「たけはらファンクラブ」を創設した。 【今後の見通し】 「たけはらファンクラブ」については、情報発信のみでなく、本市との関係性が深まる取組を進めていく。また、広島ドラゴンフライズとの連携事業やわがまち魅力発信隊による本市のPR事業に関しては引き続き継続して行う。
	R3	市民のまちへの誇りと愛着を高めるとともに、市内外の人々から“選ばれるまち”となり、本市に「訪れたい」「関わりたい」「住みたい」人を増やすため、各種シティプロモーション事業を実施する。	「たけはらファンクラブ」の創設・運営、広島ドラゴンフライズとの連携、わがまち魅力発信隊による本市のPR実施を実施した。	【目的】 市民のまちへの誇りと愛着を高めるとともに、市内外の人々から「選ばれるまち」となり、本市に「訪れたい」「関わりたい」「住みたい」人を増やす。 【目標数値】 たけはらファンクラブ加入者数 R4.3(現在値)=990, R6=200 転出超過数 H30=320人, R6=144人	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	呼び込む“ちから”づくりの推進	1,078,925			1,078,625	300	A	【担当課意見】 たけはらファンクラブについて、SNSで地域の魅力やイベント情報など竹原市にまつわる様々な情報を発信を行った。会員と地域住民との交流会については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 【今後の見通し】 「たけはらファンクラブ」については、会員と地域住民との交流会など本市との関係性が深まる取組を進めていく。また、広島ドラゴンフライズとの連携事業やわがまち魅力発信隊による本市のPR事業に関しては引き続き継続して行う。
	R4	市民のまちへの誇りと愛着を高めるとともに、市内外の人々から“選ばれるまち”となり、本市に「訪れたい」「関わりたい」「住みたい」人を増やすため、各種シティプロモーション事業を実施する。	「たけはらファンクラブ」の運営、広島ドラゴンフライズとの連携、わがまち魅力発信隊による本市のPR実施を実施した。	【目的】 市民のまちへの誇りと愛着を高めるとともに、市内外の人々から「選ばれるまち」となり、本市に「訪れたい」「関わりたい」「住みたい」人を増やす。 【目標数値】 たけはらファンクラブ加入者数 R5.3(現在値)=1,182, R6=200 転出超過数 H30=320人, R6=144人	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	呼び込む“ちから”づくりの推進	1,271,490				1,271,490	A	【担当課意見】 たけはらファンクラブについて、SNSで地域の魅力やイベント情報など竹原市にまつわる様々な情報を発信を行った。また会員と地域住民との交流会イベントを2回実施した。 【今後の見通し】 会員と地域住民との交流会など本市との関係性が深まる取組を進めていく。また、広島ドラゴンフライズ、わがまち魅力発信隊など本市のPR事業に関しては引き続き継続して行う。
2 コミュニティ・スクール導入事業	H31~R2	市内のすべての小中義務教育学校において、地域とともにある学校「コミュニティ・スクール」を実現するため、校内研修や準備委員会に係る指導助言などを実施する。令和2年度は、コミュニティスクール実施校4校、設置準備校8校を予定。	令和3年度の市内全校におけるコミュニティ・スクールのスタートに向け、学校運営協議会未設置校に準備委員会を立ち上げ、コミュニティ・スクールについての事前協議等を行った。また、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、準備委員や保護者を対象とした、市主催研修の実施が困難な中で、市教育委員会の担当者が講師となり、管理職研修会等で指導講話を行った。	【目標】 令和3年度、全ての竹原市立学校に学校運営協議会を設置する。 【目標数値】 なし	総務学事課	将来像2 “文教のまちたけはら”の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	育てる“ちから”づくりの推進	281,480				281,480	A	【担当課意見】 令和2年度には、コロナ禍でコミュニティ・スクール導入に向けての会議や研修等の実施に制限があったものの、各学校において学校運営協議会の設置に向けた動きを進めることができた。 【今後の見通し】 令和3年度は、各学校運営協議会へ市教育委員会担当者が出席し、コミュニティ・スクールの円滑な推進に向けた支援を行っていくとともに、研修会等の実施を計画する。
	H31~R3	市内の小、中、義務教育学校において、地域とともにある学校づくりを推進するため、令和3年度、全ての学校へ学校運営協議会を設置し、「コミュニティ・スクール」をスタートさせる。	市内全校におけるコミュニティ・スクールの推進に向け、学校運営協議会を設置し、67名の学校運営協議会委員を委嘱した。学校運営協議会委員や教職員、保護者を対象とした、市主催研修等を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、市教育委員会の担当者が各校の学校運営協議会へ参加し助言等をした。管理職研修会等で指導講話を行った。	【目標】 令和3年度、全ての竹原市立学校に学校運営協議会を設置する。 【目標数値】 なし	総務学事課	将来像2 “文教のまちたけはら”の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	育てる“ちから”づくりの推進	259,800				259,800	A	【担当課意見】 令和3年度は、コロナ禍で学校運営協議会の開催や研修等の実施に制限があったものの、各学校において工夫しながら、学校運営協議会としての動きを進めることができた。 【今後の見通し】 令和4年度は、引き続き、各学校運営協議会へ市教育委員会担当者が出席し、コミュニティ・スクールの円滑な推進に向けた支援を行っていくとともに、研修会等の実施を計画、実施する。
	H31~R4	市内の小、中、義務教育学校において、全ての学校へ学校運営協議会を設置し、「コミュニティ・スクール」として、組織的な学校運営及び主体的で創意工夫のある教育活動を行うとともに、学校や保護者、地域の人々がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子ども達の豊かな成長を支えていく。	市内全校に設置した学校運営協議会をより活性化することにより、コミュニティ・スクールの推進をめざした。そのために、学校運営協議会委員や教職員、保護者を対象とした、市主催研修等を実施した。また、継続して市教育委員会の担当者が各校の学校運営協議会へ参加し助言等をした。管理職研修会等で指導講話を行った。	【目標】 令和3年度、全ての竹原市立学校に学校運営協議会を設置し、活動を活性化させる。 【目標数値】 なし	総務学事課	将来像2 “文教のまちたけはら”の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	育てる“ちから”づくりの推進	408,259				408,259	A	【担当課意見】 各学校へ学校運営協議会を設置することにより、育てたい子どもたちの姿や、目指すべき教育のビジョンを学校と保護者、地域と共有し、学校運営に主体的に参画する体制となった。地域と学校の関係が、協力・依存関係から協働・協創関係へと変わってきた。 【今後の見通し】 学校も地域のよさを活かした教育活動を通して、地域を担う人材を育成し、地域の活性化に貢献していきよう、推進していく。

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)	
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財			
3 たけはら未来ミーティング	R2	第6次総合計画基本構想及び行政経営強化方針を踏まえ、市民の声を今後のまちづくりに活かすことによって、市民の市政への参画を促進し、協働のまちづくりの更なる成熟化を図るため、地域課題の解決や竹原の魅力づくりなどのテーマを設定し、そのテーマに応じて関係する市民と市長が、本市の未来創造に繋がる自由闊達な意見交換を行う。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度はミライミーティングの開催は行わなかった。	【目標】 移住・定住者をターゲットにした意見交換の場の設定や未開催の地区でのミライミーティングを通じて、地域課題の解決や竹原のさらなる魅力向上を目指す。 【目標数値】 なし	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	0					0	C	【担当課意見】 令和2年度には新型コロナウイルス感染症の影響から、ミライミーティングの開催は行わなかった。 【今後の見通し】 令和3年度は、従来の地区ごとに実施を行う形に加え、移住・定住者にターゲットを絞った市民とのミライミーティングを計画し、新たな地域課題やニーズを把握する。
	R3	第6次総合計画基本構想及び行政経営強化方針を踏まえ、市民の声を今後のまちづくりに活かすことによって、市民の市政への参画を促進し、協働のまちづくりの更なる成熟化を図るため、地域課題の解決や竹原の魅力づくりなどのテーマを設定し、そのテーマに応じて関係する市民と市長が、本市の未来創造に繋がる自由闊達な意見交換を行う。	竹原市まちなか賑わい創業支援事業助成金を活用した創業者や本市内の企業へ就職した若者を対象として、竹原市が持続可能な魅力あるまちになるために必要なことなどについて市長と意見交換をした。	【目標】 移住・定住者をターゲットにした意見交換の場の設定や未開催の地区でのミライミーティングを通じて、地域課題の解決や竹原のさらなる魅力向上を目指す。 【目標数値】 なし	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	0					0	D	【担当課意見】 令和3年度はコロナ禍でも感染拡大に気を付けながら対象者をより限定的にして意見交換を行うことで、現状の課題認識を図ることができた。 【今後の見通し】 令和4年度もコロナ禍に配慮しながら、移住・定住者や子育て世帯にターゲットを絞った市民とのミライミーティングを計画し、新たな地域課題やニーズを把握する。
	R4	第6次総合計画基本構想及び行政経営強化方針を踏まえ、市民の声を今後のまちづくりに活かすことによって、市民の市政への参画を促進し、協働のまちづくりの更なる成熟化を図るため、地域課題の解決や竹原の魅力づくりなどのテーマを設定し、そのテーマに応じて関係する市民と市長が、本市の未来創造に繋がる自由闊達な意見交換を行う。	本市内の企業へ就職した若者を対象として、竹原市が持続可能な魅力あるまちになるために必要なことなどについて市長と意見交換をした。	【目標】 若者をターゲットにした意見交換の場の設定や未開催の地区でのミライミーティングを通じて、地域課題の解決や竹原のさらなる魅力向上を目指す。 【目標数値】 なし	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	0						0	A
4 たけはらファンクラブ運営事業	R3	本市に愛着を持ち、継続的に多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大を図るため、竹原市を好きで応援してくれる人達で組織する「たけはらファンクラブ」を創設し、ファンクラブでの関わりを通して、まちの賑わい創出やまちづくりの新たな担い手として期待できる人材を確保する。	会員に向けて、SNSで地域の魅力やイベント情報など竹原市にまつわる様々な情報を発信を行った。会員と地域住民との交流会については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。	【目標】 まちの賑わい創出やまちづくりの新たな担い手として期待できる人材を確保する。 【目標数値】 たけはらファンクラブ加入者数 R4.3(現在値)=990, R6=200	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	54,045			53,745		300	A	【担当課意見】 令和3年度は、SNSで地域の魅力やイベント情報など竹原市にまつわる様々な情報を発信を行った。会員と地域住民との交流会については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 【今後の見通し】 令和4年度は、会員と地域住民との交流会など本市との関係性が深まる取組を進めていく。
	R4	本市に愛着を持ち、継続的に多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大を図るため、竹原市を好きで応援してくれる人達で組織する「たけはらファンクラブ」を創設し、ファンクラブでの関わりを通して、まちの賑わい創出やまちづくりの新たな担い手として期待できる人材を確保する。	会員に向けて、SNSで地域の魅力やイベント情報など竹原市にまつわる様々な情報を発信を行った。地域と継続的なつながりを持つ機会やきっかけを提供するため、農業体験や交流イベントを2回実施した。	【目標】 まちの賑わい創出やまちづくりの新たな担い手として期待できる人材を確保する。 【目標数値】 たけはらファンクラブ加入者数 R4.3(現在値)=990, R6=200	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	25,828					25,828	A	【担当課意見】 令和4年度は、SNSで地域の魅力やイベント情報など竹原市にまつわる様々な情報を発信を行った。また会員と地域住民との交流イベントを2回実施した。 【今後の見通し】 継続的に会員と地域住民との交流イベントを実施することで、本市との関係性を深めていく必要がある

個別事業シート

基本目標1 しごとをつくり安心して働けるようにする
竹原への新しいひとの流れを作る

施策の方向性 移住・定住の促進 ②U・I・Jターンの促進

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財		
1 未来の人材育成推進事業(Uターン促進分)	R2	大学就学等による転出者のUターンを促すため、竹原市奨学金基金等による学資の無利子貸付制度の利用者が、貸付期間終了後に市内に帰郷し居住する場合は、一定期間以後の貸付金の返還を免除する。(条件付奨学金貸付制度) ○対象奨学金基金:竹原市奨学金基金、久保谷奨学金基金、中国生コンクリート奨学金基金 ○対象者:奨学金の貸付を受けている者でR2年以降の卒業予定者	R2年度竹原市奨学金審査会及び竹原市教育委員会へ免除等のルールについて意見を求めた後、規則改正を行った。その後、現在奨学金の貸与を受けている者に対して、当該制度の趣旨と手続きを案内。さらに、R2年度の卒用予定者に対して、案内を実施し、R3年4月1日から手続きの開始を図る取り組みを行った。また、R3年度より奨学金貸与希望者へも制度周知をし、貸与希望を促した。	【目的】 竹原市奨学生の大学就学等による転出者のUターンを促す。 【目標数値】 なし	総務学事課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	育てる"ちから"づくりの推進	0					0	【担当課意見】 R2年度は、R3年度より事業実施する上での制度設計を行った後、制度周知を行うことができた。 【今後の見通し】 R3年4月1日より申し込み受付。R3年3月31日卒業の対象者は2名。うちR3年4月1日より4名が手続きを実施し、竹原市へUターンとなっている。
2 サテライトオフィス等誘致促進事業【再掲】	R2	市内産業の活性化及び雇用促進のため、近年業界成長の著しい情報サービス等の企業の誘致を促進する。	市ホームページ等で誘致促進にサテライトオフィス等誘致促進助成制度の紹介をしている。	【目標】 サテライトオフィスの誘致 【目標数値】 なし	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	呼び込む"ちから"づくりの推進	0					0	【担当課意見】 HP等で積極的に事業の情報提供を行っているが、未だに申請に結び付いていない。 【今後の見通し】 引き続き情報発信を行い、市内へのオフィス誘致を促進に努める。
	R3	市内産業の活性化及び雇用促進のため、近年業界成長の著しい情報サービス等の企業の誘致を促進する。	市ホームページ等で誘致促進にサテライトオフィス等誘致促進助成制度の紹介をしている。	【目標】 サテライトオフィスの誘致 【目標数値】 なし	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	呼び込む"ちから"づくりの推進	0					0	【担当課意見】 県と連携を図りながら情報発信を行う中で、R3年度は首都圏から1件の誘致を行うことができた。 【今後の見通し】 引き続き県とも連携を図りながら情報発信を行い、市内へのオフィス誘致を促進に努める。
	R4	市内産業の活性化及び雇用促進のため、近年業界成長の著しい情報サービス等の企業の誘致を促進する。	市ホームページ等で誘致促進にサテライトオフィス等誘致促進助成制度の紹介をしている。	【目標】 サテライトオフィスの誘致 【目標数値】 なし	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	呼び込む"ちから"づくりの推進	0					0	【担当課意見】 県と連携を図りながら情報発信を行う中で、R4年度は事業承継に伴い新たに新規申請があったが、それ以外の新規申請はなかった。 【今後の見通し】 引き続き県とも連携を図りながら情報発信を行い、市内へのオフィス誘致の促進に努める。
3 空き店舗等改修補助事業	R2	空き店舗の増加による商店街の空洞化や衰退を打開するとともに、移住希望者の受入環境としても寄与し、地域の賑わいを創出するため、空き店舗等を活用する創業者等に対して店舗改修に係る経費の一部を助成する。	HPや広報誌等で募集を行ったが、コロナ禍も影響し、申請件数は0件であった。R2年度から、対象業種に、情報サービス業、インターネット附属サービス業、コールセンター業等を追加、対象物件に、忠海エリアの空き家を追加するなど、対象の拡充を図った。	【目標】 空き店舗等を活用した創業数 【目標数値】 年3件	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	呼び込む"ちから"づくりの推進	0					0	【担当課意見】 R2年度は、コロナ禍も影響し、申請件数は0件であった。R2年度の申請検討も含め、本事業への相談は多かった。 【今後の見通し】 R3年度は、既に2件の申請があり、相談も多い。引き続き、空き店舗等の改修による創業を支援し、地域の賑わい創出に取り組む。
	R3	空き店舗の増加による商店街の空洞化や衰退を打開するとともに、移住希望者の受入環境としても寄与し、地域の賑わいを創出するため、空き店舗等を活用する創業者等に対して店舗改修に係る経費の一部を助成する。	HPや広報誌等で募集を行ったが、コロナ禍も影響し、申請件数は0件であった。R2年度から、対象業種に、情報サービス業、インターネット附属サービス業、コールセンター業等を追加、対象物件に、忠海エリアの空き家を追加するなど、対象の拡充を図った。	【目標】 空き店舗等を活用した創業数 【目標数値】 年3件	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	呼び込む"ちから"づくりの推進	2,000,000					2,000,000	【担当課意見】 R3年度は、申請件数は3件であり、目標に達していたが、最終的には2件の交付決定であった。 【今後の見通し】 空き店舗等の改修に係る相談はあるため、引き続き、創業を支援し、地域の賑わい創出に取り組む。また、広く活用される助成金とするため、同一事業者への助成金の交付については一定の制限を設ける。
	R4	空き店舗の増加による商店街の空洞化や衰退を打開するとともに、移住希望者の受入環境としても寄与し、地域の賑わいを創出するため、空き店舗等を活用する創業者等に対して店舗改修に係る経費の一部を助成する。	R2年度から、対象業種に、情報サービス業、インターネット附属サービス業、コールセンター業等を追加、対象物件に、忠海エリアの空き家を追加するなど、対象の拡充を図った。	【目標】 空き店舗等を活用した創業数 【目標数値】 年3件	産業振興課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活と優しさがあふれるまち 目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	呼び込む"ちから"づくりの推進	2,376,000						2,376,000

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財		
4 子育て世帯向け地域優良賃貸住宅管理事業	R2	良好な居住環境を備えた子育て世帯向けの賃貸住宅をH28年度から20年間借り上げるとともに、家賃助成制度を設けることにより、将来を担う子育て世帯の移住・定住を促進する。	家賃助成 入居募集(広報、HP、不動産情報サイト) 入居戸数(年度末) R元年度 25戸 R2年度 27戸	【目標】 全室入居 【目標数値】 全27戸入居	都市整備課	将来像4 瀬戸内の恵まれた風土と市民の絆のもと、誰もが安全・安心で快適に生活できるまち 目標像6 生活の基盤が整備され、快適に暮らしている	—	24,885,000	2,677,000	13,905,736	8,302,264	A	【担当課意見】 全27戸のうち市外からの入居は17戸 事業開始からR2年度末までに17戸が退去し、うち6戸が市内に一戸建てを新築 【今後の見通し】 R2年度はHP等の募集情報から19件の問い合わせがあった。年度途中の入退去は定額だが、今後も継続して満室が見込める。	
	R3	良好な居住環境を備えた子育て世帯向けの賃貸住宅をH28年度から20年間借り上げるとともに、家賃助成制度を設けることにより、将来を担う子育て世帯の移住・定住を促進する。	家賃助成 入居募集(広報、HP、不動産情報サイト) 入居戸数(年度末) R元年度 25戸 R2年度 27戸 R3年度 24戸	【目標】 全室入居 【目標数値】 全27戸	都市整備課	将来像4 瀬戸内の恵まれた風土と市民の絆のもと、誰もが安全・安心で快適に生活できるまち 目標像6 生活の基盤が整備され、快適に暮らしている	—	24,242,653	3,597,000	13,897,248	6,748,405	A	【担当課意見】 事業開始からR3年度末までの市外からの入居は23戸 事業開始からR3年度末までに23戸が退去し、うち8戸が市内に一戸建てを購入 R3年度の月平均入居戸数は26.17戸 【今後の見通し】 R3年度の募集に伴う問い合わせは13件転動等による退去は多少しても定額だが、満室に向け取り組む。	
	R4	良好な居住環境を備えた子育て世帯向けの賃貸住宅をH28年度から20年間借り上げるとともに、家賃助成制度を設けることにより、将来を担う子育て世帯の移住・定住を促進する。	家賃助成 入居募集(広報、HP、不動産情報サイト) 入居戸数(年度末) R元年度 25戸 R2年度 27戸 R3年度 24戸 R4年度 23戸	【目標】 全室入居 【目標数値】 全27戸	都市整備課	将来像4 瀬戸内の恵まれた風土と市民の絆のもと、誰もが安全・安心で快適に生活できるまち 目標像6 生活の基盤が整備され、快適に暮らしている	—	24,239,960	2,924,000	13,001,104	8,314,856	A	【担当課意見】 事業開始からR4年度末までの市外からの入居は23戸 事業開始からR4年度末までに27戸が退去し、うち8戸が市内に一戸建てを購入 R4年度の月平均入居戸数は23.33戸 【今後の見通し】 転動等に伴い退去は多少しても定額だが、敷金・礼金が不要なこと、助成制度など入居者のメリットを周知するとともに利用者ニーズの把握に努めながら満室に向け取り組む。	
5 交流促進事業(移住定住促進事業)	R2	移住・定住人口の拡大を図るため、移住先として選ばれるために有効な取組を実施する。	オンライン移住・定住セミナーの実施、受け入れ環境整備補助金の交付、移住・定住プロモーションなどの事業を実施した。	【目標】 移住・定住人口の増加による、地域振興を図る。 【目標数値】 移住者数(施策に関連したものに限り) R2年度(現在値)=3人 R2~R6=50人(累計)	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	5,815,900	4,579,500	1,108,000	128,400	C	【担当課意見】 R2年度には、移住定住プロモーション事業、移住定住受け入れ環境整備事業を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により、移住・定住セミナーについては、オンラインでの実施となった。 【今後の見通し】 R3年度は、関係・移住定住人口創出・拡充イベントの実施、移住支援金を交付などにより、関係人口の及び移住・定住人口の増加による、地域振興を図る。	
	R3	移住・定住人口の拡大を図るため、移住先として選ばれるために有効な取組を実施する。	地域づくりを実践されている方をゲストに招いたオンライン移住・定住セミナーを実施した。広島県と連携し、移住・定住フェア・セミナーをオンラインで実施した。	【目標】 移住・定住人口の増加による、地域振興を図る。 【目標数値】 移住者数(施策に関連したものに限り) R3年度(現在値)=8人 R2~R6=50人(累計)	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	464,240	—	44,000	20,240	B	【担当課意見】 関係・移住定住人口創出・拡充イベントについては、地域づくりを実践されている方をゲストに招いたオンラインセミナーを実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により、移住・定住セミナーについては、オンラインでの実施となった。 【今後の見通し】 令和4年度は、関係・移住定住人口創出・拡充イベントの現地ツアー実施、移住支援金を交付などにより、関係人口の及び移住・定住人口の増加による、地域振興を図る。	
5 移住定住促進事業	R4	移住・定住人口の拡大を図るため、移住先として選ばれるために有効な取組を実施する。	ワーケーションや二拠点居住に興味がある方を対象に、竹原暮らしを体験できる移住定住体験ツアーを実施した。広島県と連携し、東京・大阪で移住・定住フェア・セミナーを実施した。	【目標】 移住・定住人口の増加による、地域振興を図る。 【目標数値】 移住者数(施策に関連したものに限り) R4年度(現在値)=19人 R2~R6=50人(累計)	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	8,686,260	4,235,000	—	4,451,260	A	【担当課意見】 関係・移住定住人口創出・拡充イベントについては、ワーケーションや二拠点居住に興味がある方を対象に、竹原暮らしを体験できる移住定住体験ツアーを実施した。移住・定住セミナーについては、広島県と連携し、東京・大阪で実施した。 【今後の見通し】 令和5年度は、観光まちづくり機構と連携して移住定住サポートセンターを開設し、地域のキーパーソンを移住コーディネーターに任命することで、移住希望者のニーズに合わせた地域情報の発信・相談対応を実施していく。	

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財		
6 関係人口及び移住・定住人口創出事業	R3	移住に関心がある方や竹原市と関わりを持つ方と、先輩移住者や地域住民とのつながりをつくるため、関係人口及び移住定住人口創出・拡大のイベントを実施する。	地域づくりを実践されている方をゲストに招いたオンライン移住・定住セミナーを実施した。 新型コロナウイルス感染症の影響により、現地ツアーについては、中止となった。	【目標】 関係人口及び移住・定住人口の増加による、地域振興を図る。 【目標数値】 移住者数(施策に関連したものに限り) R3年度(現在値)=8人 R2~R6=50人(累計)	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	444,000			444,000	0	B	【担当課意見】 令和3年度は、地域づくりを実践されている方をゲストに招いたオンラインセミナーを実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により、現地ツアーは中止となった。 【今後の見通し】 令和4年度は、セミナーの実施と併せて、地域を知り・体験していただく現地ツアーを実施する。
	R4	移住に関心がある方や竹原市と関わりを持つ方と、先輩移住者や地域住民とのつながりをつくるため、関係人口及び移住定住人口創出・拡大のイベントを実施する。	地域づくりを実践されている方をゲストに招いたオンライン移住・定住セミナーを実施した。 ワーケーションや二拠点居住に興味がある方を対象に、竹原暮らしを体験できる移住定住体験ツアーを実施した。	【目標】 関係人口及び移住・定住人口の増加による、地域振興を図る。 【目標数値】 移住者数(施策に関連したものに限り) R4年度(現在値)=19人 R2~R6=50人(累計)	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	8,686,260	4,235,000			4,451,260	A	【担当課意見】 関係・移住定住人口創出・拡充イベントについては、ワーケーションや二拠点居住に興味がある方を対象に、竹原暮らしを体験できる移住定住体験ツアーを実施した。 【今後の見通し】 令和5年度は、観光まちづくり機構と連携し、セミナーの実施と併せて、地域を知り・体験していただく現地ツアーを実施する。
7 移住人口拡大推進事業	R4	移住希望者が望む物件の提供を可能とするために、空き家バンクへの登録促進を図るため、空き家の調査によって物件の掘り起こしを実施する。	空き家バンクによる多様な住宅を供給するとともに、将来お試し住宅として利用する空き家を確保するために、本町・中央・竹原町・忠海中町・忠海床浦・忠海東町を対象とし、空き家老朽化状況の確認、データベース化を図った。	【目標】 移住・定住人口の増加による、地域振興を図る。 【目標数値】 移住者数(施策に関連したものに限り) R4年度(現在値)=19人 R2~R6=50人(累計)	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	育てる"ちから"づくりの推進	8,470,000	4,235,000			4,235,000	A	【担当課意見】 移住希望者が望む物件の提供を可能とするために、空き家バンクへの登録促進を図るため、空き家の調査によって物件の掘り起こしを行い、データベース化を図った。 【今後の見通し】 令和5年度は、データベース化の物件の中から、竹原市の日常生活を体験するために居住するお試し住宅を整備を実施する。
8 お試し暮らし宿泊助成事業	R4	県外在住で本市を訪れる方が市内で仕事や住まいを探したり、生活環境を体験するため市内で宿泊する場合に宿泊費を助成する。	宿泊費助成 R4年度 7人 瀬戸内ファンづくり協定事業の一環として3市(三原市、尾道市、三原市)が同条件で実施するとともに、JR西日本も広報や運賃助成等を行う。	【目標】 関係人口及び移住・定住人口の増加による、地域振興を図る。 【目標数値】 移住者数(施策に関連したものに限り) R4年度(現在値)=19人 R2~R6=50人(累計)	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	育てる"ちから"づくりの推進	17,220				17,220	A	【担当課意見】 R4年度については、首都圏などから7名の移住希望者が助成金を活用した。 【今後の見通し】 引き続き、JR西日本や3市(三原市、尾道市、竹原市)で連携を図り、情報発信等を行い、関係人口及び移住定住人口の促進に努める。

個別事業シート

基本目標1 しごとをつくり安心して働けるようにする
竹原への新しいひとの流れを作る

施策の方向性 移住・定住の促進 ③暮らしやすい環境の創出

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)	
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財			
1 駅前賑わい空間再生事業	R2	竹原駅前の低未利用地の活用を図り、エリア全体で市民や来訪者にとって居心地が良く、歩きたくなる空間を創出するための取組を実施する。 ・駅前地域の活性化のためのビジョンづくり・クラウドファンディングを活用した空き店舗等低未利用地の活用推進 ・空き地等を活用したイベント等への支援 ・駅前駐輪場の移転 など	竹原駅前エリアウォーカーブルビジョンを官民連携で策定し、令和3年2月に公表した。また、駅前エリアで居心地の良い滞留空間創出のための社会実験を行い、地域住民・沿道商店等のまちづくり活動に対する意識醸成を図った。	【目的】 エリア全体で市民や来訪者にとって居心地が良く、歩きたくなる空間を創出し、車中心から人中心のまちづくりを進める。 【目標数値】 なし	都市整備課 企画政策課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	呼び込む"ちから"づくりの推進	16,426,300	1,601,000		13,300,000	1,525,300	B	【担当課意見】 R2年度の社会実験、ビジョン公表によって地域住民・沿道商店のまちづくり活動への参画意識につながっている。 【今後の見通し】 R3年度も社会実験の範囲や内容等を充実させ、更なる住民主体のまちづくり活動の活発化へつなげる。	
	R3	竹原駅前の低未利用地の活用を図り、エリア全体で市民や来訪者にとって居心地が良く、歩きたくなる空間を創出するための取組を実施する。 ・駅前地域の活性化のためのビジョンづくり・クラウドファンディングを活用した空き店舗等低未利用地の活用推進 ・空き地等を活用したイベント等への支援 ・駅前駐輪場の移転 など	令和2年度に策定した竹原駅前エリアウォーカーブルビジョンに基づき、駅前エリアで居心地の良い滞留空間創出のための社会実験に官民連携で取り組み、地域住民・沿道商店等のまちづくり活動に対する意識醸成を図った。	【目的】 エリア全体で市民や来訪者にとって居心地が良く、歩きたくなる空間を創出し、車中心から人中心のまちづくりを進める。 【目標数値】 なし	都市整備課 企画政策課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	呼び込む"ちから"づくりの推進	977,810				977,810	B	【担当課意見】 令和2年度に策定したウォーカーブルビジョンや社会実験などによる成果を踏まえ、地域住民・沿道商店、民間事業者などが、ウォーカーブルビジョンへの理解を深め、主体的な活動につながっている。 【今後の見通し】 R4年度は、日常的な居心地の良い滞留空間創出に向けた官民連携の取組や空き店舗活用に向けた必要な機能・デザインなどを検討し、オーナーに提案していく予定としている。	
	R4	竹原駅前の低未利用地の活用を図り、エリア全体で市民や来訪者にとって居心地が良く、歩きたくなる空間を創出するための取組を実施する。 ・駅前地域の活性化のためのビジョンづくり・クラウドファンディングを活用した空き店舗等低未利用地の活用推進 ・空き地等を活用したイベント等への支援 ・駅前駐輪場の移転 など	令和2年度に策定した竹原駅前エリアウォーカーブルビジョンに基づき、駅前エリアで居心地の良い滞留空間創出のための社会実験に官民連携で取り組み、地域住民・沿道商店等のまちづくり活動に対する意識醸成を図った。	【目的】 エリア全体で市民や来訪者にとって居心地が良く、歩きたくなる空間を創出し、車中心から人中心のまちづくりを進める。 【目標数値】 なし	都市整備課 企画政策課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	呼び込む"ちから"づくりの推進	11,455,572					11,455,572	B	【担当課意見】 令和2年度に策定したウォーカーブルビジョンや社会実験などによる成果を踏まえ、地域住民・沿道商店、民間事業者などが、ウォーカーブルビジョンへの理解を深め、主体的な活動につながっている。 【今後の見通し】 R5年度は民間主体のウォーカーブルビジョン推進協議会の設立、竹原中学校とのまちづくり活動への連携した取組、空き店舗を改修する事業者に対するウォーカーブルビジョンに資するデザインの提案などに取り組む予定としている。
2 地域公共交通推進事業	R2~R3	地域公共交通網の再編を行い、地域公共交通の利用環境の向上を図るため、新たな交通モードの検討を行う。	R3年度の実証運行事業に向け、R2年3月に公共交通会議を実施。R3年5月からの実証運行開始に向けた検討が進められた。	【目的】 令和3年度のデマンド型乗合タクシー実証運行の開始 【目標数値】 なし	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	呼び込む"ちから"づくりの推進	6,700,000					6,700,000	A	【担当課意見】 R2年度には実証運行に向け、公共交通会議を実施。事業開始に向けた検討が進められた。 【今後の見通し】 R3年度から「デマンド型乗合タクシー」の実証運行が、吉名・仁賀地区で開始。今後運行期間中の利用実績や地域住民へのアンケート結果などを基に、今後の公共交通のあり方について効果検証を行う。
	R3	地域公共交通網の再編を行い、地域公共交通の利用環境の向上を図るため、新たな交通モードの環境整備を行う。	R4年度から本格運行へ移行するため、自治会や民生委員協議会の会議へ出向いて利用方法の説明をすともにもタネネットや新聞を通じて事業PRを行い利用促進を図った。	【目的】 令和4年度のデマンド型乗合タクシー本格運行の開始 【目標数値】 なし	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	呼び込む"ちから"づくりの推進	2,450,400					2,450,400	A	【担当課意見】 R4年度の本格運行に向け各種取組を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により地域住民が外出を控える傾向にあったため実証運行による正確な利用データが把握できなかった。 【今後の見通し】 R4年度も実証運行を継続し、利用実績や地域住民の意見等を踏まえ、R5年度からの本格運行に向けた実施内容を精査したうえで各種手続きを進める。
	R4	地域公共交通網の再編を行い、地域公共交通の利用環境の向上を図るため、新たな交通モードの環境整備を行う。	令和4年度から本格運行を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年度も継続して実証運転を実施した。 令和5年度から本格運行へ移行し、公共交通空白地等の解消や外出スタイル・ニーズに呼応した運行方法の見直し・調整を図るため、利用状況等の現状分析、地域及び利用者を対象とした協議及びアンケートを実施した。	【目的】 令和5年度のデマンド型乗合タクシー本格運行の開始 【目標数値】 なし	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	呼び込む"ちから"づくりの推進	3,617,010					3,617,010	A	【担当課意見】 R5年度の本格運行に向け、適切な運行ダイヤを検討するため、利用状況等の現状分析、地域及び利用者を対象とした協議及びアンケートを実施した。 【今後の見通し】 R5年度からは本格運行を開始しており、引き続き、公共交通空白地等の解消や外出スタイル・ニーズに呼応した運行方法の見直し・調整を図り、コンパクトな市街地とネットワークの形成に向け取り組む。

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財		
3 国土強靱化地域計画策定事業	R2	今後発生が予想される様々な災害に対して、市民や地域、行政が手を取り合い、自助・共助・公助の精神で一体的に地域強靱化に取り組みするための基本方針としての「強靱化地域計画」を策定する。	リスクシナリオ毎の施策の取組内容及び指標の現状把握等を行い、令和3年3月に竹原市強靱化地域計画を策定した。	【目的】 大規模自然災害が起こっても機能不全に陥らない、「強さ」と「しなやかさ」を持った災害に強いまちづくりを推進していくため、竹原市強靱化地域計画を策定する。 【目標数値】 なし	危機管理課	将来像4 瀬戸内の恵まれた風土と市民の絆のもと、誰もが安全・安心で快適に生活できるまち 目標像7 市民が支え合う絆を大切にし、安全・安心な生活環境が確保されている	—	0				0	A	【担当課意見】 国土強靱化基本計画及び広島県強靱化地域計画との調和を図りつつ、竹原市総合計画とも整合を図りながら策定した。 【今後の見通し】 毎年度進捗状況の確認を行うとともに、本市の強靱化に向けて設定した「起きるべきではない最悪の事態(リスクシナリオ)」ごとの今後の施策について推進していく。
4 空き家対策総合支援事業	R2~R4	活用可能な空き家は市場への流通を促し、空き家の有効活用により移住・定住を促進することで、空き家の発生を予防する。また、管理不全な空き家に対しては、法的措置等の実施に向けた体制強化を行うとともに、除却を進める。	(改修費支援) 移住者が空き家を取得し、居住のために必要な空き家の改修費に対して支援 (除却費支援) 周辺へ危険を及ぼしている空き家の除却費に対して支援 (家財道具処分費支援) 空き家の流通を促進するため、家財道具処分費に対して支援 (所有者調査業務) 周辺へ危険を及ぼしている空き家で所有者が死亡し、相続人が複数いる場合、司法書士会に調査を依頼し、相続人を特定する。	【目標】 市内にある空き家の解消 【目標数値】 支援制度の利用 18件/年	都市整備課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	呼び込む"ちから"づくりの推進	7,389,000	3,694,000	—	—	3,694,000	A	【担当課意見】 R2年度から実施した空き家支援制度は、予算を超える申請があり、空き家の抑制、利活用、除却など段階的に応じた空き家対策を実施した。 【今後の見通し】 R2年度実施した空き家支援制度を継続して行う。
	R2~R4	活用可能な空き家は市場への流通を促し、空き家の有効活用により移住・定住を促進することで、空き家の発生を予防する。また、管理不全な空き家に対しては、法的措置等の実施に向けた体制強化を行うとともに、除却を進める。	(改修費支援) 移住者が空き家を取得し、居住のために必要な空き家の改修費に対して支援 (除却費支援) 周辺へ危険を及ぼしている空き家の除却費に対して支援 (家財道具処分費支援) 空き家の流通を促進するため、家財道具処分費に対して支援 (所有者調査業務) 周辺へ危険を及ぼしている空き家で所有者が死亡し、相続人が複数いる場合、司法書士会に調査を依頼し、相続人を特定する。	【目標】 市内にある空き家の解消 【目標数値】 支援制度の利用 18件/年	都市整備課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	呼び込む"ちから"づくりの推進	6,782,796	3,390,000	—	—	3,392,796	A	【担当課意見】 R3年度は目標数値を達成した。空き家支援制度により、空き家の利活用が促進されるとともに、危険な空き家の除却が進んだ。 【今後の見通し】 ニーズや課題に応じた空き家支援制度を継続して行う。
	R2~R4	活用可能な空き家は市場への流通を促し、空き家の有効活用により移住・定住を促進することで、空き家の発生を予防する。また、管理不全な空き家に対しては、法的措置等の実施に向けた体制強化を行うとともに、除却を進める。	(改修費支援) 移住者が空き家を取得し、居住のために必要な空き家の改修費に対して支援 (除却費支援) 周辺へ危険を及ぼしている空き家の除却費に対して支援 (家財道具処分費支援) 空き家の流通を促進するため、家財道具処分費に対して支援 (所有者調査業務) 周辺へ危険を及ぼしている空き家で所有者が死亡し、相続人が複数いる場合、司法書士会に調査を依頼し、相続人を特定する。	【目標】 市内にある空き家の解消 【目標数値】 支援制度の利用 18件/年	都市整備課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	呼び込む"ちから"づくりの推進	5,608,766	2,804,000	—	—	2,804,766	A	【担当課意見】 R4年度の支援制度利用件数は目標数値を下回ったものの、空き家の助成制度の啓発により一定数の利活用が進み空き家の相談が増えた。 助成金を活用できなかった事例もあったが、相談が増えたことにより除却の必要性を伝えることができた民間主体の除却が進んだ。 【今後の見通し】 ニーズや課題に応じた空き家支援制度を継続して行う。
5 災害時(自治会充)一斉電話発信事業	R2	災害時等において各自治会に一斉電話を発信し、避難指示等の避難情報など伝達すべき情報を音声で伝達するシステムを活用する。	75自治会すべての代表者の電話番号を登録し、一斉電話の訓練を実施	【目標】 75自治会すべてにおいて、毎年最新の情報に更新していく。 【目標数値】 75自治会(各3名)	危機管理課	将来像4 瀬戸内の恵まれた風土と市民の絆のもと、誰もが安全・安心で快適に生活できるまち 目標像7 市民が支え合う絆を大切にし、安全・安心な生活環境が確保されている	—	483,670				483,670	A	【担当課意見】 災害時等に一斉に情報発信できるツールの一つとして、有効であると考えている。 【今後の見通し】 災害時等の迅速な情報伝達として活用していく。
	R3	災害時等において各自治会に一斉電話を発信し、避難指示等の避難情報など伝達すべき情報を音声で伝達するシステムを活用する。	75自治会すべての代表者の電話番号を登録し、一斉電話の訓練を実施	【目標】 75自治会すべてにおいて、毎年最新の情報に更新していく。 【目標数値】 75自治会(各3名)	危機管理課	将来像4 瀬戸内の恵まれた風土と市民の絆のもと、誰もが安全・安心で快適に生活できるまち 目標像7 市民が支え合う絆を大切にし、安全・安心な生活環境が確保されている	—	481,947				481,947	A	【担当課意見】 災害時等に一斉に情報発信できるツールの一つとして、有効であると考えている。 【今後の見通し】 災害時等の迅速な情報伝達として活用していく。
	R4	災害時等において各自治会に一斉電話を発信し、避難指示等の避難情報など伝達すべき情報を音声で伝達するシステムを活用する。	75自治会すべての代表者の電話番号を登録し、一斉電話の訓練を実施	【目標】 75自治会すべてにおいて、毎年最新の情報に更新していく。 【目標数値】 75自治会(各3名)	危機管理課	将来像4 瀬戸内の恵まれた風土と市民の絆のもと、誰もが安全・安心で快適に生活できるまち 目標像7 市民が支え合う絆を大切にし、安全・安心な生活環境が確保されている	—	435,439						A

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財		
6 新開土地区画整理事業	R2	有効な土地利用とともに、良好な居住環境の整備を図るため、新開地区において土地区画整理事業を引き続き実施する。	関係権利者との合意形成を図りながら、補償・道路整備・土地造成等各種事業に取り組んだ。	【目標】 道路・水路・公園等の都市基盤整備により、良好な居住環境を創出し、都市機能の誘導・移住定住の促進を図る。 【目標数値】 令和2年度末事業進捗率 86%	都市整備課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	91,961,367		37,934,847	26,700,000	27,346,520	A	【担当課意見】 R2年度は関係権利者との合意形成をばかり、家屋移転・区画道路工事に着手した。 【今後の見通し】 R3年度も引き続き、関係権利者との合意形成を図りながら、補償・道路・土地造成等の事業を進める。
	R3	有効な土地利用とともに、良好な居住環境の整備を図るため、新開地区において土地区画整理事業を引き続き実施する。	関係権利者との合意形成を図りながら、補償・道路整備・土地造成等各種事業に取り組んだ。	【目標】 道路・水路・公園等の都市基盤整備により、良好な居住環境を創出し、都市機能の誘導・移住定住の促進を図る。 【目標数値】 令和3年度末事業進捗率 87%	都市整備課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	75,773,171	19,405,000		25,800,000	30,568,171	A	【担当課意見】 R3年度は関係権利者との合意形成をばかり、工作物移転・区画道路工事に着手した。 【今後の見通し】 R4年度も引き続き、関係権利者との合意形成を図りながら、補償・道路・土地造成等の事業を進める。
	R4	有効な土地利用とともに、良好な居住環境の整備を図るため、新開地区において土地区画整理事業を引き続き実施する。	関係権利者との合意形成を図りながら、補償・道路整備・土地造成等各種事業に取り組んだ。	【目標】 道路・水路・公園等の都市基盤整備により、良好な居住環境を創出し、都市機能の誘導・移住定住の促進を図る。 【目標数値】 令和4年度末事業進捗率 88%	都市整備課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	67,429,695	9,840,000	0	27,204,500	30,385,195	A	【担当課意見】 R4年度は関係権利者との合意形成を図り、建物等移転・都市計画道路及び区画道路工事に着手した。 【今後の見通し】 R5年度も引き続き、関係権利者との合意形成を図りながら、補償・道路・土地造成等の事業を進める。
7 地域防災リーダー養成事業	R1~R5	地震や風水害等をはじめとする災害の発生に備え、防災・減災に関する専門的な知識と技能を有する「防災リーダー」を養成する「竹原市地域防災リーダー研修会」を開催	竹原市地域防災リーダー養成並びにフォローアップ研修会の開催 防災リーダーが参画し避難の呼びかけ体制づくり構築に向けた取組の実施	【目標】 75自治会のうち、35自治会に防災リーダーが在籍しているが、各自治会に最低1名を登録するよう防災リーダーを養成していく。また、女性の防災リーダーを増やし、持続可能な防災・減災を目指す。 【目標数値】 75自治会(各1名以上)	危機管理課	将来像4 瀬戸内の恵まれた風土と市民の絆のもと、誰もが安全・安心で快適に生活できるまち 目標像7 市民が支え合う絆を大切にし、安全・安心な生活環境が確保されている	—	152,000		76,000		76,000	A	【担当課意見】 自発的に防災リーダーとして登録者も年々増えており、個々の防災に対する意識も高くなって来ている。 【今後の見通し】 主体的に各防災リーダーが地域や学校等と連携して、市民に防災意識の普及啓発に努めている。引き続き地域防災リーダーの育成及び知識向上に努める。
	R3	地震や風水害等をはじめとする災害の発生に備え、防災・減災に関する専門的な知識と技能を有する「防災リーダー」を養成する「竹原市地域防災リーダー研修会」を開催	竹原市地域防災リーダー養成並びにフォローアップ研修会の開催 防災リーダーが参画し避難の呼びかけ体制づくり構築に向けた取組の実施	【目標】 75自治会のうち、43自治会に防災リーダーが在籍しているが、各自治会に最低1名を登録するよう防災リーダーを養成していく。また、女性の防災リーダーを増やし、持続可能な防災・減災を目指す。 【目標数値】 75自治会(各1名以上)	危機管理課	将来像4 瀬戸内の恵まれた風土と市民の絆のもと、誰もが安全・安心で快適に生活できるまち 目標像7 市民が支え合う絆を大切にし、安全・安心な生活環境が確保されている	—	130,300		65,000		65,300	A	【担当課意見】 自発的に防災リーダーとして登録者も年々増えており、個々の防災に対する意識も高くなって来ている。 【今後の見通し】 主体的に各防災リーダーが地域や学校等と連携して、市民に防災意識の普及啓発に努めている。引き続き地域防災リーダーの育成及び知識向上に努める。
	R4	地震や風水害等をはじめとする災害の発生に備え、防災・減災に関する専門的な知識と技能を有する「防災リーダー」を養成する「竹原市地域防災リーダー研修会」を開催	竹原市地域防災リーダー養成並びにフォローアップ研修会の開催 防災リーダーが参画し避難の呼びかけ体制づくり構築に向けた取組の実施	【目標】 75自治会のうち、45自治会に防災リーダーが在籍しているが、各自治会に最低1名を登録するよう防災リーダーを養成していく。また、女性の防災リーダーを増やし、持続可能な防災・減災を目指す。 【目標数値】 75自治会(各1名以上)	危機管理課	将来像4 瀬戸内の恵まれた風土と市民の絆のもと、誰もが安全・安心で快適に生活できるまち 目標像7 市民が支え合う絆を大切にし、安全・安心な生活環境が確保されている	—	132,420		66,000		66,420	A	【担当課意見】 自発的に防災リーダーとして登録者も年々増えており、個々の防災に対する意識も高くなって来ている。 【今後の見通し】 主体的に各防災リーダーが地域や学校等と連携して、市民に防災意識の普及啓発に努めている。引き続き地域防災リーダーの育成及び知識向上に努める。

基本目標別達成状況総括表

基本目標2
<p>数値目標</p> <p>○人口千人あたりの出生率 4.04%o(H30)→<u>3.29 %o(R4)</u>→5.04%o(R6)</p>
<p>数値目標に対する総合評価</p> <p>○前年度(4.18)と比較し減となった。 ○本市の人口千人あたりの出生率は減となり、出生者も前年度(100人)から減少している。この減少した主な要因として婚姻率の低さが考えられ、経済的な不安が婚姻減少の一つの要因となっている状況を踏まえ、出会いの場を作るための婚活支援事業や婚姻に伴う経済的負担を軽減する結婚新生活支援事業を行うなど出生率の向上につなげる取組を実施した。 ○結婚支援に関する若者のニーズを的確に把握したうえで、結婚しやすい環境づくりの推進について検討する必要がある。</p>

少子化対策						
○①出会い・結婚のサポート						
	(KPI)	H30	R2末	R3末	R4末	R6
1	婚姻率(人口千対)	3.2 (H29実績)	2.6 (R2速報値)	2.7 (R3速報値)	2.3 (R4速報値)	4.3
						評価(KPIの達成度、今後の対策など)
						R2末 ○結婚への価値観や様々な考え方等により、婚姻率は下がっている。 ○出会い・結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目のない支援」のために行う取組のうち、令和3年度においては、「出会い」として、呉市を中心とした連携中枢都市圏事業として婚活イベントへの補助事業を行い、「結婚」の支援として、結婚新生活支援事業(新婚世帯への経済的負担の軽減)を実施し、今後も引き続き婚姻率の上昇を図る。 ※参考指標:竹原市への婚姻届提出数(速報値) 74件(R元年)→64件(R2年)
						R3末 ○結婚への価値観や様々な考え方等により、婚姻率は減少傾向である。 ○出会い・結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目のない支援」として行う取組のうち、令和3年度は、「出会い」として、呉市を中心とした連携中枢都市圏事業として婚活イベントへの補助事業を行い、「結婚」の支援として、結婚新生活支援事業(新婚世帯への経済的負担の軽減)を実施した。令和4年度においては、結婚新生活支援事業(新婚世帯への経済的負担の軽減)を拡充して実施し、引き続き結婚しやすい環境づくりを推進する。 ※参考指標:竹原市への婚姻届提出数(速報値) 64件(R2年)→66件(R3年)
						R4末 ○結婚への価値観や様々な考え方等により、婚姻率は減少傾向である。 ○出会い・結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目のない支援」として行う取組のうち、令和4年度は、「出会い」として、呉市を中心とした連携中枢都市圏事業として婚活イベント事業を構成市町において実施し、竹原市も参画した。令和5年度においては、「結婚」の支援として、令和4年度に引き続き結婚新生活支援事業(新婚世帯への経済的負担の軽減)を拡充して実施し、結婚しやすい環境づくりを推進する。 ※参考指標:竹原市への婚姻届提出数(速報値) 66件(R3年)→55件(R4年)
○②妊娠・出産期への切れ目のない支援						
	(KPI)	H30	R2末	R3末	R4末	R6
1	不妊治療費助成申請件数【一般+特定】	15件	12件	37件	10件	16件
						評価(KPIの達成度、今後の対策など)
						R2末 ○新型コロナウイルスの影響により妊娠・出産に対する考え方が変化したことなどの要因から、申請件数は減少した。 ○不妊治療の対象要件が緩和され、令和4年度からは保険適用となるため、申請者の増加を見込む。 ○引き続き、母子健康手帳やこそだてはてなぶっく等に不妊治療助成事業について、ネウボラを窓口として周知を行うなど、制度と相談機関の周知を図る。
						R3末 ○不妊治療の対象要件として令和3年度から対象者の収入要件が緩和されたため申請者が増加した。 ○新たな助成制度を、こそだてはてなぶっくや母子手帳に表記することやネウボラを利用する人に説明するなど、制度と相談機関の周知を図る。
						R4末 ○不妊治療に健康保険が適用されたことに伴い特定不妊治療費助成事業の申請件数が減少したが、妊娠を希望する夫婦が安心して治療を受けることが出来るよう支援した。 ○引き続き取組を継続して実施し、子どもを産みやすい環境を確保する。
2	たけはらっこネウボラの利用者数【年間累計】	501人	496人	408人	421人	550人
						評価(KPIの達成度、今後の対策など)
						R2末 ○令和元年度(利用者数544人)と比較し、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用者数が減少した。 ○母子健康手帳交付時、市内の保育所等に通所する子どもをもつ保護者や成人式等でリーフレットを配布し、更なる周知を図った。 ○令和2年度に実施したアンケートでは、令和元年度と比較して認知度の向上と本事業が育児不安の解消や孤立感の軽減につながっていることが明らかとなった。 ○今後も引き続き、認知度を高め、妊娠期から子育て期を見据えた支援を継続し、相談者の増加を図る。
						R3末 ○リーフレットは、母子健康手帳交付時、市内の保育所等に通所する子どもをもつ保護者向け、及び成人式で配布し、更なる周知を図った。 ○令和3年度に実施したアンケートでは、前年度と比較して認知度及び利用意向が向上し、本事業が育児不安の解消や孤立感の軽減につながっていることが分かった。 ○子どもと遊びに来た際に、併せて子育ての相談をしたいという保護者のニーズに基づいて、母子保健コーディネーター(助産師)及び子育て支援コーディネーター(保育士)が従事する遊びの教室を開始し、相談しやすい環境を整えた。 ○引き続き認知度を高め、妊娠期から子育て期を見据えた支援を継続し、相談者の増加を図る。
						R4末 ○母子健康手帳交付時、市内のこども園に通園する子どもをもつ保護者及び成人式でリーフレットを配布し、周知を図った。 ○少子化の影響により出生数は減少したが、手厚い支援が必要な障害のある妊婦や子育てに不安のある産婦等は、状況に応じて支援の回数を増やしたため利用者数が増加した。 ○令和4年度に実施したアンケートでは、前年度と比較して認知度が向上し、自由記載欄に、相談しやすい、話を聞いてもらって安心した等の記載みられたことから、気軽に相談でき、出産や子育ての不安の軽減につながっていた。 ○妊娠期から子育て期を見据えた支援を継続して実施するとともに、認知度を高め、相談者の増加を図る。

③子育て支援							評価(KPIの達成度、今後の対策など)	
(KPI)	H30	R2末	R3末	R4末	R6			
1	こども園待機児童数	0人	0人	0人	0人	0人	R2末	○教育・保育事業の見込み量から必要な量を確保しており、年間を通じてこども園待機児童数は0人である。 ○今後も保育ニーズを考慮した施設定員を設定し、保育士の人材確保や施設の適正配置を図る。
							R3末	○教育・保育事業の見込み量から必要な量を確保しており、年間を通じてこども園・保育所の待機児童数は0人である。 ○引き続き保育ニーズを考慮した施設定員を設定し、保育士の人材確保や施設の適正配置を図る。
							R4末	○教育・保育事業の見込み量から必要な量を確保しており、年間を通じてこども園・保育所の待機児童数は0人である。 ○引き続き保育ニーズを考慮した施設定員を設定し、保育士の人材確保や施設の適正配置を図る。
2	放課後児童クラブ 待機児童数	0人	3人	1人	0人	0人	R2末	○令和2年度の児童クラブ全体の定員に対する登録者数は約8割であるが、高学年の利用者が増加している児童クラブがあり、定員を超え受け入れられない状況(高学年の待機児童)が発生している。 ○今後も低学年など保育の必要な児童を優先して利用決定するなど、必要な児童が利用できるよう対応する。
							R3末	○令和3年度の児童クラブ全体の定員に対する登録者数は約8割であるが、年度途中の利用希望者があり、定員を超え受け入れられない状況(待機児童)が発生したが、令和4年2月には待機児童は無くなった。 ○引き続き低学年など保育の必要な児童を優先して利用決定できるよう、募集要項案内について、市ホームページ掲載、広報たけはら掲載、各児童クラブより発信などを行う。
							R4末	○令和4年度の児童クラブ全体の定員に対する登録者数は約8割であり、年度途中の利用希望についても各児童クラブの定員内で受け入れることができ、待機児童数は0人であった。 ○引き続き低学年など保育の必要な児童を優先して利用決定できるよう、募集要項案内について、市ホームページ掲載、広報たけはら掲載、各児童クラブより発信などを行う。
3	地域子育て支援センターの子供一人あたり 利用回数	26.7回/人	8.6回/人	9.8回/人	10.2回/人	27.5回/人	R2末	○令和2年度は支援センターの休館や人数制限を行うなどの新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行ったこと、また地域子育て支援センター「ゆりかご」が令和2年3月末で閉所したことから、利用回数は減少した。 ○引き続き市ホームページ掲載、広報たけはら掲載、メールマガジンでの情報発信、来庁者へ紹介を行う。
							R3末	○令和2年度に引き続き令和3年度においても、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により支援センターの休止や人数制限を行ったことから利用回数は減少した。 ○地域子育て支援センター「ゆりかご」が令和2年3月末で閉所したことから、数値目標を達成することは難しい状況にある。 ○引き続き市ホームページ掲載、広報たけはら掲載、メールマガジンでの情報発信、来庁者へ紹介を行う。
							R4末	○新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度から引き続き支援センターの利用回数は減少している。 ○地域子育て支援センター「ゆりかご」が令和2年3月末で閉所したことから、数値目標を達成することは難しい状況にある。 ○引き続き市ホームページ掲載、広報たけはら掲載、メールマガジンでの情報発信、来庁者へ紹介を行う。
4	ファミリーサポートセンター登録会員数	381人	407人	408人	416人	413人	R2末	○毎年、各こども園・小学校等に周知チラシを配布し、放課後児童クラブの保護者説明会で事業説明するなど周知をすることで、登録会員数は増加している。 ○今後も引き続き、ファミリーサポート事業の周知を図り、更なる会員数の増加を図る。
							R3末	○各こども園・小学校等への周知チラシの配布や放課後児童クラブの保護者説明会で事業説明するなど周知をすることで、登録会員数は目標値に近づいている。 ○引き続き、ファミリーサポート事業の周知を図り、更なる会員数の増加を図る。
							R4末	○各こども園・小学校等への周知チラシの配布や放課後児童クラブの保護者説明会で事業説明するなど周知をすることで、令和4年度においては登録会員数の目標値を達成した。 ○引き続き、ファミリーサポート事業の周知を図り、更なる会員数の増加を図る。

個別事業シート

基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

施策の方向性 少子化対策 ①出会い・結婚のサポート

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財		
1 婚活イベント支援事業	H30~R4 (連携中核都市圏の実施期間)	少子化の要因の一つである未婚化及び晩婚化に対する取り組みとして、結婚を希望する独身の男女のために、結婚の推進を目的とした出会いの機会を積極的に提供する事業を支援する。	結婚を希望する20歳以上の独身の男女に対して健全な出会いの機会と交流の場を提供するもの等で、構成市町内の会場で開催される事業。又は構成市町を発着するツアーイベント等に対して交付する。 ⇒R2年度は竹原市において実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からR3年度へ延期となった。	【目的】 出会いのきっかけにつながる活動の促進や近隣市町との連携による出会いの場の創出 【目標数値】 なし	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	育てる"ちから"づくりの推進	0				0	-	【担当課意見】 R3年度に延期して実施 【今後の見通し】 R3年度に竹原市・熊野町で実施し、R4年度に江田島市・海田町で実施予定。
	H30~R4 (連携中核都市圏の実施期間)	少子化の要因の一つである未婚化及び晩婚化に対する取り組みとして、結婚を希望する独身の男女のために、結婚の推進を目的とした出会いの機会を積極的に提供する事業を支援する。	結婚を希望する20歳以上の独身の男女に対して健全な出会いの機会と交流の場を提供するもの等で、構成市町内の会場で開催される事業。又は構成市町を発着するツアーイベント等に対して助成した。	【目標】 出会いのきっかけにつながる活動の促進や近隣市町との連携による出会いの場を創出する。 【目標数値】 なし	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	育てる"ちから"づくりの推進	213,000				213,000	-	【担当課意見】 R3年度に竹原市で実施したイベントでは、男性22名、女性22名の参加があり、4組カップル成立した。 【今後の見通し】 R4年度は、江田島市・海田町で実施予定である。
	H30~R4 (連携中核都市圏の実施期間)	少子化の要因の一つである未婚化及び晩婚化に対する取り組みとして、結婚を希望する独身の男女のために、結婚の推進を目的とした出会いの機会を積極的に提供する事業を支援する。	結婚を希望する20歳以上の独身の男女に対して健全な出会いの機会と交流の場を提供するもの等で、構成市町内の会場で開催される事業。又は構成市町を発着するツアーイベント等に対して助成した。	【目標】 出会いのきっかけにつながる活動の促進や近隣市町との連携による出会いの場を創出する。 【目標数値】 なし	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	育てる"ちから"づくりの推進	0				0	-	【担当課意見】 令和4年度は、熊野町・海田町において婚活イベントを実施し、男性53名、女性36名の参加があり、19組カップル成立した。 【今後の見通し】 平成30年度から構成市町で実施してきた婚活イベントについては、住民の結婚に対する機運の醸成が図られたことなどを踏まえ、令和4年度をもって事業完了となった。
2 結婚新生活支援事業	R3	結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目のない支援」として行う取組のうち、結婚に対する取組について、結婚に伴う経済的負担を軽減するため、新規に結婚した世帯を対象に新生活を経済的に支援する。	夫婦共に婚姻日における年齢が39歳以下かつ世帯所得400万円未満の新規に婚姻した世帯に対し、婚姻に伴う住宅取得費用又は住宅賃借費用、引越費用を対象とした補助(上限額30万円)を行った。	【目標】 結婚に伴う新生活を開始する際の経済的な負担を軽減することにより、結婚しやすい環境づくりを推進する。 【目標数値】 なし	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	育てる"ちから"づくりの推進	1,736,000		868,000		868,000	-	【担当課意見】 令和3年度から新規事業として実施し、9新婚世帯に対し経済的負担を軽減することができた。 【今後の見通し】 令和4年度も引き続き実施し、結婚しやすい環境づくりを推進する。
	R4	結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目のない支援」として行う取組のうち、結婚に対する取組について、結婚に伴う経済的負担を軽減するため、新規に結婚した世帯を対象に新生活を経済的に支援する。	夫婦共に婚姻日における年齢が39歳以下かつ世帯所得400万円未満の新規に婚姻した世帯に対し、婚姻に伴う住宅取得費用又は住宅賃借費用、引越費用を対象とした補助(上限額30万円)を行った。	【目標】 結婚に伴う新生活を開始する際の経済的な負担を軽減することにより、結婚しやすい環境づくりを推進する。 【目標数値】 なし	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	育てる"ちから"づくりの推進	1,354,000		667,000		667,000	-	【担当課意見】 令和3年度から新規事業として実施し、令和4年度において5新婚世帯に対し経済的負担を軽減することができた。 【今後の見通し】 令和5年度も引き続き実施し、結婚しやすい環境づくりを推進する。

個別事業シート

基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

施策の方向性 少子化対策 ②妊娠・出産期への切れ目のない支

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)	
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財			
1 妊婦・乳幼児健康診査支援事業	R2	妊娠に必要な健診費用の補助及び乳児期の健康診査費用の補助を行うことで、必要な時期の健診受診を促し母子の健康及び、乳児の健康の保持増進を促進する。	母子手帳交付時に妊娠中に必要な健診の受診券及び乳児期の受診券を交付し、妊婦健診受診の促進及び乳児の健康の保持増進に取り組んだ。	【目的】 妊婦健診の受診促進及び乳児期における健康の保持増進 【目標数値】 ○妊婦健診 ・妊婦一般健康診査補助券 1,495件 ・妊婦一般健康診査検査券 127件 ・子宮頸がん検診受診券 125件 ・クラミジア健診受診券 129件 ○乳児一般健診 149件 ○新生児聴覚検査 114件	健康福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	2,648,810					2,648,810	B	【担当課意見】 妊婦の健康管理と乳幼児の健やかな発育支援につながった。しかし、母子健康手帳交付数が予想よりも少なく、補助券等の使用枚数が目標よりも下回った。 【今後の見通し】 令和3年度から産婦健康診査2回の補助が追加になり、産後の心身の健康状態についても把握し、支援につなげる。
	R3	妊娠に必要な健診費用の補助及び乳児期の健康診査費用の補助を行うことで、必要な時期の健診受診を促し妊婦の健康及び乳児の健康の保持増進を促進する。	母子手帳交付時に妊娠中に必要な健診の受診券及び乳児期の受診券を交付し、妊婦健診受診の促進及び乳児の健康の保持増進に取り組んだ。 【実績 R2/R3】 ○妊婦健診 ・妊婦一般健康診査補助券 1,205件/1,190件 ・妊婦一般健康診査検査券 96件/96件 ・子宮頸がん検診受診券 96件/93件 ・クラミジア健診受診券 95件/90件 ○乳児一般健診 146件/131件 ○新生児聴覚検査 100件/95件	【目的】 妊婦健診の受診促進及び乳児期における健康の保持増進 【目標数値】 ○妊婦健診 ・妊婦一般健康診査補助券 1,408件 ・妊婦一般健康診査検査券 116件 ・子宮頸がん検診受診券 113件 ・クラミジア健診受診券 115件 ○乳児一般健診 158件 ○新生児聴覚検査 116件	健康福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	10,210,256					10,210,256	B	【担当課意見】 少子化の影響で実績は減少したが、妊婦の健康管理と乳幼児の健やかな発育支援につながった。 【今後の見通し】 妊婦の健康及び乳児の健康の保持増進に寄与するため、引き続き本事業を実施する。
	R4	妊娠に必要な健診費用の補助及び乳児期の健康診査費用の補助を行うことで、必要な時期の健診受診を促し妊婦の健康及び乳児の健康の保持増進を促進する。	母子手帳交付時に妊娠中に必要な健診の受診券及び乳児期の受診券を交付し、妊婦健診受診の促進及び乳児の健康の保持増進に取り組んだ。 【実績 R3/R4】 ○妊婦健診 ・妊婦一般健康診査補助券 1,190件/1,001件 ・妊婦一般健康診査検査券 96件/92件 ・子宮頸がん検診受診券 93件/93件 ・クラミジア健診受診券 90件/86件 ○乳児一般健診 131件/91件 ○新生児聴覚検査 95件/72件	【目的】 妊婦健診の受診促進及び乳児期における健康の保持増進 【目標数値】 ○妊婦健診 ・妊婦一般健康診査補助券 1,408件 ・妊婦一般健康診査検査券 116件 ・子宮頸がん検診受診券 113件 ・クラミジア健診受診券 115件 ○乳児一般健診 158件 ○新生児聴覚検査 116件	健康福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	8,430,540					8,430,540	B	【担当課意見】 少子化の影響で実績は減少している。しかし、適切な時期に母子健康手帳を交付することで、妊婦の健診受診につながり、健康管理と乳幼児の健やかな発育支援につながった。 【今後の見通し】 妊婦の健康及び乳児の健康の保持増進に寄与するため、引き続き本事業を実施する。
2 妊婦健康診査支援事業	R2	妊娠中からの妊婦の健康管理とあかちゃんの健やかな発育を支援するため妊婦に対する健康診査等の事業を実施することにより、子育て支援対策の充実を図る。 【主な事業】 妊婦健康診査1回受診につき2,000円(上限24,000円)の奨励金を交付する。	母子手帳交付時に事業内容について説明し、産後赤ちゃん訪問や予防接種券交付時に申請を促し、妊婦やあかちゃんの健康の保持増進に取り組んだ。	【目標】 妊婦の健康管理とあかちゃんの健やかな発育を促進する。 【目標数値】 132件	健康福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	2,160,000					2,160,000	A	【担当課意見】 目標数値は下回ったが、事業説明を行い、産後に申請を促せたことで妊婦の健康管理とあかちゃんの健やかな発育の支援につながった。 【今後の見通し】 妊婦と胎児の健康の保持増進及び妊婦健康診査の受診を促進するため継続して実施する。
	R3	妊娠中からの妊婦の健康管理とあかちゃんの健やかな発育を支援するため妊婦に対する健康診査等の事業を実施することにより、子育て支援対策の充実を図る。 【主な事業】 妊婦健康診査1回受診につき2,000円(上限28,000円)の奨励金を交付する。	母子手帳交付時に事業内容について説明し、産後赤ちゃん訪問や予防接種券交付時に申請を促し、妊婦やあかちゃんの健康の保持増進に取り組んだ。	【目標】 妊婦の健康管理とあかちゃんの健やかな発育を促進する。 【目標数値】 121件	健康福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	2,234,000					2,234,000	A	【担当課意見】 目標数値は下回ったが、事業説明を行い、産後に申請を促せたことで妊婦の健康管理とあかちゃんの健やかな発育の支援につながった。 【今後の見通し】 妊婦と胎児の健康の保持増進及び妊婦健康診査の受診を促進するため継続して実施する。
	R4	妊娠中からの妊婦の健康管理とあかちゃんの健やかな発育を支援するため妊婦に対する健康診査等の事業を実施することにより、子育て支援対策の充実を図る。 【主な事業】 妊婦健康診査1回受診につき2,000円(上限28,000円)の奨励金を交付する。	母子手帳交付時に事業内容について説明し、産後赤ちゃん訪問や予防接種券交付時に申請を促し、妊婦やあかちゃんの健康の保持増進に取り組んだ。	【目標】 妊婦の健康管理とあかちゃんの健やかな発育を促進する。 【目標数値】 102件	健康福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	1,784,000					1,784,000	A	【担当課意見】 目標数値は下回ったが、事業説明を行い、産後に全員の申請を促せたことで妊婦の健康管理とあかちゃんの健やかな発育の支援につながった。 【今後の見通し】 妊婦と胎児の健康の保持増進及び妊婦健康診査の受診を促進するため継続して実施する。

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)	
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財			
3 不妊治療費補助事業	R2	不妊検査・一般不妊治療費及び特定不妊治療(体外受精及び顕微授精)について、費用の一部を助成することにより、不妊治療を希望するカップルの経済的負担の軽減と、子どもを産みやすい環境を確保し、子育て支援対策の充実を図る。	ホームページの掲載、チラシを保健センター・市内等に配架するとともに西部東保健所などの関係機関と連携し、該当者及び申請を検討している市民に対して継続的に周知し、経済的負担を軽減し、子どもを産み育てやすい環境づくりに取組んだ。 ●特定不妊治療 【R1実績/R2実績(R1実績との差)】 助成件数 実 6人/6人(±0人) 延 8件/11件(+3人) ●不妊検査費等 【R2実績】 助成件数 実1人 延1人	【目標】 不妊治療を行うことで、子どもを望む家庭に子どもが持てる機会を周知する。 【目標数値】 不妊治療支援費補助金 9件 一般不妊治療助成 2件	健康福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	1,613,605					1,613,605	A	【担当課意見】 夫婦で不妊検査等を行い一般不妊治療については目標数に至らなかったが、高額治療である特定不妊治療に対する金銭的な負担の軽減につながっていることから、妊娠を希望する夫婦が安心して治療を受けることが出来るよう支援した。 【今後の見通し】 R4年度から不妊治療の保険適用が開始になる。
	R3	不妊検査・一般不妊治療費及び特定不妊治療(体外受精及び顕微授精)に併せて行われる先進医療又は審議中の技術において、費用の一部を助成することにより、不妊治療を希望するカップルの経済的負担の軽減と、子どもを産みやすい環境を確保し、子育て支援対策の充実を図る。	ホームページの掲載、チラシを保健センター・市内等に配架するとともに西部東保健所などの関係機関と連携し、該当者及び申請を検討している市民に対して継続的に周知し、経済的負担を軽減し、子どもを産み育てやすい環境づくりに取組んだ。 ●特定不妊治療 【R2実績/R3実績(R2実績との差)】 助成件数 実 6人/13人(+7人) 延 11件/19件(+8人) ●不妊検査費等 【R3実績】 助成件数 実5人 延5人	【目標】 不妊治療を行うことで、子どもを望む家庭に子どもが持てる機会を周知する。 【目標数値】 不妊治療支援費補助金 9件 一般不妊治療助成 2件	健康福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	2,564,675					2,564,675	A	【担当課意見】 R4年度より特定不妊治療が保険適用になることに伴い、R3年度までの助成制度は終了し、新たに先進医療部分の助成が開始。マスコミなどでも取り上げられ市民の関心が高まったこともあり申請者が増えた。 【今後の見通し】 経過措置として年度前半は申請者が多い見込み。新たな制度への周知が必要。
	R4	不妊検査・一般不妊治療費及び特定不妊治療(体外受精及び顕微授精)に併せて行われる先進医療又は審議中の技術において、費用の一部を助成することにより、不妊治療を希望するカップルの経済的負担の軽減と、子どもを産みやすい環境を確保し、子育て支援対策の充実を図る。	ホームページの掲載、チラシを保健センター・市内等に配架するとともに西部東保健所などの関係機関と連携し、該当者及び申請を検討している市民に対して継続的に周知し、経済的負担を軽減し、子どもを産み育てやすい環境づくりに取組んだ。 ●特定不妊治療(経過措置) 【R3実績/R4実績(R3実績との差)】 助成件数 実 13人/5人(-8人) 延 10件/8件(-11人) ●不妊検査費等 【R4実績】 助成件数 実2人 延2人	【目標】 不妊治療を行うことで、子どもを望む家庭に子どもが持てる機会を周知する。 【目標数値】 不妊治療支援費補助金 11件 一般不妊治療助成 3件	健康福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	1,159,605					1,159,605	B	【担当課意見】 妊娠を希望する夫婦が安心して治療を受けることが出来るよう支援した。 【今後の見通し】 引き続き取組を継続して実施し、子どもを産みやすい環境を確保する。
4 産婦人科健診施設支援事業	R2	妊婦に対し妊婦健康診査事業の継続受診及び妊娠期の母性支援の充実を図るため、運営費補助を行う。 (H28年度から開始)	医療機関:医療法人社団仁慈会安田病院 診察日:月2回→月6回(R3年度より開始) 医療機関への支援内容:医療に必要な運営補助 ・妊婦健康診査受診者実績 R1 5人(延べ24人) R2 4人(延べ13人) ・運営費補助金 R2 840,000円/年 R3 1,260,000円/年	【目標】 妊婦に対し妊婦健康診査事業の継続受診及び妊娠期の母性支援の充実を図る 【目標数値】 妊婦健康診査受診者数 年6人	健康福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	840,000					840,000	B	【担当課意見】 妊婦健診が診察日増加により、受診しやすくなり継続受診にもつながる。 【今後の見通し】 R3年度から妊婦健診の診察日を拡大した。
	R3	妊婦に対し妊婦健康診査事業の継続受診及び妊娠期の母性支援の充実を図るため、運営費補助を行う。 (H28年度から開始)	医療機関:医療法人社団仁慈会安田病院 診察日:月2回→月6回(R3年度より開始) 医療機関への支援内容:医療に必要な運営補助 R3年度より産後健診についても実施 ・妊婦健康診査受診者実績 R2 4人(延べ13人) R3 6人(延べ38人) ・運営費補助金 R2 840,000円/年 R3 1,260,000円/年	【目標】 妊婦に対し妊婦健康診査事業の継続受診及び妊娠期の母性支援の充実を図る 【目標数値】 妊婦健康診査受診者数 年6人	健康福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	1,260,000					1,260,000	A	【担当課意見】 妊婦健診が診察日増加により、受診しやすくなり継続受診にもつながっている。 【今後の見通し】 妊婦の健康の保持増進とともに、産後健診の実施により継続支援につながるため、引き続き周知を図る。
	R4	妊婦に対し妊婦健康診査事業の継続受診及び妊娠期の母性支援の充実を図るため、運営費補助を行う。 (H28年度から開始)	医療機関:医療法人社団仁慈会安田病院 診察日:月2回→月6回(R3年度より開始) 医療機関への支援内容:医療に必要な運営補助 R3年度より産後健診についても実施 ・妊婦健康診査受診者実績 R3 6人(延べ38人) R4 5人(延べ22人) ・運営費補助金 R3 1,260,000円/年 R4 1,260,000円/年	【目標】 妊婦に対し妊婦健康診査事業の継続受診及び妊娠期の母性支援の充実を図る 【目標数値】 妊婦健康診査受診者数 年6人	健康福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	1,260,000					1,260,000	A	【担当課意見】 妊婦健診が診察日増加により、受診しやすくなり継続受診にもつながっている。 【今後の見通し】 妊婦の健康の保持増進とともに、産後健診の実施により継続支援につながるため、引き続き周知を図る。東広島に開院した医療機関との連携により、受診前まで受診できる体制を整備する。

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財		
5 産後ケア推進事業	R2	生後1年未満の母子を対象に、家族等からの援助を受けることが出来ない者で、産後の心身に不調がある者や強い育児不安がある者が母子で委託する助産所に宿泊をして、育児相談や心身の休息の機会の提供を受ける。	必要な母子がいつでも利用できるように、母子健康手帳交付時、ホームページ及びたけっこダイアリー等を活用して事業の周知を図った。R2年度の利用は1組であった。	【目標】 ・産婦の身体的、精神的負担の軽減や育児の手法の理解 ・児童虐待の予防 【目標数値】 3人	健康福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	106,960	45,000	15,000		46,960	B	【担当課意見】 利用者は少ないが、産後うつや児童虐待予防のため継続して実施する必要がある。 【今後の見通し】 R3年度から、対象者を拡充し、産後の身体的・精神的な支援の強化に取り組む。必要な人が本事業を利用できるように、引き続き周知を図る。
	R3	生後1年未満の母子を対象に、家族等からの援助を受けることが出来ない者で、産後の心身に不調がある者や強い育児不安がある者が母子で委託する助産所に宿泊をして、育児相談や心身の休息の機会の提供を受ける。	県内5箇所の助産院で利用できる。必要な母子がいつでも利用できるように、母子健康手帳交付時、ホームページ及びたけっこダイアリー等を活用して事業の周知を図った。 【利用実績】 0件(R2年度:1件)	【目標】 ・産婦の身体的、精神的負担の軽減や育児の手法の理解 ・児童虐待の予防 【目標数値】 5件	健康福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	0				0	B	【担当課意見】 利用者は少ないが、産後うつや児童虐待予防のため継続して実施する必要がある。 【今後の見通し】 新型コロナウイルス感染症の影響により産後うつの発症者が増加している。産後の身体的・精神的な負担を軽減し、子育てしやすい環境を醸成するため、必要な人が本事業を利用できるように、引き続き周知を図る。
	R4	生後1年未満の母子を対象に、家族等からの援助を受けることが出来ない者で、産後の心身に不調がある者や強い育児不安がある者が母子で委託する助産所に宿泊をして、育児相談や心身の休息の機会の提供を受ける。	県内5箇所の助産院で利用できる。必要な母子がいつでも利用できるように、母子健康手帳交付時、ホームページ及びたけっこダイアリー等を活用して事業の周知を図った。 【利用実績】 1件	【目標】 ・産婦の身体的、精神的負担の軽減や育児の手法の理解 ・児童虐待の予防 【目標数値】 5件	健康福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	184,750	79,000	26,000		79,750	B	【担当課意見】 利用者は少ないが、産後うつや児童虐待予防のため継続して実施する必要がある。 【今後の見通し】 産後うつの発症者が増加している。産後の身体的・精神的な負担を軽減し、子育てしやすい環境を醸成するため、必要な人が本事業を利用できるように、引き続き周知を図る。
6 子育て世代包括支援センター事業	R2	妊娠期から子育て期にわたるまでの総合的相談支援を実施する。	R2年度から、保育士が従事し、子育て期の支援を強化した。母子健康手帳交付時の相談対応103件、妊産婦等の訪問63件、妊産婦等の相談46件、妊産婦等の電話相談266件、支援計画の立案・実施18件の支援を行った。	【目標】 子育てしやすい環境の醸成につながるともに子どもの健やかな成長につながる。 【目標数値】 支援ニーズの高い妊産婦への支援実施の割合 100%	健康福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	3,236,183	1,061,000	1,348,000		827,183	A	【担当課意見】 全ての妊産婦に漏れなく、切れ目なく支援した。特に、支援ニーズの高い妊産婦には個別支援計画を立案し、対象者に応じた支援を提供した。 【今後の見通し】 R3年度から、育児期の支援を一層強化するため、親子遊びの教室を開始し、相談しやすい環境を醸成する。
	R3	妊娠期から子育て期にわたるまでの総合的相談支援を実施する。	定期的な面談を実施し、悩みや不安に対して早期に、予防的に支援した。また、関係機関と子どもを見守る視点を共有し、連携して取り組んだ。 【支援状況】 ●支援ニーズの高い妊産婦に対して漏れなく支援した。 ●詳細 R2/R3 ・母子健康手帳交付時の相談対応103件/88件 ・妊産婦等の訪問63件/41件 ・妊産婦等の相談46件/35件 ・妊産婦等の電話相談266件/228件 ・支援計画の立案・実施18件/16件	【目標】 子育てしやすい環境の醸成につながるともに子どもの健やかな成長につながる。 【目標数値】 支援ニーズの高い妊産婦への支援実施の割合 100%	健康福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	3,986,300	2,229,000	1,199,736		557,564	A	【担当課意見】 少子化の影響で支援件数が減少したが、全ての妊産婦に漏れなく、切れ目なく支援した。特に、支援ニーズの高い妊産婦には個別支援計画を立案し、対象者に応じた支援を提供した。 【今後の見通し】 本事業の周知を図り、誰もが気軽に相談できる環境を整えるとともに、妊娠期から子育て期にわたり漏れなく、切れ目のない支援を継続する。
	R4	妊娠期から子育て期にわたるまでの総合的相談支援を実施する。	母子健康手帳の交付から3歳児健診まで定期的に面談を実施し、悩みや不安に対して早期に支援した。また、医療機関やこども園等の関係機関と妊産婦及び乳幼児を見守る視点を共有する機会を設け、連携の推進に取り組んだ。 【支援状況】 ●支援ニーズの高い妊産婦に対して漏れなく支援した。 ●詳細 R3/R4 ・母子健康手帳交付時の相談対応88件/89件 ・妊産婦等の訪問41件/46件 ・妊産婦等の相談35件/32件 ・妊産婦等の電話相談228件/242件 ・支援計画の立案・実施16件/12件	【目標】 子育てしやすい環境の醸成につながるともに子どもの健やかな成長につながる。 【目標数値】 支援ニーズの高い妊産婦への支援実施の割合 100%	健康福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	3,965,682	2,216,000	1,195,624		554,058	A	【担当課意見】 支援計画の立案件数は減少したが、障害のある妊婦や子育てに不安のある産婦等の支援ニーズの高い妊産婦には、すべて個別支援計画を立案し、対象者に応じた支援を提供した。 【今後の見通し】 全ての妊産婦に母子健康手帳交付時、妊娠中期、妊娠後期及びあかちゃん訪問時にアンケートと面談又は訪問を行い、出産・子育てに係る不安に寄り添い、軽減するよう支援する。

個別事業シート

基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 施策の方向性 少子化対策 ③子育て支援

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元氣プロジェクト		国	県	その他	一財		
1 だけのこども園運営事業	R2	教育・保育を一体的に行い、子どもの心身の発達を助長するとともに、保護者に対する子育ての支援を行うため、令和2年4月からだけのこども園を開園する。	就学前教育・保育及び保護者に対する子育て支援を実施した。	【目的】 就学前の教育・保育、保護者に対する子育て支援 【目標数値】 なし	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	育てる"ちから"づくりの推進	60,855,000	500,000			60,355,000	—	【担当課意見】 令和2年4月に開園し、就学前の教育・保育及び子育て支援を行った。 【今後の見通し】 引き続き就学前の教育・保育及び子育て支援を行う。
2 乳幼児等医療費助成事業	R2	乳幼児・児童の疾病の早期発見と治療を促進し、健やかな育成を図るため、医療費の助成を実施している。	県の助成制度(就学前児童に関わる入院、通院時の自己負担額の一部助成)に加えて、市独自の施策として、助成の対象を拡大し、小学6年生修了時まで入院時の自己負担額の一部助成を実施。R2年7月から入院について、対象を中学3年生修了時まで拡大した。	【目標】 乳幼児・児童の疾病の早期発見と治療を促進し、健やかな育成を図る。 【目標数値】 なし	市民課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	育てる"ちから"づくりの推進	28,453,620		7,452,000		21,001,620	—	【担当課意見】 県の助成対象(就学前児童)に加え、市独自の施策として、通院は小学6年生修了時まで、入院は中学3年生修了時まで拡大して助成を実施している。 【今後の見通し】 引き続き取組を継続して実施する。
	R3	乳幼児・児童の疾病の早期発見と治療を促進し、健やかな育成を図るため、医療費の助成を実施している。	県の助成制度(就学前児童に関わる入院、通院時の自己負担額の一部助成)に加えて、市独自の施策として、通院は小学6年生修了時まで、入院は中学3年生修了時まで自己負担額の一部の助成を実施。	【目標】 乳幼児・児童の疾病の早期発見と治療を促進し、健やかな育成を図る。 【目標数値】 なし	市民課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	育てる"ちから"づくりの推進	31,521,596		8,324,000		23,197,596	—	【担当課意見】 県の助成対象(就学前児童)に加え、市独自の施策として、通院は小学6年生修了時まで、入院は中学3年生修了時まで助成を実施している。 【今後の見通し】 引き続き取組を継続して実施する。
	R4	乳幼児・児童の疾病の早期発見と治療を促進し、健やかな育成を図るため、医療費の助成を実施している。	県の助成制度(就学前児童に関わる入院、通院時の自己負担額の一部助成)に加えて、市独自の施策として、通院は小学6年生修了時まで、入院は中学3年生修了時まで自己負担額の一部の助成を実施。	【目標】 乳幼児・児童の疾病の早期発見と治療を促進し、健やかな育成を図る。 【目標数値】 なし	市民課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	育てる"ちから"づくりの推進	31,201,057		6,948,000		24,253,057	—	【担当課意見】 県の助成対象(就学前児童)に加え、市独自の施策として、通院は小学6年生修了時まで、入院は中学3年生修了時まで助成を実施している。 【今後の見通し】 R5年10月より助成対象を通院・入院ともに18歳年度末までに拡大し、また、所得制限の撤廃を実施する。
3 放課後児童クラブ事業	R2	就労等により昼間家庭に保護者のいない児童を対象に、授業が終わった後の遊び及び生活の場を提供し、支援員の活動支援のもと児童の健全育成を図る。 【対象児童】 小学校1～6年生まで 【実施箇所】 市内9校のうち8校区で実施。(直営5箇所、委託3箇所) 【定員】350人 【開設時間】 平日14:00～18:00、学校休業日8:00～18:00(日、祝、お盆、年末年始を除く) 【保護者負担金】児童一人当たり月額3,000円	市内8箇所10教室で放課後児童健全育成事業を実施した。また、支援員の資質の向上のため、支援員研修会を実施した。	【目標】 保護者の就労支援と児童の健全育成を図るため、放課後児童健全育成事業を実施する。 【目標数値】 待機児童 0人	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	72,675,569	22,582,114	21,230,000	8,283,000	20,580,455	C	【担当課意見】 子どもが減少しているにも関わらず、高学年の放課後児童クラブの利用者が増加している児童クラブがあり、児童クラブによっては、定員を超え受け入れられない状況(高学年の待機児童)が発生している。 【今後の見通し】 子どもが減少していることなどにより、待機児童は0人になる見込みである。
	R3	就労等により昼間家庭に保護者のいない児童を対象に、授業が終わった後の遊び及び生活の場を提供し、支援員の活動支援のもと児童の健全育成を図る。 【対象児童】 小学校1～6年生まで 【実施箇所】 市内9校のうち8校区で実施。(直営5箇所、委託3箇所) 【定員】350人 【開設時間】 平日14:00～18:00、学校休業日8:00～18:00(日、祝、お盆、年末年始を除く) 【保護者負担金】児童一人当たり月額3,000円	市内8箇所10教室で放課後児童健全育成事業を実施した。また、支援員の資質の向上のため、支援員研修会を実施した。	【目標】 保護者の就労支援と児童の健全育成を図るため、放課後児童健全育成事業を実施する。 【目標数値】 待機児童 0人	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	74,453,510	22,227,000	22,227,000	7,770,000	22,229,510	B	【担当課意見】 子どもが減少しているにも関わらず、児童クラブによっては、定員を超え受け入れられない状況が発生した。 【今後の見通し】 子どもが減少していることなどにより、待機児童は0人になる見込みである。
	R4	就労等により昼間家庭に保護者のいない児童を対象に、授業が終わった後の遊び及び生活の場を提供し、支援員の活動支援のもと児童の健全育成を図る。 【対象児童】 小学校1～6年生まで 【実施箇所】 市内9校のうち8校区で実施。(直営5箇所、委託3箇所) 【定員】350人 【開設時間】 平日14:00～18:00、学校休業日8:00～18:00(日、祝、お盆、年末年始を除く) 【保護者負担金】児童一人当たり月額3,000円	市内8箇所10教室で放課後児童健全育成事業を実施した。また、支援員の資質の向上のため、支援員研修会を実施した。	【目標】 保護者の就労支援と児童の健全育成を図るため、放課後児童健全育成事業を実施する。 【目標数値】 待機児童 0人	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	73,203,888	22,034,000	22,034,000	7,089,000	22,046,888	A	【担当課意見】 年間を通じて待機児童が発生せず、保護者のニーズに適切に対応することができた。 【今後の見通し】 令和5年度において高学年のニーズの高まりにより児童クラブ(1カ所)で待機児童(高学年)が発生しているものの、子どもの減少等により、市全体としては定員の8割程度の利用となっていることから、今後、待機児童の解消が見込まれる。

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財		
4 病児・病後児保育事業	R2	保護者が勤務等の都合により自ら看護を行うことが困難な時に、病院等に付設した専用施設で病氣中や病氣の回復期にあることを一時預かりをする。	委託により実施した。 ○病児対応型(1施設) ボビー(米田小児科) ○病後児対応型(1施設) さくらんぼ(ふれあい館ひろしま)	【目的】 病児について、病院等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育を実施する。 【目標数値】 なし	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	9,415,041	3,137,000	3,137,000	1,200	3,139,841	—	【担当課意見】 保護者の保育ニーズに適切に対応し、安心して子育てができる環境の充実につながっている。 【今後の見通し】 子育てと就労の両立を支援するため、継続して取り組む。
	R3	保護者が勤務等の都合により自ら看護を行うことが困難な時に、病院等に付設した専用施設で病氣中や病氣の回復期にあることを一時預かりをする。	委託により実施した。 ○病児対応型(1施設) ボビー(米田小児科) ○病後児対応型(1施設) さくらんぼ(ふれあい館ひろしま)	【目的】 病児について、病院等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育を実施する。 【目標数値】 なし	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	8,998,139	2,997,000	2,997,000	4,800	2,999,339	—	【担当課意見】 保護者の保育ニーズに適切に対応し、安心して子育てができる環境の充実につながっている。 【今後の見通し】 子育てと就労の両立を支援するため、継続して取り組む。
	R4	保護者が勤務等の都合により自ら看護を行うことが困難な時に、病院等に付設した専用施設で病氣中や病氣の回復期にあることを一時預かりをする。	委託により実施した。 ○病児対応型(1施設) ボビー(米田小児科) ○病後児対応型(1施設) さくらんぼ(ふれあい館ひろしま)	【目的】 病児について、病院等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育を実施する。 【目標数値】 なし	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	10,159,000	3,375,000	3,375,000	29,400	3,379,600	—	【担当課意見】 保護者の保育ニーズに適切に対応し、安心して子育てができる環境の充実につながっている。 【今後の見通し】 子育てと就労の両立を支援するため、継続して取り組む。
5 一時預かり事業	R2	安心して子育てができる環境を整備し、もって児童の福祉の向上を図るため、家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児を、認定こども園、保育所、地域子育て支援拠点等において、一時的に預かり、必要な保育を行う。	公立保育所(1箇所)・公立認定こども園(3箇所)・私立認定こども園(5箇所)・ふれあい館ひろしまの10箇所	【目標】 保護者の一時的な保育ニーズに応えるため、一時預かり事業を実施する。 【目標数値】 なし	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	6,364,000	2,121,000	2,121,000		2,122,000	—	【担当課意見】 保護者の保育ニーズに適切に対応し、安心して子育てができる環境の充実につながっている。 【今後の見通し】 事業の周知を図るとともに、保護者の保育ニーズに応じた事業の充実に向けていく。
	R3	安心して子育てができる環境を整備し、もって児童の福祉の向上を図るため、家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児を、認定こども園、保育所、地域子育て支援拠点等において、一時的に預かり、必要な保育を行う。	公立保育所(1箇所)・公立認定こども園(3箇所)・私立認定こども園(5箇所)・ふれあい館ひろしまの10箇所	【目標】 保護者の一時的な保育ニーズに応えるため、一時預かり事業を実施する。 【目標数値】 なし	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	7,636,000	2,545,000	2,545,000		2,546,000	—	【担当課意見】 保護者の保育ニーズに適切に対応し、安心して子育てができる環境の充実につながっている。 【今後の見通し】 事業の周知を図るとともに、保護者の保育ニーズに応じた事業の充実に向けていく。
	R4	安心して子育てができる環境を整備し、もって児童の福祉の向上を図るため、家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児を、認定こども園、保育所、地域子育て支援拠点等において、一時的に預かり、必要な保育を行う。	公立保育所(1箇所)・公立認定こども園(3箇所)・私立認定こども園(5箇所)・ふれあい館ひろしまの10箇所	【目標】 保護者の一時的な保育ニーズに応えるため、一時預かり事業を実施する。 【目標数値】 なし	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	7,511,000	2,503,000	2,503,000		2,505,000	—	【担当課意見】 保護者の保育ニーズに適切に対応し、安心して子育てができる環境の充実につながっている。 【今後の見通し】 事業の周知を図るとともに、保護者の保育ニーズに応じた事業の充実に向けていく。
6 地域子育て支援拠点事業	R2	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う。	つくしんぼ(特定非営利活動法人ふれあい館ひろしま)・ミルクハウス(社会福祉法人明星福祉会)の2箇所	【目標】 地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援する。 【目標数値】 子供一人あたり利用回数 R6:27.5回/人	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	19,973,407	6,363,000	6,363,000		7,247,407	C	【担当課意見】 乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場を開設し、子育てを支援している。 【今後の見通し】 事業の周知を図るとともに、引き続き事業の充実に向けていく。
	R3	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う。	つくしんぼ(特定非営利活動法人ふれあい館ひろしま)・ミルクハウス(社会福祉法人明星福祉会)の2箇所	【目標】 地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援する。 【目標数値】 子供一人あたり利用回数 R6:27.5回/人	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	18,017,924	6,005,000	6,005,000		6,007,924	C	【担当課意見】 乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場を開設し、子育てを支援している。 【今後の見通し】 事業の周知を図るとともに、引き続き事業の充実に向けていく。
	R4	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う。	つくしんぼ(特定非営利活動法人ふれあい館ひろしま)・ミルクハウス(社会福祉法人明星福祉会)の2箇所	【目標】 地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援する。 【目標数値】 子供一人あたり利用回数 R6:27.5回/人	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	19,637,158	6,545,000	6,545,000		6,547,158	C	【担当課意見】 乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場を開設し、子育てを支援している。 【今後の見通し】 事業の周知を図るとともに、引き続き事業の充実に向けていく。

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財		
7 ファミリーサポートセンター事業	R2	乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と、当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡調整を行い、地域における育児の相互援助活動を推進する。	竹原市社会福祉協議会に委託し実施した。	【目標】 会員数の増加 【目標数値】 登録会員数 R6:413人	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	4,033,995	1,106,000	1,106,000		1,821,995	A	【担当課意見】 登録会員数も増加しており、子育て中の保護者には必要な事業である。 【今後の見通し】 子育てと就労の両立を支援するため、継続して取り組む。
	R3	乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を対象として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と、当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡調整を行い、地域における育児の相互援助活動を推進する。	竹原市社会福祉協議会に委託し実施した。	【目標】 地域における育児の相互援助活動を推進するため、会員数の増加を図る。 【目標数値】 登録会員数 R6:413人	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	4,560,325	1,200,000	1,200,000		2,160,325	A	【担当課意見】 登録会員数も増加しており、子育て中の保護者にとって必要な事業である。 【今後の見通し】 子育てと就労の両立を支援するため、継続して取り組む。
	R4	乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を対象として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と、当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡調整を行い、地域における育児の相互援助活動を推進する。	竹原市社会福祉協議会に委託し実施した。	【目標】 地域における育児の相互援助活動を推進するため、会員数の増加を図る。 【目標数値】 登録会員数 R6:413人	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	4,491,175	1,200,000	1,200,000		2,091,175	A	【担当課意見】 登録会員数は増加しており、子育て中の保護者にとって必要な事業である。 【今後の見通し】 子育てと就労の両立を支援するため、継続して取り組む。
8 延長保育事業	R2	安心して子育てができる環境を整備し、もって児童の福祉の向上を図るため、保護者の勤務条件や家庭の事情などにより、支給認定時間を超えて、引き続き保育所・認定こども園を利用する児童に対し、早朝・夕方の保育を実施する。 早朝 7:00～7:30 (3園) 夕方 18:30～19:00 (全園) (保育短時間の場合は、利用時間以降)	市内すべての保育所及び認定こども園において延長保育を実施した。	【目標】 就労と子育ての両立を支援するため、保護者のニーズを踏まえ、保育所・こども園で延長保育を実施する。 【目標数値】 なし	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	2,400,000	800,000	800,000		800,000	—	【担当課意見】 保育所、こども園において受け入れ体制が整っており、必要性に応じ利用可能となっている。 【今後の見通し】 子育てと就労の両立を支援するため、継続して取り組む。
	R3	安心して子育てができる環境を整備し、もって児童の福祉の向上を図るため、保護者の勤務条件や家庭の事情などにより、支給認定時間を超えて、引き続き保育所・認定こども園を利用する児童に対し、早朝・夕方の保育を実施する。 早朝 7:00～7:30 (3園) 夕方 18:30～19:00 (全園) (保育短時間の場合は、利用時間以降)	市内すべての保育所及び認定こども園において延長保育を実施した。	【目標】 就労と子育ての両立を支援するため、保護者のニーズを踏まえ、保育所・こども園で延長保育を実施する。 【目標数値】 なし	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	2,302,000	767,000	767,000		768,000	—	【担当課意見】 保育所、こども園において受け入れ体制が整っており、必要性に応じ利用可能となっている。 【今後の見通し】 子育てと就労の両立を支援するため、継続して取り組む。
	R4	安心して子育てができる環境を整備し、もって児童の福祉の向上を図るため、保護者の勤務条件や家庭の事情などにより、支給認定時間を超えて、引き続き保育所・認定こども園を利用する児童に対し、早朝・夕方の保育を実施する。 早朝 7:00～7:30 (3園) 夕方 18:30～19:00 (全園) (保育短時間の場合は、利用時間以降)	市内すべての保育所及び認定こども園において延長保育を実施した。	【目標】 就労と子育ての両立を支援するため、保護者のニーズを踏まえ、保育所・こども園で延長保育を実施する。 【目標数値】 なし	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	2,333,000	777,000	777,000		779,000	—	【担当課意見】 保育所、こども園において受け入れ体制が整っており、必要性に応じ利用可能となっている。 【今後の見通し】 子育てと就労の両立を支援するため、継続して取り組む。

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元氣プロジェクト		国	県	その他	一財		
9 産婦健康診査事業	R3	産後2週間、産後1か月など出産後もない時期の産婦に対する健康診査(母体の身体的機能の回復や授乳状況及び精神状態の把握等)の費用を助成することにより、産後の初期段階における母子に対する支援を強化し、妊産婦から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を整備する。	母子手帳交付時に産婦健康診査の補助券(2枚)を交付した。また、令和2年度中に母子健康手帳交付者のうち分娩予定日が令和3年4月以降の者は補助券を交付した。産後うつ病質問票の得点が高い産婦は医療機関と連携し、早期に支援した。 ●産婦健康診査受診者数(延)142件	【目標】 産後うつ予防や新生児への虐待予防等を図る 【目標数値】 受診者数(延)230件	健康福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	711,210	350,130			361,080	B	【担当課意見】 少子化の影響で受診者数は目標数値を下回った。しかし、産後うつ病質問票の得点が高い産婦に医療機関と連携し早期に支援を行うことができた。 【今後の見直し】 心身の不調のある産婦を遅れなく支援できるように引き続き医療機関と連携し、事業を実施する。
	R4	産後2週間、産後1か月など出産後もない時期の産婦に対する健康診査(母体の身体的機能の回復や授乳状況及び精神状態の把握等)の費用を助成することにより、産後の初期段階における母子に対する支援を強化し、妊産婦から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を整備する。	母子手帳交付時に産婦健康診査の補助券(2枚)を交付した。産後うつ病質問票の得点が高い産婦は医療機関と連携し、早期に支援した。 ●産婦健康診査受診者数(延)115件	【目標】 産後うつ予防や新生児への虐待予防等を図る 【目標数値】 受診者数(延)230件	健康福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—	570,000	285,000			285,000	B	【担当課意見】 新型コロナウイルス感染症及び少子化の影響で受診者数は目標数値を下回った。しかし、産後うつ病質問票の得点が高い産婦に医療機関と連携し早期に支援を行うことができた。 【今後の見直し】 心身の不調のある産婦を遅れなく支援できるように引き続き医療機関と連携し、事業を実施する。
10 たけはらっこネウボラ育児支援強化事業	R3	未就園児及びその保護者を対象に、遊びの場(教室の名称:ぼかぼか広場)を開始する。実施は週1回、季節の行事やリズム遊び、食育等のプログラムを設定する。母子保健コーディネーター(助産師)及び子育て支援コーディネーター(保育士)が従事し、保護者が子育てについて相談しやすい環境を整える。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮して中止した回もあったが、概ね予定通り実施した。 ●開催回数27回 参加者数(延)164人	【目標】 遊びの場を設けることで保護者が子育てについて相談しやすい環境を構築し、子育て期の支援を強化する。 【目標数値】 開催回数40回	健康福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—						B	【担当課意見】 新型コロナウイルス感染症の感染防止目的で中止した回があったため目標とする開催回数を下回った。しかし、個別で親子に来所してもらい、遊びの場の提供と子育ての相談に応じた。 【今後の見直し】 本事業の更なる周知を図り参加を促すとともに、誰もが相談しやすい環境を整える。
	R4	未就園児及びその保護者を対象に、遊びの場(教室の名称:ぼかぼか広場)を開始する。実施は週1回、季節の行事やリズム遊び、食育等のプログラムを設定する。母子保健コーディネーター(助産師)及び子育て支援コーディネーター(保育士)が従事し、保護者が子育てについて相談しやすい環境を整える。	週1回、保健センターで実施した。本事業を周知するため、母子健康手帳の交付時及びあちあち訪問でチラシを配付した。 ●開催回数44回 参加者数(延)379人	【目標】 遊びの場を設けることで保護者が子育てについて相談しやすい環境を構築し、子育て期の支援を強化する。 【目標数値】 開催回数40回	健康福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	—							A
11 保育士応援給付金事業	R4	本市における保育士等の確保と定着を目的として、市内の私立の認定こども園において、新たに雇用された常勤の保育教諭に対して、毎年10万円(転入者は初年度10万円追加)を最大3年間支給する。 【雇用期間】 令和4年4月1日～令和7年3月31日 【支給対象期間】 令和4年4月1日～令和10年3月31日	市内の私立認定こども園に新規採用された保育教諭3名に対して給付金を支給した。うち1名は市外からの転入者のため、移転費用10万円を支給した。	【目的】 保育士等の確保と定着 【目標数値】 なし	社会福祉課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	育てる"ちから"づくりの推進	400,000				400,000	—	【担当課意見】 保護者の保育ニーズに適切に対応し、安心して子育てができる環境の充実につながっている。 【今後の見直し】 引き続き取組を継続して実施する。
12 幼保小連携教育推進事業	R4	関係機関が連携し、子どもの発達や学びの連続性を確保するとともに、乳幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を図ること、小学校に入学する子どもがこども園等での遊びや生活を遺した学びと育ちを基礎とし、主体的に自己を発達し、個性や能力を伸ばすことができるようにする。	・組織体制を新たに構築することで、見直しを持った計画的な研修を実施することができた。また、年間3回実施した研修会では、保育・授業参観を行ったことで、お互いの教員が子供たちの姿を通して研修を行うことができた。 ・年間3回実施した協議会においては、園所・小学校等の所長にも参加していただいたため、今後の目指す方向性を共有することができた。	【目標】 竹原市幼保小連携協議会を立ち上げ、協議会を年間3回実施し、連携教育の充実に向けた組織体制を構築する。 【目標数値】 ・認定こども園等と小学校等との保育・授業参観や理論研修を年間3回実施し、子供たちに育みたい資質・能力を共有する。	総務学事課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	育てる"ちから"づくりの推進	296,498				296,498		【担当課意見】 協議会、研修会の計6回の会を設定し、計画的な実施が実現できた。 【今後の見直し】 来年度は、地区ごとの協議を行うなど、実施方法や研修内容を工夫することで、より子供たちの実態に即した研修となるよう改善を図ってきたい。 また、小学校等においては、4・5月段階のアプローチカリキュラムの有効性を明確にし、指導方法の充実を図るためにも、早い時期での研修を計画してきたい。 こども園においては、3学期の年長児の保育を公開し、架け橋期における環境構成や指導について、相互に理解が深まるようにしていきたい。

基本目標別達成状況総括表

基本目標3	
数値目標	
○平均自立期間(要介護2以上を不健康な状態とみなした場合)※1	
男性	79.5歳(R1)→ <u>79.7歳(R4)</u> →79.8歳(R6)
女性	84.0歳(R1)→ <u>84.5歳(R4)</u> →84.2歳(R6)
○市の女性人口に対する給与収入のある女性人数の割合	41%(H30)→ <u>43.2%(R4)</u> →46%(R6)
○市の65歳以上人口に対する給与収入のある65歳以上人数の割合	25%(H30)→ <u>24.4%(R4)</u> →25%(R6)
○地域交流センターの利用人数	125,775人(H30)→ <u>78,724人(R4)</u> →140,000人(R6)
○観光消費額	2,847百万円(H30)→ <u>2,728百万円(R4)</u> →3,060百万円(R6)
※1 平均自立期間とは、「日常生活動作が自立している平均」を指標とした健康寿命を算出したもので国保データベースシステムにおいて毎年算出する。	

地域力の強化							
○①健康まちづくりの推進							
(KPI)	H30	R2末	R3末	R4末	R6	評価(KPIの達成度, 今後の対策など)	
1	平均自立期間(要介護2以上)男性	79.5歳 (R1実績)	79.8歳	79.8歳	79.7歳	79.8歳	<p>R2末</p> <p>○令和2年度は、男女ともに数値が向上している。 ○平成30年度から短期集中予防サービス(通所型・直営)及び介護予防ケアマネジメントを実施し、要介護(要支援)状態の軽減・悪化防止に取り組んでいる。また、地域においては介護予防教室を実施し、またその後も継続して介護予防の取組ができる「通いの場」の増設支援や専門職による継続支援も行っている。 ○令和2年度は新たに4か所の通いの場ができ、高齢者人口の7.9%が参加している。特定健診、がん検診、歯周疾患検診等への受診勧奨を行い、疾病の早期発見、早期治療に取り組んでいる。また、健康・栄養・歯科相談や、健康教育(生活習慣病予防講座等)や、ふくし健康まつりなどのイベントによる啓発などにより健康づくりに取り組んでいる。 ○これらの取組により、平均自立期間は平成30年度比で男女とも伸びており、今後も引き続き取組を継続する。</p>
2	平均自立期間(要介護2以上)女性	84.0歳 (R1実績)	85.0歳	85.1歳	84.5歳	84.2歳	<p>R3末</p> <p>○令和3年度は、男女ともに数値が向上した。 ○平成30年度から短期集中予防サービス(通所型・直営)及び介護予防ケアマネジメントを実施し、要介護(要支援)状態の軽減・悪化防止に取り組んでいる。また、地域においては介護予防教室を実施し、またその後も継続して介護予防の取組ができる「通いの場」の増設支援や専門職による継続支援も行っている。 ○令和3年度は新たに7か所の自主グループができ、令和3年度末で高齢者人口の8.6%が参加している。特定健診、がん検診、歯周疾患検診等への受診勧奨を行い、疾病の早期発見、早期治療に取り組んでいる。また、健康・栄養・歯科相談や、健康教育(生活習慣病予防講座等)や、ふくし健康まつりなどのイベントによる啓発などにより健康づくりに取り組んでいる。 ○これらの取組により、平均自立期間は平成31年度比で男女とも上昇しており、引き続き取組を継続する。</p> <p>R4末</p> <p>○令和4年度は、女性の数値が下降した。 ○長引く新型コロナウイルス感染症の流行により、人流の減少や社会活動の減少により、高齢者のフレイルが加速していることが予測され、その影響により平均自立期間の下降につながったと考えられる。 ○平成30年度から短期集中予防サービス(通所型・直営)及び介護予防ケアマネジメントを実施し、要介護(要支援)状態の軽減・悪化防止に取り組んでいる。また、地域においては介護予防教室を実施し、またその後も継続して介護予防の取組ができる「通いの場」の増設支援や専門職による継続支援も行っている。 ○令和4年度は新たに5か所の自主グループができ、令和4年度末で高齢者人口の8.8%が参加している。特定健診、がん検診、歯周疾患検診等への受診勧奨を行い、疾病の早期発見、早期治療に取り組んでいる。また、健康・栄養・歯科相談や、健康教育(生活習慣病予防講座等)や、ふくし健康まつりなどのイベントによる啓発などにより健康づくりに取り組んでいる。 ○感染症流行で自立期間の数値が下降したが、徐々に社会活動が戻ってきているため、これらの取組を引き続き継続する。</p>
○②多様な人材の活躍促進							
(KPI)	H30	R2末	R3末	R4末	R6	評価(KPIの達成度, 今後の対策など)	
1	市の女性人口に対する給与収入のある女性人数の割合	41.0%	43.5%	41.5%	43.2%	46.0%	<p>R2末</p> <p>○令和2年度は、割合が増加傾向にある。 ○令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため各セミナーなどの周知イベントが開催出来なかったが、令和3年度には市内企業を対象にした「働き方改革・働く女性応援セミナー」を開催するなど、今後も引き続き第2次だけはら21男女共同参画プランに基づいた取組を推進する。</p> <p>R3末</p> <p>○令和3年度は、前年度と比較し、割合が減少(43.5%→41.5%)している。 ○令和3年度も前年度と同様に新型コロナウイルス感染拡大防止のため各セミナーなどの周知イベントが開催出来なかった。令和4年度には市内企業や自治会等を対象に「女性」をテーマにしたセミナーを開催するなど、令和4年4月からスタートした第3次だけはら21男女共同参画プランに基づいた取組を推進する。</p> <p>R4末</p> <p>○令和4年度は、前年度と比較し、割合が増加(41.5%→43.2%)している。 ○令和4年4月からスタートした第3次だけはら21男女共同参画プランに基づき、意識啓発事業を中心に行った。その中で企業へのアンケート送付時に、働き方改革関連のチラシ(県主催の働き方改革セミナー・育休介護休業法開催・女性の活躍・両立支援総合サイト)を同封し、啓発を行った。 ○令和5年度は市内企業や自治会等を対象に「女性」をテーマにしたセミナーを開催し、第3次だけはら21男女共同参画プランに基づいた取組を推進する。</p>
2	市の65歳以上人口に対する給与収入のある65歳以上人数の割合	25.0%	24.2%	23.9%	24.4%	25.0%	<p>R2末</p> <p>○令和2年度は、高齢化率が上昇し、65歳以上で働く世代が増加していることなどから、数値は増加傾向にある。 ○引き続き、高齢者が健康で働くことができるよう、健康対策の取組を推進するとともに、高齢者が活躍できる雇用・活動の場を創出するための取組を行う。</p> <p>R3末</p> <p>○令和3年度は、前年度と比較し、割合が減少(24.28%→23.9%)している。 ○令和3年5月に地域の関係機関と「竹原市生涯現役促進地域連携協議会」を設立し、高齢者の雇用・就業促進に向けた地域の取組を支援する厚生労働省の「生涯現役促進地域連携事業」を受託した。 ○引き続き、高齢者が健康で働くことができるよう、健康対策の取組を推進するとともに、高齢者が活躍できる雇用・活動の場を創出するための取組を行う。</p> <p>R4末</p> <p>○令和4年度は、前年度と比較し、割合が増加(23.9%→24.4%)している。 ○令和3年5月に地域の関係機関と「竹原市生涯現役促進地域連携協議会」を設立し、高齢者の雇用・就業促進に向けた地域の取組を支援する厚生労働省の「生涯現役促進地域連携事業」を受託した。 ○相談窓口「AAサポ」を開設し、現在、高齢者と事業者のニーズのマッチングはもとより、高齢者の雇用・就業や生涯現役に関する普及啓発、高齢者の人材育成及び就業機会の創出を図り、高齢者の就業を推進している。引き続き、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに資するため、高齢者労働能力活用事業補助金を交付するとともに、各種業務発注を行うなど、活動支援を行う必要がある。</p>

数値目標に対する総合評価

平均自立期間(要介護2以上)
 ○前年度と比較し、男性(79.7歳)、女性(84.5歳)と女性の数値が下降した。
 ○令和4年度は、男性79.7歳で、前年度と比べて0.1%減少し、女性84.5歳で、前年度と比べて0.6%減少しました。この指標の見方として、要介護2以上になる年齢が何歳かということであり、到達年齢が遅いほど健康であると言えます。

市の女性人口に対する給与収入のある女性人数の割合
 ○前年度(41.5%)と比較し、増加している。
 ○女性人口は、令和3年6月(12,661人)から令和4年6月(12,431人)で230人減少し、新型コロナウイルス感染症の影響が和らいできたこともあり、働く場の数が回復したことが要因として考えられる。

市の65歳以上人口に対する給与収入のある65歳以上人数の割合
 ○前年度(23.96%)と比較し、増加している。
 ○65歳以上人口は、令和3年6月(10,147人)から令和4年6月(10,052人)で横ばいで、新型コロナウイルス感染症の影響が和らいできたこともあり、働く場の数が増加したことが要因として考えられる。

地域交流センターの利用人数
 ○前年度と異なり、緊急事態宣言等によるイベントの中止が無かったため、前年度(55,111人)と比較して利用人数は大幅に増加したと考えられる。

観光消費額
 ○新型コロナウイルス感染症の影響が和らぎ、イベントの再開により、前年度(2,159百万)の観光消費額と比較して増加となったと考えられます。

③地域を支え活躍する人材の育成・環境づくり							評価(KPIの達成度、今後の対策など)	
(KPI)	H30	R2末	R3末	R4末	R6			
1 コミュニティスクール制度を導入し、かつ、地域学校協働本部やコミュニティスクールなどの仕組みを活かして、保護者や地域の人との協働による活動を行ったと答えた学校割合		41.0%	—	69.4%	100%	46.0%	<p>R2末</p> <p>○令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県の質問紙調査は中止となり、成果指標の算出ができなかった。 ○しかしながら、先進的に学校運営協議会を設置した4校(3学校運営協議会)においても、子供たちの豊かな成長をめざす視点で協議いただき、地域の意見を学校運営に反映させている。また、子供たちの学習にも積極的に関わっていただき、地域の方々との協働による学習内容の充実にも寄与している。 ○令和3年度には調査が実施されることから、その結果を注視するとともに、今後も引き続きコミュニティ・スクールを活用し、地域活動への積極的な参加を促し、地域と関わる機会の創出を行う。</p> <p>R3末</p> <p>○令和3年度、市内全ての学校に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールをスタートさせた。そのため、数値は上昇した。しかしながら、小学校は88.8%と高い数値であるが、中学校(義務教育学校を含む)も特色ある活動を推進しているものの、50%であった。コロナ禍の状況で、地域での活動の機会が減少していることも要因の一つと考える。 ○引き続き、各校特色ある地域とともにある学校づくりの推進のもと、学校運営協議会を核とした、地域との協働的な活動を計画、実施できるよう促していく。</p> <p>R4末</p> <p>○市内全ての学校に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールを推進しているため、すべての学校で100%となった。前年度と比較して、大きく肯定的評価を伸ばしたのは、コミュニティ・スクールとしての学校経営が軌道に乗ったのだと考える。引き続き、学校運営協議会を核とした、特色ある取組を地域とともに協働的に計画、実施できるよう促していく。</p>	
	基礎学力が定着している児童生徒の割合							
	2 広島県平均比較	小学校国語	0	—	1.0	4.0	3.0	<p>R2末</p> <p>○令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全国学力学習状況調査は中止となり、成果指標の算出ができなかった。 ○これまで各校の通過率を分析したり、県平均に達しない領域等を洗い出したりすることで、個や集団のつまづきを明確にし、教科等での指導や家庭学習等で学力補充を行っていた。また、4月から臨時休業になったため、当該年度に実施する予定の教育課程を年度内に終了することができるよう夏季休業日を課業日に変更し、学習の遅れの取り戻しを図り、文部科学省より配付された全国学力学習状況調査シートを活用し、各校の実態に合わせ、個々の基礎学力の確実な定着を目指し、取組を推進した。 ○令和3年度には調査が実施されることより、各校において、児童生徒の実態を把握し、課題を分析するとともに、市主催の研修や学校訪問を通じて、授業改善を図る。</p> <p>R3末</p> <p>○小学校の国語では、県平均を上回ったものの、小学校算数及び中学校国語、数学は県平均を下回った。特に中学校ではその差が大きい。取組の効果が児童生徒の学力向上につながっていないと考えられる。各校では結果を分析し、課題を克服するための具体策を「改善計画」にまとめ、取組を行った。また、県平均より2ポイント以上下回った学校については、指導主事が訪問し、授業改善や進捗の確認を行った。 ○今後、各学校において、改善計画に基づいた具体的な取組とともに、学校全体で基礎基本を定着させる取組を継続していく。(ドリルタイムなど)また、一人1台端末を効果的に活用するなど、個別最適な学びにつながる方策も構築していく必要がある。さらに、指定校の研究成果を市内の学校に還元する場を設定することで、指導方法や単元づくり等の改善が図られるようにしていく。</p> <p>R4末</p> <p>○小学校では、国語及び算数において、県平均を大きく上回った。昨年度の改善計画には、該当学年だけではなく、学校としての課題も明確にし、組織的に取り組んだ成果が要因の一つと考えられる。引き続き、具体策を「改善計画」にまとめ、取組を行った。また、県平均より2ポイント以上下回った学校については、指導主事が訪問し、授業改善や進捗の確認を行った。授業改善や組織的な取組を充実させるとともに、進捗状況の確認を行い、校長ヒアリングにおいて校長と共有を図った。 ○中学校では、国語及び数学において、県平均を大きく上回った。昨年度の改善計画には、該当学年だけではなく、学校としての課題も明確にし、教科をこえて組織的に取り組んだ成果が要因の一つと考えられる。引き続き、具体策を「改善計画」にまとめ、取組を行った。また、県平均より2ポイント以上下回った学校については、指導主事が訪問し、授業改善や進捗の確認を行った。授業改善や組織的な取組を充実させるとともに、進捗状況の確認を行い、校長ヒアリングにおいて校長と共有を図った。</p>
		小学校算数	▲0.5	—	▲1.0	3.0	2.0	
中学校国語		▲3.0	—	▲4.0	3.0	1.0		
中学校数学		▲4.5	—	▲2.0	5.0	0.5		
	中学校英語	—	—	—	—	2.0		
3 再掲	「地域や子供会などの行事に参加している」と答えた児童生徒の割合【県調査】	73.9% (R1)	—	67.5%	62.6%	79.0%	<p>R2末</p> <p>○令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県の質問紙調査は中止となり、成果指標の算出ができなかった。コロナ禍の状況の中で、多くの地域の行事や子供会活動が中止となったことで、地域と関わる機会が減少し、「地域や子供会などの行事に参加している」と答えた児童生徒の割合」及び、「自分の住んでいる地域が好き」と答えた児童生徒の割合」が減少していることが懸念される。 ○令和3年度には調査が実施されることから、その結果を注視するとともに、引き続きコミュニティ・スクールを活用し、地域活動への積極的な参加を促し、地域と関わる機会の創出を行う。</p> <p>R3末</p> <p>○コロナ禍の状況の中で、多くの地域の行事や子供会活動が中止となったことで、地域と関わる機会が減少していると考えられる。しかし、県の平均値が45.8%であることから、本市においては、地域や子供会などの行事に積極的に参加している状況であると捉えることができる。 ○今後はコロナ禍による自主規制等の緩和により、地域の行事や活動が実施されることに伴い、積極的な参加を促し、地域と関わる機会の創出を行う。</p> <p>R4末</p> <p>○昨年度に続き、コロナ禍の状況の中で、自粛により多くの地域の行事や子供会活動が中止となった。県の平均値が43.5%であり、本市においては、他市町と比較し、地域や子供会などの行事に積極的に参加している状況である。 ○今後はコロナ禍による規制の緩和により、各地域における行事や子供会活動が通常通り実施されることが期待でき、地域との関わりをもつ機会が増加する可能性が高い。</p>	
		86.3% (R1)	—	90.8%	90%	89.0%	<p>R2末</p> <p>○令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県の質問紙調査は中止となり、成果指標の算出ができなかった。コロナ禍の状況の中で、多くの地域の行事や子供会活動が中止となったことで、地域と関わる機会が減少し、「地域や子供会などの行事に参加している」と答えた児童生徒の割合」及び、「自分の住んでいる地域が好き」と答えた児童生徒の割合」が減少していることが懸念される。 ○令和3年度には調査が実施されることから、その結果を注視するとともに、引き続きコミュニティ・スクールを活用し、地域活動への積極的な参加を促し、地域と関わる機会の創出を行う。</p> <p>R3末</p> <p>○前回調査時よりも数値は向上している。また、県の平均値85.2%であることから、本市における児童生徒の地域へ愛着度は高い。各学校における地域を題材とした教育内容の創造及び実践を通して、児童生徒の地域への愛着を生み出していると考えられる。 ○引き続きコミュニティ・スクールを通して、地域とともにある学校づくりを推進し、地域の子供たちを地域で育てていく風土を醸成していきたい。</p> <p>R4末</p> <p>○昨年度に引き続き、目標値を達成している。また、県の平均値が88.7%であることから、本市における児童生徒の地域へ愛着度は依然高い。各学校においてコミュニティ・スクールを核とし、地域の教育資源を十分活用した教育内容の創造及び実践を通して、児童生徒の地域への愛着を生み出している。 ○引き続きコミュニティ・スクールを通して、地域とともにある学校づくりを推進するとともに、地域の行事等への積極的な参加を促すことにより、次代の地域を担う人材として育成していきたい。</p>	
		125,775人	54,008人	55,111人	78,724人	140,000人	<p>R2末</p> <p>○令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年間を通じて各地域交流センターにおける行事等の中止が発生し、利用人数の大幅減少となった。 ○令和3年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が見込まれるが、新しい生活様式に対応した地域活動の促進のため、地域交流センターへのWi-Fi環境の整備をするなどの取組を図る。</p> <p>R3末</p> <p>○令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年間を通じて各地域交流センターにおける行事等の中止が発生し、利用できない期間も何度かあったため、令和2年度に続き、利用人数が大幅に減少した。 ○引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響が見込まれるが、新しい生活様式に対応した地域活動の促進のため、地域交流センターでWi-Fi環境を整備した。デジタル化への取り組みも促進していく。</p> <p>R4末</p> <p>○令和4年度については、コロナウイルス感染拡大があったものの、緊急事態宣言等による行事中止が無く、感染拡大に配慮しつつ利用が拡大し、利用人数の増加となった。 ○デジタル化の取組の促進により、オンラインミーティングの利用の促進が図られた。 ○今までのコロナウイルスへの対策を踏まえつつ現状に即した対策を行い、利用促進を図る。 ○デジタル機器に対する習熟度を上げ、利用住民のデジタル機器トラブルの簡単な相談に応じられるようにし、地域全体のデジタル機器の利用を促進させる。</p>	

6	地域人材養成講座 受講者数【累計】	-	25人	33人	39人	50人	R2末	○令和2年度は、地域の活動を担う人材を育成するため、生涯学習に関する研修会に地域交流センター職員が参加し、受講者は25人となった。 ○令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域住民との意見交換等が困難な状況であるが、県モデル事業(学びからはじまる地域づくりプロジェクト)の採択を受け、「コミュニティスクールに社会教育がどのように関わっていくか」をテーマに、学校、地域が連携して、学校活動や地域づくりに地域住民が主体的・協働的に関わる事業モデルの検討を行う。
							R3末	○令和3年度も令和2年度に引き続いて、地域の活動を担う人材を育成するため、県が主催する生涯学習に関する研修会に地域交流センター職員の参加を促し、受講者は累計で33人となった。 ○引き続き、県モデル事業(学びからはじまる地域づくりプロジェクト)を活用し、地域と学校が連携した取組ができるようなモデルの構築を目指すなかで、コーディネーターの育成を図る。
							R4末	○令和4年度も令和3年度に引き続いて、地域の活動を担う人材を育成するため、県が主催する生涯学習に関する研修会に地域交流センター職員の参加を促し、受講者は累計で39人となった。 ○県のモデル事業(学びからはじまる地域づくりプロジェクト)は令和4年度で終了、育てたい子供像に向かって学校、地域が協働的な視点で既存の行事の充実等で対応していく中で、コーディネーターの育成を図る。

④企業等との連携強化

(KPI)	H30	R2末	R3末	R4末	R6	評価(KPIの達成度, 今後の対策など)		
1	連携事業数	40件	63件	79件	79件	66件	R2末	○令和元年度には広島ドラゴンフライズ及び生協ひろしまと包括連携協定をそれぞれ締結した。令和2年度には広島広域都市圏の事業数が増加したことに加え、竹原市・三原市・尾道市・西日本旅客鉄道株式会社広島支社と関係人口創出に関する協定、三原農業協同組合と地域見守り活動に関する協定、日本郵便株式会社竹原市内郵便局と包括連携協定をそれぞれ締結した。 ○今後も引き続き、本市の抱える課題解決に対する取組を推進するため、各種事業体との連携を積極的に進める。
							R3末	○令和元年度は広島ドラゴンフライズ及び生協ひろしまと包括連携協定をそれぞれ締結した。令和2年度は広島広域都市圏の事業数が増加したことに加え、竹原市・三原市・尾道市・西日本旅客鉄道株式会社広島支社と関係人口創出に関する協定、三原農業協同組合と地域見守り活動に関する協定、日本郵便株式会社竹原市内郵便局と包括連携協定をそれぞれ締結した。令和3年度は大塚製薬(株)、明治安田生命保険相互会社の各企業及び県立広島大学と包括連携協定をそれぞれ締結した。 ○引き続き、本市の抱える課題解決に対する取組を推進するため、各種事業体との連携を積極的に進める。
							R4末	○令和元年度は広島ドラゴンフライズ及び生協ひろしまと包括連携協定をそれぞれ締結した。令和2年度は広島広域都市圏の事業数が増加したことに加え、竹原市・三原市・尾道市・西日本旅客鉄道株式会社広島支社と関係人口創出に関する協定、三原農業協同組合と地域見守り活動に関する協定、日本郵便株式会社竹原市内郵便局と包括連携協定をそれぞれ締結した。令和3年度は大塚製薬(株)、明治安田生命保険相互会社の各企業及び県立広島大学と包括連携協定をそれぞれ締結した。 ○これらを踏まえ、本市の抱える課題解決に対する取組を推進するため、大学や民間企業が持つ資源・ノウハウを活用しながら各種事業体との連携を積極的に進めていく。

○⑤関係人口の創出・拡大

(KPI)	H30	R2末	R3末	R4末	R6	評価(KPIの達成度, 今後の対策など)		
1	ふるさと納税件数	2,750件	4,128件	5,271件	4,523件	4,200件	R2末	○他自治体との競争環境激化や寄附者の利便性向上が求められている中で令和2年度は、2つの掲載ポータルサイト(楽天ふるさと納税・ふるらぶ せとうち)の追加、宿泊施設を中心とした返礼品の拡充やサイト内での広告を行い、間口拡大による新規寄附者の獲得とふるさと納税を通じた本市のイメージアップを図ったことで、件数は増加している。 ○今後も引き続き掲載ポータルサイトの増加や本市の寄附金単価が同規模の他市と比較して少額な状況を鑑み、魅力のある高額な返礼品の追加等によるさらなる寄附金額の増加やPRを進める。
							R3末	○他自治体との競争環境激化や寄附者の利便性向上が求められている中で、令和3年度は掲載ポータルサイトの追加、返礼品の拡充やサイト内での広告を行い、間口拡大による新規寄附者の獲得とふるさと納税を通じた本市のイメージアップを図ったことで、件数は増加している。 ○引き続き掲載ポータルサイトの増加や魅力のある返礼品の開発・追加等により、さらなる寄附金額の増加やPRを進める。
							R4末	○他自治体との競争環境激化や寄附者の利便性向上が求められている中で、令和4年度は納税額の更なる増加を図るため、寄附者情報の管理、配送作業の管理及び商品開発等の業務を民間事業者へ委託した。これによりポータルサイト内の情報更新や配送、支払い方法の変更など準備期間を要したことから、露出期間が減り、納税件数は前年から減少したものの、次年度以降の増加に期待ができる。 ○引き続き掲載ポータルサイトの充実や魅力のある返礼品の開発・追加、広告等により、さらなる寄附金額の増加やPRを進める。
2	たけはらファンクラブ会員数	-	864人	990人	1,243人	200人	R2末	○令和2年8月に、本市を応援していただく人達で組織する「たけはらファンクラブ」を創設したところ、令和3年3月31日時点で、竹原市ゆかりの著名人を始めとする個人会員が864名、法人会員が25社となっており、目標数値を達成している。 ○現在会員の方にはSNSで情報提供を行っているが、今後は会員と地域住民との交流会を実施するなど、さらに、本市との関係性が深まる取組を進めていき、より多くの「たけはらファン」の獲得を目指す。
							R3末	○令和2年8月に、本市を応援していただく人達で組織する「たけはらファンクラブ」を創設したところ、令和4年3月31日時点で、竹原市ゆかりの著名人を始めとする個人会員が990名、法人会員が26社となっており、目標数値を達成している。 ○現在会員の方にはSNSで地域の魅力やイベント情報など竹原市にまつわる様々な情報を発信を行っている。また、会員と地域住民との交流会など本市との関係性が深まる取組を進めていき、より多くの「たけはらファン」の獲得を目指す。
							R4末	○令和2年8月に、本市を応援していただく人達で組織する「たけはらファンクラブ」を創設したところ、令和5年3月31日時点で、竹原市ゆかりの著名人を始めとする個人会員が1,243名、法人会員が28社となっており、目標数値を達成している。 ○現在会員の方にはSNSで地域の魅力やイベント情報など竹原市にまつわる様々な情報を発信を行っている。また、会員と地域住民との交流イベントを8月と10月に実施した。 ○これらを踏まえ、引き続き、情報発信や会員と地域住民との交流会など本市との関係性が深まる取組を進めていき、「たけはらファン」の獲得を目指す。

まちの魅力向上

①歴史・文化を活かしたまちづくりの推進

(KPI)		H30	R2末	R3末	R4末	R6	評価(KPIの達成度、今後の対策など)	
1	文化4施設(旧森川家住宅・旧松坂家住宅・旧光本家住宅・歴史民俗資料館)入館者数	41,000人	10,661人	12,000人	25,000人	64,000人	R2末	○文化4施設入館者数については、令和元年度までは上昇傾向にあったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う緊急事態宣言の発出や、全国的な旅行・外出の自粛に伴い、大幅に減少した。(令和元年度:44,551人⇒令和2年度10,661人) ○各施設では消毒の徹底等の新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っており、また令和2年度には来訪者向けのアンケート調査を実施し、文化施設の利用者傾向等の分析を実施した。 ○今後は分析結果をもとに、施設の展示や利用方法等に見直しを実施し、入館者数の増加を図る。
							R3末	○文化4施設入館者数については、令和3年度は、令和2年度と同様に、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言の発出や、全国的な旅行・外出の自粛に伴い、大幅に減少したままとなった。(令和元年度:45千人⇒令和2年度11千人) ○各施設では体温表示システムを導入するなど新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら、公開を行った。また、市有の歴史的建造物について、民間事業者による社会実験の事業者を募集し、決定した。 ○今後は、各施設で企画展示等を実施し、入館者数の増加を図る。また、市有の歴史的建造物について、民間事業者による社会実験を実施し、評価・分析を行う。
							R4末	○文化4施設入館者数については、令和4年度は、令和3年度よりも倍増したが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けており、コロナ前の入館者数の半数程度に留まった。(コロナ前の令和元年度:45千人) ○各施設ではキャッシュレス決済を導入するなど新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら、アート作品の展示等により公開を行った。また、市有の歴史的建造物について、民間事業者による社会実験を実施し、その事業内容等について評価・分析を行った。 ○今後も、各施設が魅力ある施設となるよう企画展示等を実施し、入館者数の増加を図る。また、市有の歴史的建造物については、社会実験等の成果を踏まえ、今後の歴史的建造物活用の実施方針の作成を行う。
2	市内小学校の文化4施設の社会科見学等による児童来館数	44人(H29)	135人	96人	156人	80人	R2末	○社会科見学等による児童来館数については、児童来館者数は大幅に増加した。 ○引き続き、市職員による施設の案内・説明等の取り組みを実施し、社会科見学等による利用促進を図るとともに、本市の歴史資産に対する誇りや愛着の醸成に努める。
							R3末	○社会科見学等による児童来館数については、新型コロナウイルス感染症の影響により前年度から減少したものの目標値を上回ることができた。 ○引き続き、市職員による施設の案内・説明等の取り組みを実施し、社会科見学等による利用促進を図るとともに、本市の歴史資産に対する誇りや愛着の醸成に努める。
							R4末	○社会科見学等による児童来館数については、新型コロナウイルス感染症の影響もなく前年度から増加し、目標値を上回ることができた。 ○引き続き、市職員による施設の案内・説明等の取り組みを実施し、社会科見学等による利用促進を図るとともに、文化財修理等を体験できるワークショップを開催し、本市の歴史資産に対する誇りや愛着の醸成を進める。
3	景観まちづくり団体数	0団体	0団体	0団体	0団体	2団体	R2末	○令和2年度は、認定団体数は0団体であった。 ○竹原市景観計画策定に向け、市民の景観に対する意識醸成を図るため勉強会開催(2回)や、勉強会の様子を取りまとめた景観づくり通信を4回発行している。また、市民から応募された景観写真199作品から、市民投票、勉強会、竹原市景観計画策定委員会などを通じて、竹原市景観17選を選定するなど、市民の景観に対する意識醸成に取り組んでいる。 ○引き続き、竹原市景観計画策定に伴う住民説明会の開催や景観ガイドライン作成などにより住民の景観意識醸成を図り、景観まちづくり団体の設立など、歴史・文化を活かしたまちづくりを推進していく。
							R3末	○令和3年度は、認定団体数は0団体であった。 ○令和4年2月に竹原市景観条例の制定(令和4年7月施行)、令和4年3月に景観計画の策定などを踏まえ、令和4年度から竹原市独自の景観施策の推進を図る。 ○景観条例施行に伴う、住民説明会の開催や景観ガイドライン作成などにより住民の景観意識醸成を図り、景観条例に基づく景観まちづくり団体の設立など、歴史・文化を活かしたまちづくりを推進していく。
							R4末	○令和4年度は、認定団体数は0団体であったが、認定が見込まれる新たな団体設立につながるような活動に対して支援している。 ○令和4年2月に竹原市景観条例の制定(令和4年7月施行)、令和4年3月に景観計画の策定などを踏まえ、令和4年度から竹原市独自の景観施策をスタートさせた。 ○令和4年度に景観形成補助金は2件の活用があったことを踏まえ、住民や事業者に対して補助金活用等について更なる周知を行い、景観意識醸成を図る。

②地域資源を活かした観光・交流の更なる推進

(KPI)		H30	R2末	R3末	R4末	R6	評価(KPIの達成度、今後の対策など)	
1	総観光客数(外国人観光客・市内への宿泊者数を含む)	904,000人	612,000人	564,000人	691,000人	1,325,000人	R2末	○令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から、目標値に対し大きく減少している。 ○コロナ禍ではあるが、新型コロナ対策を行ったうえで町並み保存地区内で謎解きイベントの実施や広告媒体を活用した情報発信を行った。 ○今後も引き続き、市内でのイベント実施及び国外向けの観光プロモーションを実施するなど、総観光客数の増加に向けて取り組む。
							R3末	○令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響から、目標値に対し大きく減少している。 ○コロナ禍ではあるが、少しずつ観光客数が回復しつつある。 ○引き続き、アフターコロナの観光客の動向を注視しながら国内・国外の観光客へのプロモーションを実施していく。
							R4末	○令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの目標値に向けて回復傾向である。 ○コロナに対する考え方も変わりつつあり、観光客数が回復している。 ○G7サミットや2025年の大阪万博等の開催により、国内及び国外の観光客が動き出すため、引き続き、観光プロモーションに注力していく。

個別事業シート

基本目標3 年齢や性別に関わらず多様な人々が元気なまちを竹原の魅力、個性を活かして交流を拡大する

施策の方向性 地域力の強化 ①健康なまちづくりの推進

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財		
1 介護予防支援事業	R2	高齢者の社会参加への意欲を具体的な活動に結びつけるうえでのきっかけづくりのため、高齢者による介護予防・健康増進に資する活動の実績に基づく支援を行い、高齢者の生きがいづくりを推進する。 ○はつらつ手帳(介護予防手帳)の出席スタンプが基準へ達した人への記念品贈呈等	はつらつ手帳(介護予防手帳・介護予防の自主グループ活動に参加している高齢者に交付している)の出席スタンプが120回となった高齢者に対して(週1回の体操参加を続けて約3年)、自主グループ参加者記念品としてかぐや姫商品券500円分を延べ57人に贈呈した。	【目標】 介護予防に取り組み高齢者を増やし、高齢者の社会参加を促進するとともに高齢者の介護予防及び生きがいづくりを推進する。 【目標数値】 高齢者人口に占める自主グループへの参加者の割合(第7期介護保険事業計画) R2 7% R5 9% R7 10%	健康福祉課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活力と優しさがあふれるまち	—	285,000	92,053	36,615	91,031	65,301	B	【担当課意見】 R2年度は新型コロナウイルス感染症による自粛等の影響もあり事業推進は難しかったが、感染対策を取りながらの活動継続について進めていった。 【今後の見通し】 引き続き高齢者の社会参加及び介護予防について推進していく。
	R3	高齢者の社会参加への意欲を具体的な活動に結びつけるうえでのきっかけづくりのため、高齢者による介護予防・健康増進に資する活動の実績に基づく支援を行い、高齢者の生きがいづくりを推進する。 ○はつらつ手帳(介護予防手帳)の出席スタンプが基準へ達した人への記念品贈呈等	はつらつ手帳(介護予防手帳・介護予防の自主グループ活動に参加している高齢者に交付している)の出席スタンプが120回となった高齢者に対して(週1回の体操参加を続けて約3年)、自主グループ参加者記念品としてかぐや姫商品券500円分を延べ69人に贈呈した。	【目標】 介護予防に取り組み高齢者を増やし、高齢者の社会参加を促進するとともに高齢者の介護予防及び生きがいづくりを推進する。 【目標数値】 高齢者人口に占める自主グループへの参加者の割合、自主グループの数(第8期介護保険事業計画) R3 8.0%, 45箇所 R4 8.5%, 49箇所 R5 9.0%, 53箇所 R7 10.0%, 61箇所	健康福祉課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活力と優しさがあふれるまち	—	34,500	9,315	4,313	16,559	4,313	A	【担当課意見】 R3年度は新型コロナウイルス感染症による自粛等の影響もあったが、感染対策を取りながらの活動継続について進めていき、年度内に新たな自主グループが7か所開設した。 【今後の見通し】 引き続き高齢者の社会参加及び介護予防について推進していく。
	R4	高齢者の社会参加への意欲を具体的な活動に結びつけるうえでのきっかけづくりのため、高齢者による介護予防・健康増進に資する活動の実績に基づく支援を行い、高齢者の生きがいづくりを推進する。 ○自主グループへの専門職支援 ○自主グループ全体の開催 ○はつらつ手帳(介護予防手帳)の出席スタンプが基準へ達した人への記念品贈呈等	在宅介護支援センターに委託して教室を開催し、自主グループの新規立ち上げと立て直し支援を行った。 リハビリ専門職、管理栄養士、歯科衛生士、保健師が出席し、健康増進への正しい知識の普及とモチベーションの維持を目指して支援を行った。 自主グループ参加者記念品を延べ117人に贈呈した。 自主グループ全体会は、市民155名が参加した。 【実績】 高齢者人口に占める自主グループへの参加者の割合、自主グループの数(第8期介護保険事業計画) R4 8.8%, 55箇所	【目標】 介護予防に取り組み高齢者を増やし、高齢者の社会参加を促進するとともに高齢者の介護予防及び生きがいづくりを推進する。 【目標数値】 高齢者人口に占める自主グループへの参加者の割合、自主グループの数(第8期介護保険事業計画) R3 8.0%, 45箇所 R4 8.5%, 49箇所 R5 9.0%, 53箇所 R7 10.0%, 61箇所	健康福祉課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活力と優しさがあふれるまち	—	5,761,830	1,152,366	720,228	3,889,236	0	A	【担当課意見】 R4年度は長引く新型コロナウイルスの影響で高齢者のフレイルが危惧されていたこともあり自主グループの活動が再開されはしめた。また、3年ぶりに全体会が開催された。今年度は新たな自主グループが5か所立ち上がった。 【今後の見通し】 引き続き高齢者の社会参加及び介護予防について推進していき、自主グループの継続支援を行っていく。
2 がん検診事業	R2	健康増進法に基づく健康診査事業(主にがん検診)を疾病の早期発見・治療の結びつけ、市民の健康増進を図るため実施する。 ○対象者:40歳以上(ただし、子宮頸がん検診については、20歳以上偶数年齢。乳がん検診は40歳以上偶数年齢) ○内容:胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん検診 ○検診の種類:集団検診は特定健診同時実施。医療機関検診は子宮頸がん検診・乳がん検診・大腸がん検診・胃内視鏡検診(R3から開始)を実施。	集団検診は11日間(土曜日含む)実施。医療機関検診は9ヶ月間実施。広報、個別受診勧奨・再勧奨、普及啓発を行った。要精密検査の受診勧奨を重点的に実施した。受診率R3実績→R1実績(差) 胃がん検診 5.2%→5.1%(-0.1%) 肺がん検診 6.8%→6.6%(-0.2%) 大腸がん検診 9.1%→7.4%(-1.7%) 子宮頸がん検診 20.6%→20.3%(-0.3%) 乳がん検診 21.0%→21.0%(0%)	【目標】 疾病の早期発見・早期治療に結びつけ、市民の健康増進を図る。 【目標数値】 胃がん健診 10.0% 肺がん健診 10.0% 大腸がん健診 10.0% 子宮頸がん健診 20.0% 乳がん健診 22.0%	健康福祉課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活力と優しさがあふれるまち	—	22,311,264	311,000	2,278,600	19,721,664	0	B	【担当課意見】 R2年度は、胃内視鏡検診の準備を行ったり、検診案内に受診可能な検診に○を付けた申込書を添付し、受診勧奨を行うなどした。 【今後の見通し】 胃がん検診については、胃内視鏡検診の開始により、受診率が上がる見込みである。また、引き続き受診勧奨等に取組む。
	R3	健康増進法に基づく健康診査事業(主にがん検診)を疾病の早期発見・治療の結びつけ、市民の健康増進を図るため実施する。 ○対象者:40歳以上(ただし、子宮頸がん検診については、20歳以上偶数年齢。乳がん検診は40歳以上偶数年齢) ○内容:胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん検診 ○検診の種類:集団検診は特定健診同時実施。医療機関検診は子宮頸がん検診・乳がん検診・大腸がん検診・胃内視鏡検診(R3から開始)を実施。	集団検診は11日間(土曜日含む)実施。医療機関検診は9ヶ月間実施。広報、個別受診勧奨・再勧奨、普及啓発を行った。要精密検査の受診勧奨を重点的に実施した。受診率R1実績→R2実績(差) 胃がん検診 5.1%→4.3%(-0.8%) 肺がん検診 6.8%→9.5%(2.9%) 大腸がん検診 7.4%→11.0%(3.6%) 子宮頸がん検診 20.3%→18.7%(-1.6%) 乳がん検診 21.0%→19.3%(-1.7%) (※R1対象者は40歳～69歳までであったが、R2から対象者が40歳～74歳に拡大された)	【目標】 疾病の早期発見・早期治療に結びつけ、市民の健康増進を図る。 【目標数値】 胃がん健診 10.0% 肺がん健診 10.0% 大腸がん健診 10.0% 子宮頸がん健診 20.0% 乳がん健診 22.0%	健康福祉課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活力と優しさがあふれるまち	—	25,368,483	307,000	2,223,300	22,838,183	0	B	【担当課意見】 R3年度は、胃内視鏡検診の実施を開始した。また、国保に移行した人に窓口での受診勧奨とハガキでの再勧奨を実施した。 【今後の見通し】 引き続き受診勧奨に取り組みとともに、検診体制の整備を進める。
	R4	健康増進法に基づく健康診査事業(主にがん検診)を疾病の早期発見・治療の結びつけ、市民の健康増進を図るため実施する。 ○対象者:40歳以上(ただし、子宮頸がん検診については、20歳以上偶数年齢。乳がん検診は40歳以上偶数年齢) ○内容:胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん検診 ○検診の種類:集団検診は特定健診同時実施。医療機関検診は子宮頸がん検診・乳がん検診・大腸がん検診・胃内視鏡検診(R3から開始)を実施。	集団検診は11日間(土曜日含む)実施。医療機関検診は9ヶ月間実施。広報、個別受診勧奨・再勧奨、普及啓発を行った。要精密検査の受診勧奨を重点的に実施した。受診率R2実績→R3実績(差) 胃がん検診 4.3%→5.0%(+0.7%) 肺がん検診 9.5%→6.5%(-3.0%) 大腸がん検診 11.0%→7.3%(-3.7%) 子宮頸がん検診 18.7%→18.3%(-0.4%) 乳がん検診 19.3%→17.8%(-1.5%) (※R1対象者は40歳～69歳までであったが、R2から対象者が40歳～74歳に拡大された)	【目標】 疾病の早期発見・早期治療に結びつけ、市民の健康増進を図る。 【目標数値】 胃がん健診 10.0% 肺がん健診 10.0% 大腸がん健診 10.0% 子宮頸がん健診 20.0% 乳がん健診 22.0%	健康福祉課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活力と優しさがあふれるまち	—	23,112,053	283,000	2,180,800	20,648,253	0	B	【担当課意見】 R4年度は、胃内視鏡検診の受診者を増やして実施した。また、国保に移行した人に窓口での受診勧奨とハガキでの再勧奨を実施した。 【今後の見通し】 引き続き受診勧奨に取り組みとともに、検診体制の整備を進める。

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当将来像・目標像	元氣プロジェクト		国	県	その他	一財		
3 健康対策普及事業	R2	国民健康保険被保険者について、特定健康診査、がん検診等を受診することで早期発見・治療に結びつけ、被保険者の健康増進を図るとともに、適正受診を啓発し医療費の適正化を推進する。	特定健康診査 がん検診等費用助成 特定健康診査に加えて、がん検診等の内容を 実施 訪問による指導 後発医薬品差額通知 医療費通知 など	【目標】 医療費の適正化 【目標数値】 なし	市民課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く 活力と優しさがあふれるまち 目標像5 誰もがお互いに尊重し、いつまでもはつら つと活躍している	—	38,460,415	38,460,415			—	【担当課意見】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の 影響を受けたが、事業を実施できた。 【今後の見通し】 今後も取組を継続・実施する。	
	R3	国民健康保険被保険者について、特定健康診査、がん検診等を受診することで早期発見・治療に結びつけ、被保険者の健康増進を図るとともに、適正受診を啓発し医療費の適正化を推進する。	特定健康診査 がん検診等費用助成 特定健康診査に加えて、がん検診等の内容を 実施 訪問による指導 後発医薬品差額通知 医療費通知 など	【目標】 医療費の適正化 【目標数値】 なし	市民課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く 活力と優しさがあふれるまち 目標像5 誰もがお互いに尊重し、いつまでもはつら つと活躍している	—	38,306,184	38,306,184			B	【担当課意見】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の 影響を受けたが、事業を実施できた。 また、落ち込んだ受診率を令和元年度並 みに回復することができた。 【今後の見通し】 今後も取組を継続・実施する。	
	R4	国民健康保険被保険者について、特定健康診査、がん検診等を受診することで早期発見・治療に結びつけ、被保険者の健康増進を図るとともに、適正受診を啓発し医療費の適正化を推進する。	特定健康診査 がん検診等費用助成 特定健康診査に加えて、がん検診等の内容を 実施 訪問による指導 後発医薬品差額通知 医療費通知 など	【目標】 医療費の適正化 【目標数値】 なし	市民課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く 活力と優しさがあふれるまち 目標像5 誰もがお互いに尊重し、いつまでもはつら つと活躍している	—	36,558,546	36,558,546			B	【担当課意見】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の 影響を受けたが、事業を実施できた。 また、受診率はR3年度から横ばいになる 見込である。 【今後の見通し】 今後も取組を継続・実施する。	
4 生活習慣病重症化予防事業	R2	国民健康保険被保険者の糖尿病罹患者のうち、治療内容から対象者を抽出し、6か月間の指導を行うなど、糖尿病性腎症の重症化を予防するための取組を行う。また、糖尿病の治療中断者などへ医療機関の受診勧奨を行う。	糖尿病性腎症重症化予防 新規指導 前年度終了者支援 治療中断者	【目標】 糖尿病による新規導入の人工透析患者の 減少 【目標数値】 なし	市民課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く 活力と優しさがあふれるまち 目標像5 誰もがお互いに尊重し、いつまでもはつら つと活躍している	—	4,187,700	4,187,000			A	【担当課意見】 H26年度の事業開始からのR1年度までの 指導終了者41人中の透析移行者は1 人であり、事業の効果がみられている。 【今後の見通し】 今後も取組を継続・実施する。	
	R3	国民健康保険被保険者の糖尿病罹患者のうち、治療内容から対象者を抽出し、6か月間の指導を行うなど、糖尿病性腎症の重症化を予防するための取組を行う。また、糖尿病の治療中断者などへ医療機関の受診勧奨を行う。	糖尿病性腎症重症化予防 新規指導 前年度終了者支援 治療中断者	【目標】 糖尿病による新規導入の人工透析患者の 減少 【目標数値】 なし	市民課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く 活力と優しさがあふれるまち 目標像5 誰もがお互いに尊重し、いつまでもはつら つと活躍している	—	3,597,000	3,597,000			A	【担当課意見】 H26年度の事業開始からのR2年度までの 指導終了者49人中の透析移行者は1人 であり、事業の効果がみられているといえる。 【今後の見通し】 今後も取組を継続・実施する。	
	R4	国民健康保険被保険者の糖尿病罹患者のうち、治療内容から対象者を抽出し、6か月間の指導を行うなど、糖尿病性腎症の重症化を予防するための取組を行う。また、糖尿病の治療中断者などへ医療機関の受診勧奨を行う。	糖尿病性腎症重症化予防 新規指導 前年度終了者支援 治療中断者	【目標】 糖尿病による新規導入の人工透析患者の 減少 【目標数値】 なし	市民課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く 活力と優しさがあふれるまち 目標像5 誰もがお互いに尊重し、いつまでもはつら つと活躍している	—	4,931,300	4,931,300			A	【担当課意見】 H26年度の事業開始からのR3年度までの 指導終了者53人中の透析移行者は1人 であり、事業の効果がみられているといえる。 【今後の見通し】 今後も取組を継続・実施する。	
5 被保護者健康管理事業	R3	被保護者の糖尿病罹患者のうち、治療内容から対象者を抽出し、3か月間の糖尿病性腎症予防プログラムを行うなど、重症化を予防するための取組を実施した。また、市が行う健康診査への受診勧奨を行った。	レセプトデータ化 ポテンシャル分析 糖尿病性腎症対象者リスト作成 予防プログラム実施 完了報告書作成	【目標】 糖尿病患者の重症化を予防し、人工透析 に至ることを抑制する 【目標数値】なし	社会福祉課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く 活力と優しさがあふれるまち 目標像5 誰もがお互いに尊重し、いつまでもはつら つと活躍している	—	3,696,000	2,772,000		924,000	B	【担当課意見】 対象者の病状等のやや改善がみられて いる 【今後の見通し】 今後も取組を継続・実施する。	
	R4	被保護者の糖尿病罹患者のうち、昨年度分析を行ったデータから対象者を抽出し、3か月間の糖尿病性腎症予防プログラムを行うなど、重症化を予防するための取組を実施した。また、市が行う健康診査への受診勧奨を行った。	予防プログラム実施 完了報告書作成	【目標】 糖尿病患者の重症化を予防し、人工透析 に至ることを抑制する 【目標数値】なし	社会福祉課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く 活力と優しさがあふれるまち 目標像5 誰もがお互いに尊重し、いつまでもはつら つと活躍している	—	396,000	297,000		99,000	B	【担当課意見】 対象者の病状等のやや改善がみられて いる 【今後の見通し】 今後も取組を継続・実施する。	
6 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業	R4	高齢者が地域で健康的な生活を送れるよう、(健康寿命の延伸を目的として)広域連合からの委託に基づき、高齢者に対する個別の支援(ハイリスクアプローチ)及び通いの場等への積極的な関与等(ポピュレーションアプローチ)の事業を行う。	【ハイリスクアプローチ】 ・R3年度、通いの場で体力測定を受けた人のうち(BMI20以下)の人を抽出し、栄養士・保健師等が3か月を1クールとし月に1~2回の個別相談・指導等を実施。 【ポピュレーションアプローチ】 ○通いの場のうち口腔機能低下者の多い2か所を選定し、歯科衛生士等が健康教育を実施。 ○保健師・栄養士等が健康相談とフレイルチェック及び予防の普及啓発を実施。フレイルチェックには後期高齢者の質問票を使用し状況に応じて健診や医療の受診勧奨や介護サービスの利用勧奨を実施。	ハイリスクアプローチ 【目標】 支援 1名 【目標数値】 支援終了率 100% ポピュレーションアプローチ 【目標】 支援箇所 4箇所 【目標数値】 支援終了率 100%	市民課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く 活力と優しさがあふれるまち 目標像5 誰もがお互いに尊重し、いつまでもはつら つと活躍している	—	10,048,726		8,634,698	1,414,028	A	【担当課意見】 R4年度から事業を開始したが、当初計画した事業目標も達成し、事業の効果がみられている。 【今後の見通し】 関係課と連携し、課題を整理し、今後も引き続き目的をもって事業の取組を継続して実施する。	

個別事業シート

基本目標3 年齢や性別に関わらず多様な人々が元気なまちを竹原の魅力、個性を活かして交流を拡大する

施策の方向性 地域力の強化 ②多様な人材の活躍促進

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)	
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財			
1 障害者計画等策定事業	R2	障害者施策全般に係る理念や基本的な方針、目標を定めるための「竹原市障害者計画」、並びに障害福祉サービスの必要確保のための「第6期障害福祉計画」及び「第2期障害児福祉計画」を策定する。	障害者手帳所持者や市民へのアンケートやサービス提供者や団体などに調査を実施した。障害者施策や成果目標、障害福祉サービスの必要量などについて、計画策定委員会及び障害者自立支援協議会等で協議を行った。	【目的】 障害の有無にかかわらず、地域の中で認め支えあい、安心して暮らすことのできる『共生社会』の実現を目指し、計画を推進するため 【目標数値】 なし	健康福祉課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活力と優しさがあふれるまち 目標像5 誰もがお互いに尊重し、いつまでもはつらつと活躍している	—	5,263,059					5,263,059	A	【担当課意見】 アンケートの実施や各団体への調査・協議を行い、令和2年度に「第6期障害福祉計画」及び「第2期障害児福祉計画」を策定した。 【今後の見通し】 令和3年度から、計画に基づき施策を推進する。
2 地域生活支援体制整備事業	R2	障害者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、相談、体験の機械、緊急時の対応など、地域の事業者が機能を分担して面的な支援を行う体制の構築を図る。	5法人18事業所と緊急時の受入れ等対応に関する委託契約を締結した。2名の登録者、1件の受入実績があった。障害者自立支援協議会のワーキンググループで情報共有を行い、来年度以降の取組について協議した。	【目標】 障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能を整備し、障害者の生活を地域全体で支えるため 【目標数値】 なし	健康福祉課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活力と優しさがあふれるまち 目標像5 誰もがお互いに尊重し、いつまでもはつらつと活躍している	—	17,130	6,149	3,074			7,907	A	【担当課意見】 令和2年度には、市内事業所の緊急受入れ体制の整備を進めることが出来た。 【今後の見通し】 引き続き、緊急時の受入れが必要な障害者の登録を進めるとともに、体験の機会などの取り組みを進める。
	R3	障害者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、相談、体験の機械、緊急時の対応など、地域の事業者が機能を分担して面的な支援を行う体制の構築を図る。	5法人13事業所と緊急時の受入れ等対応に関する委託契約を締結している。障害者自立支援協議会のワーキンググループで、市内事業所の実施状況等の情報共有や事例検討を行った。令和3年度の運用状況と検証を行った。	【目標】 障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能を整備し、障害者の生活を地域全体で支えるため 【目標数値】 運用状況の検証及び検討回数 年1回	健康福祉課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活力と優しさがあふれるまち 目標像5 誰もがお互いに尊重し合い、いつまでもはつらつと活躍している	—	0					0	A	【担当課意見】 年度末に運用状況と検証を行うことが出来た。 【今後の見通し】 引き続き、緊急時の受入れが必要な障害者の登録を進めるとともに、体験の機会などの取組を進める。
	R4	障害者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、相談、体験の機械、緊急時の対応など、地域の事業者が機能を分担して面的な支援を行う体制の構築を図る。	5法人13事業所と緊急時の受入れ等対応に関する委託契約を締結している。障害者自立支援協議会のワーキンググループにおいて、支援機関と繋がっていない障害者への対応や感染症の場合の緊急時の受入・対応についての協議、グループホームの体験利用に繋がった事例の検討などを行った。令和4年度の運用状況と検証を行った。	【目標】 障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能を整備し、障害者の生活を地域全体で支えるため 【目標数値】 運用状況の検証及び検討回数 年1回	健康福祉課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活力と優しさがあふれるまち 目標像5 誰もがお互いに尊重し合い、いつまでもはつらつと活躍している	—	0					0	A	【担当課意見】 年度末に運用状況と検証を行うことが出来た。 【今後の見通し】 引き続き、緊急時の受入れが必要な障害者の登録を進めるとともに、体験の機会などの取組を進める。
3 精神障害者医療費事業	R3	精神障害者が自立した地域社会の一員として生活できる環境を整えるため、精神疾病や身体合併症の寛解状態が継続するよう、一般科を含む通院医療費の一部を負担する。	精神保健手帳1級所持者で自立支援医療受給者(精神通院医療)に対し、一般科を含む通院の一部負担金が200円/日(月4日)となるよう、医療費の助成を行った。対象者 4名 医療費助成 14,690円	【目標】 精神障害者が自立した地域社会の一員として生活できる環境を整えるため、精神疾病や身体合併症の寛解状態が継続するよう、一般科を含む通院医療費の一部を負担する。 【目標数値】	健康福祉課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活力と優しさがあふれるまち 目標像5 誰もがお互いに尊重し合い、いつまでもはつらつと活躍している	—	1,664,090		213,000			1,451,090	—	【担当課意見】 対象となる方に対し、申請助成を行い、助成を行った。 【今後の見通し】 精神障害者が自立した地域社会の一員として生活できる環境を整えるため、継続して実施する。
	R4	精神障害者が自立した地域社会の一員として生活できる環境を整えるため、精神疾病や身体合併症の寛解状態が継続するよう、一般科を含む通院医療費の一部を負担する。	精神保健手帳1級所持者で自立支援医療受給者(精神通院医療)に対し、一般科を含む通院の一部負担金が200円/日(月4日)となるよう、医療費の助成を行った。対象者 7名 医療費助成 277,053円	【目標】 精神障害者が自立した地域社会の一員として生活できる環境を整えるため、精神疾病や身体合併症の寛解状態が継続するよう、一般科を含む通院医療費の一部を負担する。 【目標数値】	健康福祉課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活力と優しさがあふれるまち 目標像5 誰もがお互いに尊重し合い、いつまでもはつらつと活躍している	—	284,080		138,000			146,080	—	【担当課意見】 対象となる方に対し、申請助成を行い、助成を行った。 【今後の見通し】 精神障害者が自立した地域社会の一員として生活できる環境を整えるため、継続して実施する。

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財		
4 たけはらときめき講座事業	R4	県立広島大学保健福祉学部手島博先生による「人とつながる・ちいきとつながる」をテーマとした連続2回講座を開催する。 開催と合わせて、文化生涯学習課関連行事や竹原市スポーツ協会、竹原市文化団体連盟の活動紹介、図書館、地域交流センターでの講座といった、学びの場について参加者へ情報提供し、生涯を通じて学び続けてもらうきっかけづくりを行う	○第1回:「活動入門編」(竹原市民館会議室) 令和4年9月25日(日)10時~12時 参加者14名 ○第2回:「やってみよう編」(竹原市民館会議室) 令和4年11月6日(日)10時~12時 参加者13名	【目標】 なし 【目標数値】 なし	文化生涯学習課	将来像2 “文教のまちたけはら”の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像3 市民一人一人が自ら学び、様々な場面で協力しながら活躍している	—	63,000				63,000	A	【担当課意見】 延べ23名の参加者は、人や地域とのつながり等について熱心に聴講され、皆様それぞれにご自身の経験や思いを積極的に話されていて、有意義な講座となった。 【今後の見通し】 大学教授等を講師とした講座を開催し、合わせて学びの場について参加者へ情報提供し、生涯を通じて学び続けるきっかけづくりを行う。

個別事業シート

基本目標3 年齢や性別に関わらず多様な人々が元気なまちを
竹原の魅力、個性を活かして交流を拡大する

施策の方向性 地域力の強化 ③地域を支え活躍する人材の育成・環境づくり

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財		
1 未来の人材育成促進事業(義務教育グループ化促進分)	R2	竹原市の次代を担う青少年が、外国語によるコミュニケーション能力を高めたり、異文化・自文化理解を深めたりすることで、世界とつながり、ふるさと「たけはら」を広く発信できる人材を育成する。	事業の柱となる「海外派遣研修」の実現に向け、募集を募り、決定者8名に対して事前研修会等を実施した。また、市教委主催の「1DAY国内留学」を実施することで、英語によるコミュニケーションの楽しさを味わわせ、今後の学習への意欲を高めることができた。	【目的】市内の生徒が、外国語によるコミュニケーション能力を高めたり、異文化・自文化理解を深めたりすることで、世界とつながり、ふるさと「たけはら」を広く発信できる人材を育成する。 【目標数値】なし	総務学事課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	育てる"ちから"づくりの推進	1,432,188			716,094	716,094	—	【担当課意見】新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、予定していた取組ができない状況もあったが、やり方や時期を工夫することで実施することができた。 【今後の見通し】昨年度の参加者の振り返り等を生かし、よりよい内容になるよう工夫改善を行う。また、オンライン交流の推進を充実させ、コロナ禍においても目的が達成できるようにする。
	R3	竹原市の次代を担う青少年が、外国語によるコミュニケーション能力を高めたり、異文化・自文化理解を深めたりすることで、世界とつながり、ふるさと「たけはら」を広く発信できる人材を育成する。	事業の柱となる「海外派遣研修」の実現が新型コロナウイルス感染症の拡大を受け中止となった。そのため、ハワイ州の中学校とのオンライン交流を行い、異文化に興味や関心を持たせることで、外国語教育の推進を図った。また、市教委主催の「1DAY国内留学」を児童生徒対象に実施することで、英語によるコミュニケーションの楽しさを味わわせ、今後の学習への意欲を高めることができた。	【目的】市内の生徒が、外国語によるコミュニケーション能力を高めたり、異文化・自文化理解を深めたりすることで、世界とつながり、ふるさと「たけはら」を広く発信できる人材を育成する。 【目標数値】なし	総務学事課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	育てる"ちから"づくりの推進	1,533,058			1,533,058	—	【担当課意見】新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、予定していた取組ができない状況もあったが、やり方や時期を工夫することで実施することができた。 【今後の見通し】昨年度の参加者の振り返り等を生かし、よりよい内容になるよう工夫改善を行う。また、海外派遣を実施することで市内児童生徒に還元を図り、目的が達成できるようにする。	
	R4	竹原市の次代を担う青少年が、外国語によるコミュニケーション能力を高めたり、異文化・自文化理解を深めたりすることで、世界とつながり、ふるさと「たけはら」を広く発信できる人材を育成する。	事業の柱となる「海外派遣研修」を実現することができた。令和2年度の派遣決定者とともに14名の生徒をハワイ州へ派船させ、現地でホノリウミッドルスクールと姉妹校締結を行い、日常的に交流ができるよう体制づくりを構築した。また、市教委主催の「1DAY国内留学」を児童生徒対象に実施することで、英語によるコミュニケーションの楽しさを味わわせ、今後の学習への意欲を高めることができた。	【目的】市内の生徒が、外国語によるコミュニケーション能力を高めたり、異文化・自文化理解を深めたりすることで、世界とつながり、ふるさと「たけはら」を広く発信できる人材を育成する。 【目標数値】なし	総務学事課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	育てる"ちから"づくりの推進	8,693,718			8,693,718	—	【担当課意見】新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑みながらも、渡航できたことは、本事業としての大きな一歩となった。 【今後の見通し】姉妹校締結を効果的に活用し、海外派遣研修での学びが学校全体や生徒一人一人のグローバル教育の推進に生かせるように取組を改善充実させていく。	
2 コミュニティ・スクール導入事業【再掲】	H31～R2	市内のすべての小中義務教育学校において、地域とともにある学校「コミュニティ・スクール」を実現するため、校内研修や準備委員会に係る指導助言などを実施する。令和2年度は、コミュニティスクール実施校4校、設置準備校8校を予定。	令和3年度の市内全校におけるコミュニティ・スクールのスタートに向け、学校運営協議会未設置校に準備委員会を立ち上げ、コミュニティ・スクールについての事前協議等を行った。また、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、準備委員や保護者を対象とした、市主催研修の実施が困難な中で、市教育委員会の担当者が講師となり、管理職研修会等で指導講話を行った。	【目標】令和3年度、全ての竹原市立学校に学校運営協議会を設置する。 【目標数値】なし	総務学事課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	育てる"ちから"づくりの推進	281,480				281,480	A	【担当課意見】令和2年度には、コロナ禍でコミュニティ・スクール導入に向けての会議や研修等の実施に制限はあったものの、各学校において学校運営協議会の設置に向けた動きを進めることができた。 【今後の見通し】令和3年度は、各学校運営協議会へ市教育委員会担当者が出席し、コミュニティ・スクールの円滑な推進に向けた支援を行っていくとともに、研修会等の実施を計画する。
	H31～R3	市内の小、中、義務教育学校において、地域とともにある学校づくりを推進するため、令和3年度、全ての学校へ学校運営協議会を設置し、「コミュニティ・スクール」をスタートさせる。	市内全校におけるコミュニティ・スクールの推進に向け、学校運営協議会を設置し、67名の学校運営協議会委員を委嘱した。学校運営協議会委員や教職員、保護者を対象とした、市主催研修等を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、市教育委員会の担当者が各校の学校運営協議会へ参加し助言等をしたり、管理職研修会等で指導講話を行った。	【目標】令和3年度、全ての竹原市立学校に学校運営協議会を設置し、活動を活性化させる。 【目標数値】なし	総務学事課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	育てる"ちから"づくりの推進	259,800				259,800	A	【担当課意見】令和3年度は、コロナ禍で学校運営協議会の開催や研修等の実施に制限はあったものの、各学校において工夫しながら、学校運営協議会としての動きを進めることができた。 【今後の見通し】令和4年度は、引き続き、各学校運営協議会へ市教育委員会担当者が出席し、コミュニティ・スクールの円滑な推進に向けた支援を行っていくとともに、研修会等の実施を計画、実施する。
	H31～R4	市内の小、中、義務教育学校において、全ての学校へ学校運営協議会を設置し、「コミュニティ・スクール」として、組織的な学校運営及び主体的で創意工夫のある教育活動を行うとともに、学校や保護者、地域の人々がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子ども達の豊かな成長を支えていく。	市内全校に設置した学校運営協議会をより活性化することにより、コミュニティ・スクールの推進をめざした。そのために、学校運営協議会委員や教職員、保護者を対象とした、市主催研修等を実施した。また、継続して市教育委員会の担当者が各校の学校運営協議会へ参加し助言等をしたり、管理職研修会等で指導講話を行った。	【目標】令和3年度、全ての竹原市立学校に学校運営協議会を設置し、活動を活性化させる。 【目標数値】なし	総務学事課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	育てる"ちから"づくりの推進	408,259				408,259	A	【担当課意見】各学校へ学校運営協議会を設置することにより、育てたい子どもたちの姿や、目指すべき教育のビジョンを学校と保護者、地域と共有し、学校運営に主体的に参画する体制となった。地域と学校の関係が、協力・依存関係から協働・協創関係へと変わってきた。 【今後の見通し】学校も地域のよさを活かした教育活動を通して、地域を担う人材を育成し、地域の活性化に貢献していけるよう、推進していく。

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元氣プロジェクト		国	県	その他	一財		
3 地域交流センター事業	R2	市内13地域交流センターにおいて、各種教室・講座等の開催を通じ、地域住民に対し「集い、学び、つながる」場を提供し、生涯学習の推進を図る。	・市内13地域交流センターにおいて、各種教室・講座等を開催し、地域住民に対し「集い、学び、つながる」場を提供し、生涯学習の推進を図った。	【目標】 各種教室・講座等開催 【目標数値】 市内13地域交流センター	地域づくり課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像3 市民一人一人が自ら学び、様々な場面で協力しながら活躍している	育てる"ちから"づくりの推進	66,034,386				66,034,386	A	【担当課意見】 ・各地域交流センターにおいて、各種教室・講座等を開催し、地域住民に対し「集い、学び、つながる」場を提供し、生涯学習の推進を図ることが出来た。 【今後の見通し】 ・施設、設備の更新を図り、継続的な生涯学習の場の提供を行うため、計画を検討する。
	R3	市内13地域交流センターにおいて、各種教室・講座等の開催を通じ、地域住民に対し「集い、学び、つながる」場を提供し、生涯学習の推進を図る。	・市内13地域交流センターにおいて、各種教室・講座等を開催し、地域住民に対し「集い、学び、つながる」場を提供し、生涯学習の推進を図った。	【目標】 各種教室・講座等開催 【目標数値】 市内13地域交流センター	地域づくり課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像3 市民一人一人が自ら学び、様々な場面で協力しながら活躍している	育てる"ちから"づくりの推進	63,667,197				63,667,197	A	【担当課意見】 ・コロナ禍の中、各地域交流センターにおいて、閉館期間、人数制限があり、各種教室・講座等を開催することが難しく、地域住民に対し「集い、学び、つながる」場を提供し、生涯学習の推進を図ることが出来た。 【今後の見通し】 ・地域のニーズに合った教室講座を開き、継続的な生涯学習の場の提供を行うため、計画を検討する。
	R4	市内13地域交流センターにおいて、各種教室・講座等の開催を通じ、地域住民に対し「集い、学び、つながる」場を提供し、生涯学習の推進を図る。	・市内13地域交流センターにおいて、各種教室・講座等を開催し、地域住民に対し「集い、学び、つながる」場を提供し、生涯学習の推進を図った。	【目標】 各種教室・講座等開催 【目標数値】 市内13地域交流センター	地域づくり課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像3 市民一人一人が自ら学び、様々な場面で協力しながら活躍している	育てる"ちから"づくりの推進	71,702,715				71,702,715	A	【担当課意見】 ・コロナ禍の中、各地域交流センターにおいて、各種教室・講座等を開催することが難しく、感染対策を取りながら、地域住民に対し「集い、学び、つながる」場を提供し、生涯学習の推進を図ることが出来た。 【今後の見通し】 ・文化生涯学習課と連携し、地域のニーズに合った教室講座を開き、継続的な生涯学習の場の提供を行うため、計画を検討する。
4 学びから始まる地域づくりプロジェクト事業	R3~R4	社会教育・生涯学習を通じた地域の活動とコミュニティ・スクールの取り組みを連携させ、市立学校全校に導入しているコミュニティ・スクールの充実を目指す。	忠海をモデル地域として、事業計画を検討するとともに、児童生徒向けの教室・講座を忠海東地域交流センター、忠海地域交流センターそれぞれで実施し、地域の子どもたちとの繋がりを強化した。	【目標】 コミュニティ・スクールへの取組に対して、地域側からのアプローチモデルを構築し、市内全域へ波及させる。 【目標数値】 なし	文化生涯学習課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像3 市民一人一人が自ら学び、様々な場面で協力しながら活躍している	育てる"ちから"づくりの推進	0					-	【担当課意見】 新型コロナウイルス感染症の影響が見えないうちで、学校との連携促進に課題があったが、地域交流センターの活動の中で児童生徒との繋がりがつくりを推進できた。 【今後の見通し】 学校との連携を図るため、校長等と協議するとともに、学校からの要求に対応できるよう、地域と共に取り組んでいく。
	R4	社会教育・生涯学習を通じた地域の活動とコミュニティ・スクールの取り組みを連携させ、市立学校全校に導入しているコミュニティ・スクールの充実を目指す。	地域と学校のつながりづくりに向けて地域交流センターを中心に各種事業を行い、地域人材の発掘及び人材育成を図った。	【目標】 コミュニティ・スクールへの取組に対して、地域側からのアプローチモデルを構築し、市内全域へ波及させる。 【目標数値】 なし	文化生涯学習課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像3 市民一人一人が自ら学び、様々な場面で協力しながら活躍している	育てる"ちから"づくりの推進	0					B	【担当課意見】 地域と学校との連携促進については、地域交流センターの活動の中で児童生徒との繋がりがつくりを推進できた。 【今後の見通し】 学校との連携を図るため、地域と学校が双方で対応できるよう、地域と共に取り組んでいく。

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財		
5 ICT活用教育整備事業	R3~	GIGAスクール構想の実現に向けICTを活用した基礎学力向上を図るため、市内小中学校等において教師用のデジタル教科書を導入し、児童生徒の定着を図る。	小学校・中学校・義務教育学校にデジタル教科書を整備	【目標】 基礎学力が定着している児童生徒の割合(全国学力学習状況調査通過率の県平均比較) 【目標数値】 H30(現在値)=[小学校]国語0.0%, 算数-0.5%, [中学校]国語-3.0%, 数学-4.5% R5=[小学校]国語3.0%, 算数2.0%, [中学校]国語1.0%, 数学0.5%, 英語2.0% R10=[小学校]国語5.0%, 算数5.0%, [中学校]国語5.0%, 数学5.0%, 英語5.0% ・学力調査の結果全国平均3ポイント以上 【目標】 ICT機器活用度調査 【目標数値】 R1(現在値)=小学校1116時間, 中学校551時間 R5 小学校1200時間, 中学校800時間	総務学事課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	育てる"ちから"づくりの推進	1,586,310円	1,523,757円			62,553円	B	【担当課意見】 1人一台端末の整備により、端末を活用することによる「個別最適な学び」のある授業を目指している。デジタル教科書の導入により、複数の資料を短時間で提示したり、図形を展開し多面的から見たりするような学習など、紙媒体では難しい、効果的な指導が可能となっている。 【今後の見通し】 今後、児童生徒の教科書がデジタル教科書になる方向性も示されている。子供たちの発達や特性、教科の特色をかし、学習方法が選択できるよう、活用方法の充実を図っていく。
6 竹原発スタートアップ支援事業	R4	産業を支える人材を確保・育成・定着させることにより本市の産業を活性化し、賑わいを創出するため、高等専門学校生が地域課題の解決に係る実証事業を通じて、起業に必要な事業者目線の経営知識・経験を養う。	前期課程 ワークショッププログラム 8校 37名参加 ビジネスプラン発表 7校 9チームが発表 後期課程に進む2チームを選定 後期課程 実証プログラム 3月審査会デモまで	【目標】・市内企業で活躍する人材を育成する。 ・起業へつなげる。 ・関係人口の創出を図る。	産業振興課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活力と優しさがあふれるまち	呼び込む"ちから"づくりの推進	582,198			582,198		A	【担当課意見】 当初の見込みどおり全国の高専学校から参加があったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、9月のビジネス発表会は本市での開催が叶わなかった。 【今後の見通し】 引き続きこれまでの育成プログラムは実施していくが、令和5年度は、本市において市内事業書とマッチングしながら実証を行うなど、市内での起業につながる取り組みもあわせて行う予定としている。
7 オンライン学習支援事業	R3~	GIGAスクール構想の一環として令和2年度に導入したChromebookについて、全国的に緊急事態宣言時の遠隔授業のツールとして、また、家庭学習用のツールとして持ち帰りが進められており、これを実施する上で、家庭の通信機器(wifi)を利用することになるが、就学援助世帯に対してあらたに教育活動で発生する負担について就学援助による支援を実施し、全児童生徒が持ち帰り学習ができる体制を構築する。	R3.9月補正によりwifi環境のない家庭へ貸し出すwifiルーターを調達し、R4.1月より貸出している。令和3年度は、中学生に限りR4.1月以降希望者が持ち帰りを実施した。通信契約は各家庭で行っていただき、就学援助対象者(中学生のみ)には、オンライン学習通信費(国基準1,000/月×最大3ヶ月分)を加算して支給した。令和4年度は、小学4年生以上の希望者が持ち帰りを実施し、就学援助対象者には、オンライン学習通信費(国基準1,166円/月×最大12ヶ月分・14,000円)を支給した。	【目的】 就学援助世帯に対してあらたに教育活動で発生する負担について就学援助による支援を実施し、全児童生徒が持ち帰り学習ができる体制を構築する。教育の機会均等を図るとともに、Chromebookの持ち帰りによる家庭学習の充実、学力の向上を図る。 【目標数値】 全児童生徒の持ち帰り学習の実施 R2=0 R3=33% R4=66% R5=77%	総務学事課	将来像2 "文教のまちたけはら"の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	育てる"ちから"づくりの推進	1,572,609	26,832			1,545,777		【担当課意見】 各学校から提出された給与資料に基づき、令和5年3月に対象者へオンライン学習通信費を支給している。 【今後の見通し】 令和5年度は、小学3年生以上、最終的には、小学生全員まで持ち帰り対象者を拡充していく必要があるため、令和6年度以降も予算を確保する必要がある。

個別事業シート

基本目標3 年齢や性別に関わらず多様な人々が元気なまちを竹原の魅力、個性を活かして交流を拡大する

施策の方向性 地域力の強化 ④企業等の連携強化

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)	
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財			
1 広島広域都市圏連携事業	R2	広島広域都市圏の自治体間で、圏域全体の発展に寄与することを目的に、様々な交流と連携を推進する。	職員交流・研修、地域間交流事業、観光PR事業などの事業を実施した。 ・職員交流・研修(R2年4月～) ・観光物産展(R2年9月26日) ・イベント情報誌「リ～ふら」発行(春号、夏号、秋号、冬号)	【目的】 地域資源を積極的に活用し、行政区域を越えた連携の下に、まちの活性化と産業・経済の活力増進、雇用の拡大を図る。 【目標数値】 なし	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	32,714					32,714	B	【担当課意見】 令和2年度には、職員交流・研修、地域間交流事業観光PR事業などの事業を実施した。 【今後の見通し】 令和3年度においても、引き続き各種事業体との連携を積極的に進める。
	R3	広島広域都市圏の自治体間で、圏域全体の発展に寄与することを目的に、様々な交流と連携を推進する。	職員交流・研修、地域間交流事業などの事業を実施した。 ・職員交流・研修(R2年4月～R4年3月) ・イベント情報誌「リ～ふら」発行(夏号(令和3年6月1日発行)、秋号(令和3年9月1日発行)、冬号(令和3年12月1日発行)、春号(令和4年3月1日発行))	【目的】 地域資源を積極的に活用し、行政区域を越えた連携の下に、まちの活性化と産業・経済の活力増進、雇用の拡大を図る。 【目標数値】 なし	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	33,880					33,880	B	【担当課意見】 令和3年度には、職員交流・研修、地域間交流事業などの事業を実施した。 【今後の見通し】 令和4年度においても、引き続き各種事業体との連携を積極的に進める。
	R4	広島広域都市圏の自治体間で、圏域全体の発展に寄与することを目的に、様々な交流と連携を推進する。	職員交流・研修、地域間交流事業などの事業を実施した。 ・職員交流・研修(R4年4月～R5年3月) ・イベント情報誌「リ～ふら」発行(夏号(令和4年6月1日発行)、秋号(令和4年9月1日発行)、冬号(令和4年12月1日発行)、春号(令和5年3月1日発行))	【目的】 地域資源を積極的に活用し、行政区域を越えた連携の下に、まちの活性化と産業・経済の活力増進、雇用の拡大を図る。 【目標数値】 なし	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	50,372					50,372	B	【担当課意見】 令和4年度には、職員交流・研修、地域間交流事業などの事業を実施した。 【今後の見通し】 令和5年度においても、引き続き各種事業体との連携を積極的に進める。
2 広島中央地域連携中核都市圏連携事業	R2	広島中央地域連携中核都市圏(呉市、竹原市、東広島市、江田島市、海田町、坂町、熊野町、大崎上島町)全体の一体感の醸成や圏域内住民の交流及び情報発信を行う。	広島中央地域連携中核都市圏の情報誌を「海陽彩都」発行した。(令和3年4月発行、令和3年10月発行)	【目標】 域内の交流人口の増加を図る。 【目標数値】 なし	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	165,000					165,000	B	【担当課意見】 令和2年度は、圏域内の情報誌「海陽彩都」を発行した。 【今後の見通し】 令和3年度においても、引き続き、情報発信を行う。
	R3	広島中央地域連携中核都市圏(呉市、竹原市、東広島市、江田島市、海田町、坂町、熊野町、大崎上島町)全体の一体感の醸成や圏域内住民の交流及び情報発信を行う。	広島中央地域連携中核都市圏の情報誌を「海陽彩都」発行した。(令和3年4月発行、令和3年10月発行)	【目標】 域内の交流人口の増加を図る。 【目標数値】 なし	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	165,000					165,000	B	【担当課意見】 令和3年度は、圏域内の情報誌「海陽彩都」を発行した。 【今後の見通し】 令和4年度においても、引き続き、情報発信を行う。
	R4	広島中央地域連携中核都市圏(呉市、竹原市、東広島市、江田島市、海田町、坂町、熊野町、大崎上島町)全体の一体感の醸成や圏域内住民の交流及び情報発信を行う。	広島中央地域連携中核都市圏の情報誌を「海陽彩都」発行した。(令和4年4月発行、令和4年10月発行)	【目標】 域内の交流人口の増加を図る。 【目標数値】 なし	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	165,000					165,000	B	【担当課意見】 令和4年度は、圏域内の情報誌「海陽彩都」を発行した。 【今後の見通し】 令和5年度においても、引き続き、情報発信を行う。

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財		
3 広島臨空広域都市圏振興協議会連携事業	R2	広島空港をとりまく4市2町が相互に密接に連携し、空港から臨空都市圏への誘客を図るため、各種観光メニューの作成や、PR活動を実施する。	観光バスツアー、観光メニューの作成、空港アクセスの向上のための調査研究事業などを実施した。 ・観光バスツアー(R3年3月20日) ・アクセス向上に向けた調査研究(R2年~R3年)	【目標】 圏域内の4市2町が連携して事業を行うことにより、圏域全体の振興発展を図る。 【目標数値】 なし	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	328,000				328,000	B	【担当課意見】 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、秋まつりが中止となった。観光バスツアー、観光メニューの作成については、事業を実施した。 【今後の見通し】 令和3年度においても、引き続き、圏域全体の振興発展を図るための事業を実施する。
	R3	広島空港をとりまく4市2町が相互に密接に連携し、空港から臨空都市圏への誘客を図るため、各種観光メニューの作成や、PR活動を実施する。	観光バスツアー、多言語パンフレットの作成、ふれあい秋まつりなどの事業を実施した。また、臨空エリア活性化のため、広島空港株式会社とパートナーシップ協定の締結を行った。 ・観光バスツアー(R4年3月26日、27日) ・広島国際空港株式会社との連携協定締結(R3年9月20日)	【目標】 圏域内の4市2町が連携して事業を行うことにより、圏域全体の振興発展を図る。 【目標数値】 なし	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	328,000				328,000	B	【担当課意見】 令和3年度は、ふれあい秋まつり、観光バスツアー、多言語パンフレット作成などの事業を実施した。 【今後の見通し】 令和4年度においても、引き続き、広島空港株式会社とも連携のもと、圏域全体の振興発展を図るための事業を実施する。
	R4	広島空港をとりまく4市2町が相互に密接に連携し、空港から臨空都市圏への誘客を図るため、各種観光メニューの作成や、PR活動を実施する。	りんくうパノマルシェ、ふれあい秋まつりなどインバウンド向けの誘客事業などの事業を実施した。 ・ふれあい秋まつり(R4年10月16日) ・りんくうパノマルシェ(R5年3月21日)	【目標】 圏域内の4市2町が連携して事業を行うことにより、圏域全体の振興発展を図る。 【目標数値】 なし	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	0				0	B	【担当課意見】 令和4年度は、ふれあい秋まつり、観光バスツアー、多言語パンフレット作成などの事業を実施した。 【今後の見通し】 令和5年度においても、引き続き、広島空港株式会社とも連携のもと、圏域全体の振興発展を図るための事業を実施する。
4 広島ドラゴンフライズ・生協広島等包括連携事業	R2	竹原市と広島ドラゴンフライズは、双方の発展につなげることを目的に連携協定を締結し、竹原市のPRを行うとともに、広島ドラゴンフライズのファン拡大を図る。	広島ドラゴンフライズによるSNS研修会、竹原市の応援デー、広島ドラゴンフライズによる学校訪問などを実施した。 ・SNS研修会(R2年9月11日) ・学校訪問(令和2年8月24日中通小学校、東野小学校) ・広島ドラゴンフライズ応援デー(R3年2月28日)	【目標】 竹原市、広島ドラゴンフライズが有する資源を活用し、地域活性化を図り、双方の発展につなげる。 【目標数値】 なし	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	55,540				55,540	B	【担当課意見】 令和2年度は、広島ドラゴンフライズによるSNS研修会、竹原市の応援デー、広島ドラゴンフライズによる学校訪問などを実施した。 【今後の見通し】 令和3年度は、応援デーの実施、広島ドラゴンフライズの選手による、竹原市のPR事業を実施する。
	R3	竹原市と広島ドラゴンフライズは、双方の発展につなげることを目的に連携協定を締結し、竹原市のPRを行うとともに、広島ドラゴンフライズのファン拡大を図る。	広島ドラゴンフライズによる学校訪問などを実施した。 ・学校訪問(令和3年7月15日竹原西小学校、仁賀小学校) ・広島ドラゴンフライズ応援ツアー(R4年2月5日、令和4年3月27日)※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	【目標】 竹原市、広島ドラゴンフライズが有する資源を活用し、地域活性化を図り、双方の発展につなげる。 【目標数値】 なし	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	93,180				93,180	B	【担当課意見】 令和3年度は、広島ドラゴンフライズによる学校訪問を実施した。応援ツアーについては、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 【今後の見通し】 令和4年度は、応援ツアーの実施、広島ドラゴンフライズの選手による、竹原市のPR事業を実施する。
	R4	竹原市と広島ドラゴンフライズは、双方の発展につなげることを目的に連携協定を締結し、竹原市のPRを行うとともに、広島ドラゴンフライズのファン拡大を図る。	広島ドラゴンフライズの試合において、市応援デーを実施し、大型ビジョンでのPR、ブースの設置、たけはらファンクラブでのPRなど竹原市の魅力の発信を行った。 広島ドラゴンフライズによる学校訪問を実施した。 ・広島ドラゴンフライズ応援デー(R5年2月12日) ・学校訪問(令和4年7月14日大乗小学校)	【目標】 竹原市、広島ドラゴンフライズが有する資源を活用し、地域活性化を図り、双方の発展につなげる。 【目標数値】 なし	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	512,440				512,440	B	【担当課意見】 令和4年度は、竹原市の応援デー、広島ドラゴンフライズによる学校訪問などを実施した。 【今後の見通し】 令和5年度は、引き続き、応援デーの実施、学校訪問などを実施する。

個別事業シート

基本目標3 年齢や性別に関わらず多様な人々が元気なまちを
竹原の魅力、個性を活かして交流を拡大する

施策の方向性 地域力の強化 ⑤関係人口の創出・拡大

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度を取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元氣プロジェクト		国	県	その他	一財		
1 シティプロモーション事業【再掲】	R2	市民のまちへの誇りと愛着を高めるとともに、市内外の人々から「選ばれるまち」となり、本市に「訪れたい」「関わりたい」「住みたい」人を増やすため、各種シティプロモーション事業を実施する。	「たけはらファンクラブ」の創設・運営、広島ドラゴンフライズとの連携、わがまち魅力発信隊による本市のPR実施を実施した。	【目的】 市民のまちへの誇りと愛着を高めるとともに、市内外の人々から「選ばれるまち」となり、本市に「訪れたい」「関わりたい」「住みたい」人を増やす。 【目標数値】 たけはらファンクラブ加入者数 R3.3(現在値)=864、R6=200 転出超過数 H30=320人、R6=144人	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	呼び込む"ちから"づくりの推進	454,372				454,372	B	【担当課意見】 令和2年8月に、本市を応援していただく人達で組織する「たけはらファンクラブ」を創設した。 【今後の見通し】 「たけはらファンクラブ」については、情報発信のみでなく、本市との関係性が深まる取組を進めていく。また、広島ドラゴンフライズとの連携事業やわがまち魅力発信隊による本市のPR事業に関しては引き続き継続して行う。
	R3	市民のまちへの誇りと愛着を高めるとともに、市内外の人々から「選ばれるまち」となり、本市に「訪れたい」「関わりたい」「住みたい」人を増やすため、各種シティプロモーション事業を実施する。	「たけはらファンクラブ」の創設・運営、広島ドラゴンフライズとの連携、わがまち魅力発信隊による本市のPR実施を実施した。	【目的】 市民のまちへの誇りと愛着を高めるとともに、市内外の人々から「選ばれるまち」となり、本市に「訪れたい」「関わりたい」「住みたい」人を増やす。 【目標数値】 たけはらファンクラブ加入者数 R4.3(現在値)=990、R6=200 転出超過数 H30=320人、R6=144人	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	呼び込む"ちから"づくりの推進	1,078,925			1,078,625	300	B	【担当課意見】 たけはらファンクラブについて、SNSで地域の魅力やイベント情報など竹原市にまつわる様々な情報を発信を行った。会員と地域住民との交流会については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 【今後の見通し】 「たけはらファンクラブ」については、会員と地域住民との交流会など本市との関係性が深まる取組を進めていく。また、広島ドラゴンフライズとの連携事業やわがまち魅力発信隊による本市のPR事業に関しては引き続き継続して行う。
	R4	市民のまちへの誇りと愛着を高めるとともに、市内外の人々から「選ばれるまち」となり、本市に「訪れたい」「関わりたい」「住みたい」人を増やすため、各種シティプロモーション事業を実施する。	「たけはらファンクラブ」の運営、広島ドラゴンフライズとの連携、わがまち魅力発信隊による本市のPR実施を実施した。	【目的】 市民のまちへの誇りと愛着を高めるとともに、市内外の人々から「選ばれるまち」となり、本市に「訪れたい」「関わりたい」「住みたい」人を増やす。 【目標数値】 たけはらファンクラブ加入者数 R5.3(現在値)=1,182、R6=200 転出超過数 H30=320人、R6=144人	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	呼び込む"ちから"づくりの推進	1,271,490				1,271,490	A	【担当課意見】 たけはらファンクラブについて、SNSで地域の魅力やイベント情報など竹原市にまつわる様々な情報を発信を行った。また、会員と地域住民との交流会イベントを2回実施した。 【今後の見通し】 会員と地域住民との交流会など本市との関係性が深まる取組を進めていく。また、広島ドラゴンフライズ、わがまち魅力発信隊など本市のPR事業に関しては引き続き継続して行う。
2 ふるさと納税推進事業	-	ふるさと納税に係る他自治体との競争環境激化や寄附者の利便性向上が求められている中で、新規ふるさと納税プラットフォームの追加及び返礼品の拡充等を行うことにより、歳入増加と市のPRを図る。	新規プラットフォームの追加に伴う間口拡大による新規寄附者の獲得と返礼品の追加、紙媒体やサイト内での広告を行い寄附金額の増加及び市のPRが図ることができた。	【目的】 寄附金額の増加及び竹原市のPRを図る。 【目標数値】 70,000,000円	総務課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	-	63,476,805				63,476,805	A	【担当課意見】 R2年度に新規プラットフォーム等の追加や広告を行うことにより寄附額の増加やPRにつなぐことができた。 【今後の見通し】 さらなるプラットフォームや返礼品の追加を行いながら、メールマガジン等の情報発信を行い寄附金額及び関係人口の増加を図る。
	R3	ふるさと納税に係る他自治体との競争環境激化や寄附者の利便性向上が求められている中で、新規ふるさと納税プラットフォームの追加及び返礼品の拡充等を行うことにより、歳入増加と市のPRを図る。	新規プラットフォームの追加に伴う間口拡大による新規寄附者の獲得と返礼品の追加、サイト内での広告を行い寄附金額の増加及び市のPRが図ることができた。	【目的】 寄附金額の増加及び竹原市のPRを図る。 【目標数値】 70,000,000円	総務課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	-	83,638,280				83,638,280	A	【担当課意見】 R3年度も引き続き、新規プラットフォーム等の追加や広告を行うことにより寄附額の増加やPRにつなぐことができた。 【今後の見通し】 さらなるプラットフォームや返礼品の開発・追加を行いながら、メールマガジン等の情報発信を行い寄附金額及び関係人口の増加を図る。
	R4	ふるさと納税に係る他自治体との競争環境激化や寄附者の利便性向上が求められている中で、新規ふるさと納税プラットフォームの追加及び返礼品の拡充等を行うことにより、歳入増加と市のPRを図る。	納税額の更なる増加を図るため、寄附者情報の管理及び商品開発等の業務を民間事業者へ委託した。また、新規プラットフォームの追加に伴う間口拡大による新規寄附者の獲得と返礼品の追加、サイト内での広告を行い寄附金額の増加及び市のPRが図ることができた。	【目的】 寄附金額の増加及び竹原市のPRを図る。 【目標数値】 70,000,000円		将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	-	83,299,825				83,299,825	A	【担当課意見】 R4年度は寄附者情報の管理や商品開発等の業務を民間事業者へ委託するとともに、新規プラットフォームの追加や広告を行うことによりPRに繋げることができた。 【今後の見通し】 R4年度は上記業務の準備期間もあったため寄附額が減少したものの、令和5年度はプラットフォームの充実や更なる返礼品の開発・追加により寄附金額及び関係人口の増加が期待できる。

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財		
3 関係人口及び移住・定住人口創出事業(再掲)	R3	移住に関心がある方や竹原市と関わりを持つ方と、先輩移住者や地域住民とのつながりをつくるため、関係人口及び移住定住人口創出・拡大のイベントを実施する。	地域づくりを実践されている方をゲストに招いたオンラインセミナーを実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により、現地ツアーについては、中止となった。	【目標】 関係人口及び移住・定住人口の増加による、地域振興を図る。 【目標数値】 移住者数(施策に関連した者に限る) R4(現在値)=8人、R2-R6=50	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に生まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	呼び込む"ちから"づくりの推進	444,000			444,000	0	B	【担当課意見】 令和3年度は、地域づくりを実践されている方をゲストに招いたオンラインセミナーを実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により、現地ツアーは中止となった。 【今後の見通し】 令和4年度は、セミナーの実施と併せて、地域を知り・体験していただく現地ツアーを実施する。
	R4	移住に関心がある方や竹原市と関わりを持つ方と、先輩移住者や地域住民とのつながりをつくるため、関係人口及び移住定住人口創出・拡大のイベントを実施する。	地域づくりを実践されている方をゲストに招いたオンライン移住・定住セミナーを実施した。ワーケーションや二拠点居住に興味がある方を対象に、竹原暮らしを体験できる移住定住体験ツアーを実施した。	【目標】 関係人口及び移住・定住人口の増加による、地域振興を図る。 【目標数値】 移住者数(施策に関連したものに限る) R4年度(現在値)=19人 R2~R6=50人(累計)			呼び込む"ちから"づくりの推進	8,686,260	4,235,000			4,451,260	A	【担当課意見】 関係・移住定住人口創出・拡充イベントについては、ワーケーションや二拠点居住に興味がある方を対象に、竹原暮らしを体験できる移住定住体験ツアーを実施した。 【今後の見通し】 令和5年度は、観光まちづくり機構と連携し、セミナーの実施と併せて、地域を知り・体験していただく現地ツアーを実施する。
4 自治体間等連携・交流事業	R3	関係人口の創出・拡大を図るため、自治体間で双方の資源を活用した連携・交流事業を実施する。	北海道余市町と連携し、ふるさと納税返礼品のコラボ事業を実施した。竹原市、三原市、尾道市、JR西日本の4者が「せとうちファンづくり協定」を締結し、関係人口の創出・拡大を図った。東京竹原会30周年記念行事については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。	【目標】 関係人口の創出・拡大を図る。 【目標数値】 たけはらファンクラブ加入者数 R4.3(現在値)=990、R6=200	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に生まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	呼び込む"ちから"づくりの推進	0			0	0	B	【担当課意見】 令和3年度は、北海道余市町と連携し、ふるさと納税返礼品のコラボ事業を実施した。東京竹原会30周年記念行事については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 【今後の見通し】 令和4年度は、せとうちファンづくりプロジェクトとして、農繁期の人手不足をテーマに、地元農家とのマッチングを行い、関係人口の創出拡大を図る。北海道余市町との連携、東京竹原会30周年記念行事については、継続して実施していく。
	R4	関係人口の創出・拡大を図るため、自治体間で双方の資源を活用した連携・交流事業を実施する。	竹原市、三原市、尾道市、JR西日本の4者が「せとうちファンづくり協定」を締結し、関係人口の創出・拡大を図った。東京竹原会記念行事については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。	【目標】 関係人口の創出・拡大を図る。 【目標数値】 たけはらファンクラブ加入者数	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に生まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	呼び込む"ちから"づくりの推進	0				0	B	【担当課意見】 東京竹原会記念行事については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 【今後の見通し】 令和5年度は、北海道余市町との連携、東京竹原会記念行事については、継続して実施していく。
5 たけはらファンクラブ運営事業(再掲)	R3	本市に愛着を持ち、継続的に多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大を図るため、竹原市を好きで応援してくれる人達で組織する「たけはらファンクラブ」を創設し、ファンクラブでの関わりを通して、まちの賑わい創出やまちづくりの新たな担い手として期待できる人材を確保する。	会員に向けて、SNSで地域の魅力やイベント情報など竹原市にまつわる様々な情報を発信を行った。会員と地域住民との交流会については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。	【目標】 まちの賑わい創出やまちづくりの新たな担い手として期待できる人材を確保する。 【目標数値】 たけはらファンクラブ加入者数 R4.3(現在値)=990、R6=200	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に生まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	呼び込む"ちから"づくりの推進	54,045			53,745	300	A	【担当課意見】 令和3年度は、SNSで地域の魅力やイベント情報など竹原市にまつわる様々な情報を発信を行った。会員と地域住民との交流会については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 【今後の見通し】 令和4年度は、会員と地域住民との交流会など本市との関係性が深まる取組を進めていく。
	R4	本市に愛着を持ち、継続的に多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大を図るため、竹原市を好きで応援してくれる人達で組織する「たけはらファンクラブ」を創設し、ファンクラブでの関わりを通して、まちの賑わい創出やまちづくりの新たな担い手として期待できる人材を確保する。	会員に向けて、SNSで地域の魅力やイベント情報など竹原市にまつわる様々な情報を発信を行った。地域と継続的なつながりを持つ機会やきっかけを提供するため、農業体験や交流イベントを2回実施した。	【目標】 まちの賑わい創出やまちづくりの新たな担い手として期待できる人材を確保する。 【目標数値】 たけはらファンクラブ加入者数	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に生まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	呼び込む"ちから"づくりの推進	25,828				25,828	A	【担当課意見】 令和4年度は、SNSで地域の魅力やイベント情報など竹原市にまつわる様々な情報を発信を行った。また会員と地域住民との交流イベントを2回実施した。 【今後の見通し】 会員と地域住民との交流会など本市との関係性が深まる取組を進めていく。
6 わがまち魅力発信隊事業	R3	広島東洋カーブの試合日に、マツダスタジアムに「わがまち魅力発信隊」として参加し、市の魅力を発信する。	特産品の販売、「たけはらファンクラブ」のPR、観光パンフレットの配布、大型ビジョンでの市の魅力の発信を行った。	【目標】 市の魅力発信を行うことにより、交流人口・関係人口の増加を図る。 【目標数値】 なし	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に生まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	287,720			287,720		B	【担当課意見】 令和3年度には、市の魅力発信に加えて、たけはらファンクラブのPRを行った。 【今後の見通し】 引き続き、市の魅力発信やたけはらファンクラブのPRなどの取り組みを進める。
	R4	広島東洋カーブの試合日に、マツダスタジアムに「わがまち魅力発信隊」として参加し、市の魅力を発信する。	特産品の販売、「たけはらファンクラブ」のPR、観光パンフレットの配布、大型ビジョンでの市の魅力の発信を行った。	【目標】 市の魅力発信を行うことにより、交流人口・関係人口の増加を図る。 【目標数値】 なし	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に生まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	294,500			294,500		B	【担当課意見】 令和4年度は、市の魅力発信及びたけはらファンクラブのPRを行った。 【今後の見通し】 引き続き、市の魅力発信やたけはらファンクラブのPRなどの取り組みを進める。

個別事業シート

基本目標3 年齢や性別に関わらず多様な人々が元気なまちを竹原の魅力、個性を活かして交流を拡大する

施策の方向性 まちの魅力向上 ①歴史・文化を活かしたまちづくりの推進

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財		
1 文化財管理事業	R2	・文化財の維持管理及び文化4施設(旧森川家住宅、旧松阪家住宅、旧光本家住宅、歴史民俗資料館)の管理する。 ・旧吉井家住宅管理及びその他文化財を管理する。	・指定文化財管理及び整備委託 ・文化4施設の直営化 ・全国重伝建地区パネル展の実施 ・竹原市重要文化財「駕籠」「弾薬輸送庫」展示の実施 【実績】 R元年度実績 44,551人 R2年度実績 10,661(▲33,890)	【目的】 文化財及び文化施設の適切な管理を行う。 【目標数値】 文化4施設の入館者数64,000人以上	文化生涯学習課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	18,599,219				18,599,219	C	【担当課意見】 R2年度には、文化4施設を直営化を実施し、来訪者へのアンケート調査により施設利用者の傾向分析等を行った。また、各施設における新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施した。 【今後の見通し】 引き続き文化財及び文化施設の整備・活用に取り組むとともに、文化施設に於けるキャッシュレス決済の導入による接触機会の減少等、感染拡大防止対策を行う。
	R3	・文化財を維持管理し、文化4施設(旧森川家住宅、旧松阪家住宅、旧光本家住宅、歴史民俗資料館)を管理運営する。 ・旧吉井家住宅及びその他文化財を管理する。	・指定文化財管理及び整備委託 ・文化4施設の公開 ・文化4施設に体温表示システムを導入 ・竹原市重要文化財「駕籠」「弾薬輸送庫」展示の実施 【実績】 R2年度実績 11,000人 R3年度実績 12,000人	【目的】 文化財及び文化施設の適切な管理を行う。 【目標数値】 文化4施設の入館者数64,000人以上	文化生涯学習課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	16,503,734			2,447,520	14,056,214	C	【担当課意見】 令和3年度は、文化4施設で新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、展示の充実に取り組んだ。 【今後の見通し】 引き続き文化財及び文化施設の管理・活用に取り組むとともに、文化4施設でキャッシュレス決済の導入等新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、企画展示を実施する。
	R4	・文化財を維持管理し、文化4施設(旧森川家住宅、旧松阪家住宅、旧光本家住宅、歴史民俗資料館)を管理運営する。 ・旧吉井家住宅及びその他文化財を管理する。	・指定文化財管理及び整備委託 ・文化4施設の公開 ・文化4施設にキャッシュレス決済を導入 ・ゴールデンウィーク期間限定の開館時間の拡大・特別公開 ・アート作品の制作公開・展示 【実績】 R3年度実績 12,000人 R4年度実績 25,000人	【目的】 文化財及び文化施設の適切な管理を行う。 【目標数値】 文化4施設の入館者数64,000人以上	文化生涯学習課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	17,639,054			5,048,542	12,590,512	B	【担当課意見】 令和4年度は、文化4施設で新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、特別公開等に取り組んだ。 【今後の見通し】 引き続き文化財及び文化施設の管理・活用に取り組むとともに、文化4施設が魅力ある施設となるよう企画展示やイベントを実施する。
2 日本遺産(北前船寄港地)活用事業	R2	・日本遺産「北前船」に関連する事業の実施。	・日本遺産「北前船」パンフレットの発行 ・北前船日本遺産推進協議会への参加	【目的】 日本遺産「北前船」の普及啓発を行う。 【目標数値】 なし	文化生涯学習課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	1,094,000				1,094,000	—	【担当課意見】 令和元年度に日本遺産「北前船」の認定を受け、令和2年度は「北前船」の概要を含むパンフレットを作成した。 【今後の見通し】 引き続き、日本遺産「北前船」の普及啓発を行うため、北前船日本遺産推進協議会と連携しながら、展示等の事業を実施する。
	R3	日本遺産「北前船」に関する事業を実施する。	・「北前船」に関する冊子を市立竹原書院図書館、市立学校等に配付 ・北前船日本遺産推進協議会への参加	【目的】 日本遺産「北前船」の普及啓発を行う。 【目標数値】 なし	文化生涯学習課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	500,000				500,000	—	【担当課意見】 令和3年度は、日本遺産「北前船」に関する冊子の配付を行い、啓発を行った。 【今後の見通し】 引き続き、日本遺産「北前船」の普及啓発を行うため、北前船日本遺産推進協議会と連携しながら、展示等の事業を実施する。
	R4	日本遺産「北前船」に関する事業を実施する。	・自治体広報紙での北前船寄港地の紹介(中国・四国エリア8市町) ・出前講座の実施 ・北前船日本遺産推進協議会への参加	【目的】 日本遺産「北前船」の普及啓発を行う。 【目標数値】 なし	文化生涯学習課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	500,000				500,000	—	【担当課意見】 令和4年度は、日本遺産「北前船」について自治体広報紙での紹介等を行い、啓発を行った。 【今後の見通し】 引き続き、日本遺産「北前船」の普及啓発を行うため、北前船日本遺産推進協議会と連携した取組を進めるとともに、広報たけはらで北前船に関する連載を行う。

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財		
3 景観形成推進事業 (景観計画策定事業)	R1~R3	本市の優れた自然景観や歴史・文化景観等の保全・育成と次世代への継承のため景観計画を策定し、市民の景観に対する意識高揚を図り、主体的な景観まちづくりにつなげる。 ・竹原市景観計画の策定 ・景観条例等の策定 など	住民投票や景観計画策定委員会による竹原市景観17選の選定 景観勉強会や景観計画策定委員会等による竹原市景観計画の検討	【目標】 令和3年度竹原市景観計画の策定・公表及び景観条例の制定 【目標数値】 景観づくり団体数 2団体	都市整備課	将来像1 自然・歴史・文化に生まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	呼び込む"ちから"づくりの推進	116,080					116,080	A 【担当課意見】 R2年度は住民との景観づくり勉強会での景観づくりの意識醸成や景観計画策定委員会での計画に対する審議が進められた。 【今後の見通し】 景観計画に関する住民との合意形成を進め、竹原市景観計画策定委員会や竹原市都市計画審議会にて審議を経て、計画策定を行う。
	R3	本市の優れた自然景観や歴史・文化景観等の保全・育成と次世代への継承のため景観計画を策定し、市民の景観に対する意識高揚を図り、主体的な景観まちづくりにつなげる。 ・竹原市景観計画の策定 ・景観条例等の策定 など	竹原市景観計画策定委員会及び竹原市都市計画審議会等による景観計画の策定・公表 竹原市景観条例及び竹原市屋外広告物条例の制定	【目標】 令和3年度竹原市景観計画の策定・公表及び景観条例の制定 【目標数値】 景観づくり団体数 2団体	都市整備課	将来像1 自然・歴史・文化に生まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	呼び込む"ちから"づくりの推進	7,194,480					7,194,480	A 【担当課意見】 令和3年度は、令和4年2月議会において竹原市景観条例及び屋外広告物条例を制定し、令和4年3月に竹原市景観計画を公表した。 【今後の見通し】 各種届出制度や景観に資する補助事業など、景観施策を進めることにより市民の景観意識の醸成を図り、景観街づくりを進めるための景観づくり団体設立に向けた取組を進める。 景観審議会による景観重要建築物、公共施設、樹木等の指定に取り組む。
	R4	本市の優れた自然景観や歴史・文化景観等の保全・育成と次世代への継承のため景観計画を策定し、市民の景観に対する意識高揚を図り、主体的な景観まちづくりにつなげる。 ・竹原市景観計画の策定 ・景観条例等の策定 など	・令和4年7月1日から竹原市景観条例及び竹原市屋外広告物条例を施行し、本市独自の景観行政を開始 ・景観重点地区内において、既存不適格建築物等の外観変更などに対する補助制度を開始 ・景観づくり団体設立に向けて、関係団体と協議を開始	【目標】 令和3年度竹原市景観計画の策定・公表及び景観条例の制定 【目標数値】 景観づくり団体数 2団体	都市整備課	将来像1 自然・歴史・文化に生まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	呼び込む"ちから"づくりの推進	200,000					200,000	A 【担当課意見】 令和4年度は、竹原市景観条例及び屋外広告物条例の施行、補助制度を開始するなど具体的な規制・補助の運用を開始した。 【今後の見通し】 各種届出制度や景観に資する補助事業など、景観施策を進めることにより市民の景観意識の醸成を図るとともに、景観づくり団体設立に向けた協議を進める。 景観審議会による景観重要建築物、公共施設、樹木等の指定に取り組む。
4 歴史的建造物活用社会実験等実施事業	R3	市有の歴史的建造物の活用に関する社会実験を実施する。	民間事業者による社会実験の事業者を公募し、決定した。	【目標】 歴史的建造物の社会実験を実施する。 【目標数値】 なし	文化生涯学習課	将来像1 自然・歴史・文化に生まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	呼び込む"ちから"づくりの推進	990,000					990,000	— 【担当課意見】 令和3年度は、市有の歴史的建造物について、民間事業者による社会実験の事業者を公募し、決定した。 【今後の見通し】 民間事業者による社会実験を実施し、その事業内容等について評価・分析を行う。
	R4	市有の歴史的建造物の活用に関する社会実験を実施する。	民間事業者による社会実験を実施し、その事業内容等について評価・分析を行った。	【目標】 歴史的建造物の社会実験を実施する。 【目標数値】 なし	文化生涯学習課	将来像1 自然・歴史・文化に生まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	呼び込む"ちから"づくりの推進	990,000					990,000	— 【担当課意見】 令和4年度は、市有の歴史的建造物について、民間事業者による社会実験を実施し、その成果の評価を行い、今回の社会実験は終了した。 【今後の見通し】 今回の社会実験等の成果を踏まえ、今後の歴史的建造物活用の実施方針の作成を行う。
5 重伝建選定40周年記念事業	R4	町並み保存地区の重要伝統的建造物群保存地区の選定40周年を記念した事業を実施する。	・記念式典・記念講演会の開催 ・芸術作品の展示 ・記念写真集の作成	【目標】 重伝建選定40周年の記念事業を実施する。 【目標数値】 なし	文化生涯学習課	将来像1 自然・歴史・文化に生まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	1,289,200					1,289,200	— 【担当課意見】 重伝建選定40周年を記念した各取組を実施し、今回の記念事業は終了した。 【今後の見通し】 次回は重伝建選定50周年に当たる年(令和14年)に実施する予定

個別事業シート

基本目標3 年齢や性別に関わらず多様な人々が元気なまちを竹原の魅力、個性を活かして交流を拡大する

施策の方向性 まちの魅力向上 ②地域資源を活かした観光・交流の更なる推進

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財		
1 観光プロモーション事業	R2	首都圏からの観光客及び訪日外国人をターゲットに観光プロモーションを行い、新たな観光客の誘致及び観光消費額の増加の繋げる。	①旅行商品の造成・販売 ②広告媒体を活用した情報発信(国内向け) ③謎解きイベントの実施 ④広告媒体を活用した情報発信(国外向け)	【目的】 観光客数及び観光消費額の増加 【目標数値】 ①観光消費額500万円以上 ②広告換算額500万円以上 ③観光消費額500万円以上 ④広告換算額500万円以上	産業振興課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	呼び込む"ちから"づくりの推進	9,797,612	4,898,806			5,000,000	B	【担当課意見】 新型コロナウイルス感染症の影響で事業内容の変更が生じたが、社会情勢に適応した効果的なプロモーションを実施できた。 【今後の見通し】 国内及び国外からの観光客の誘客も目的に、市場調査を実施するなど、一体的な観光プロモーションを行う。
	R3	訪日外国人観光客をターゲットに観光プロモーションを行い、新たな観光客の誘致及び観光消費額の増加の繋げる。	①マーケティング調査・分析 ②観光プロダクト造成 ③市内周遊・消費喚起促進企画 ④情報発信	【目的】 観光客数及び観光消費額の増加 【目標数値】 ①観光消費額500万円以上 ②広告換算額500万円以上 ③観光消費額500万円以上 ④広告換算額500万円以上	産業振興課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	呼び込む"ちから"づくりの推進	7,998,100	3,998,100			4,000,000	A	【担当課意見】 新型コロナウイルス感染症の影響で事業内容の変更が生じたが、社会情勢に適応した効果的なプロモーションを実施できた。 【今後の見通し】 アフターコロナを見据えた国外からの観光客の誘客も目的に、マーケティング調査を行った結果等を踏まえながら、旅行商品の造成・販売を実施していく。
	R4	訪日外国人観光客をターゲットに観光プロモーションを行い、新たな観光客の誘致及び観光消費額の増加の繋げる。	①マーケティング調査・分析 ②観光プロダクト造成 ③市内周遊・消費喚起促進企画 ④情報発信	【目的】 観光客数及び観光消費額の増加 【目標数値】 ①観光消費額500万円以上 ②広告換算額500万円以上 ③観光消費額500万円以上 ④広告換算額500万円以上	産業振興課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	呼び込む"ちから"づくりの推進	7,997,000	3,998,500			3,998,500	A	【担当課意見】 新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、予定通りファムツアーやテストマーケティング等を実施できた。 【今後の見通し】 これまで達成した観光プロダクトや旅行商品を海外にも売り出していき、国内のみならず国外からの観光客の誘客に繋げていく。
2 公共無料Wi-Fi事業	R2~R3	広島県観光連盟のデジタル技術等を活用した観光地スマート化推進事業補助金を活用して忠海地区のWi-Fi整備を行い、観光客の受入環境整備を行った。	現在4か所に設置しているHiroshima Free Wi-Fiのうち、忠海駅と忠海港のLTE回線をタネット回線に切り替え、大久野島にAPを新設した。	【目的】 国内外からの観光客の受入環境整備として、既存のHiroshimaフリーWi-Fiの通信の安定化を図り、同時多数接続にも対応する。また、大久野島にAPを新規で設置する。 【目標数値】 なし	産業振興課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	1,857,900	371,900	1,486,000			A	【担当課意見】 忠海駅と忠海港を光回線に切り替えることで通信が安定した。また、大久野島第2棧橋に新たにHiroshimaフリーWi-Fiのアクセスポイントを設置することで観光客が気軽にインターネットを利用できる環境が整った。 【今後の見通し】 Wi-Fiのログデータから得られる情報をマーケティングに活用する。また、Wi-Fiを利用してキャッシュレス対応等の取組みを推進する。
	R2~R3	広島県観光連盟のデジタル技術等を活用した観光地スマート化推進事業補助金を活用して忠海地区のWi-Fi整備を行い、観光客の受入環境整備を行った。	現在4か所に設置しているHiroshima Free Wi-Fiのうち、忠海駅と忠海港のLTE回線をタネット回線に切り替え、大久野島にAPを新設した。	【目的】 国内外からの観光客の受入環境整備として、既存のHiroshimaフリーWi-Fiの通信の安定化を図り、同時多数接続にも対応する。 【目標数値】 なし	産業振興課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	607,860	53,460			544,400	A	【担当課意見】 竹原駅・町並み保存センター・忠海駅・忠海港・大久野島棧橋に加え、町並み保存地区の文化4施設にHiroshima Free Wi-Fiを設置し、文化4施設ではキャッシュレス決済を導入した。 【今後の見通し】 既設APを適切に維持管理し、サービスを継続する。
3 観光地域づくり法人(DMO)設立事業	R4	地域の特性を生かした観光施策を展開するため、地域資源とその課題を掘り起こし、指針となる観光振興ビジョン(仮称)を策定し、観光客の誘致や地域資源の高付加価値化を実行する官民が連携した「観光地域づくり法人」の設立に取り組む。	一般社団法人竹原観光まちづくり機構の設立	【目的】 持続可能な観光まちづくりを実現するために、竹原ブランドの形成に向けた諸事業に戦略的に取り組み、新たな価値を創造する専門的機能を持つことで顧客満足度の高い事業の充実を図り、経済の発展、自然環境との共生並びに竹原市民の生活と文化の向上など、地域の活性化に寄与すること。 【目標数値】 なし	産業振興課 企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	呼び込む"ちから"づくりの推進	1,436,000					—	【担当課意見】 「竹原市」「竹原商工会議所」「竹原市観光協会」の3団体が「竹原観光まちづくり法人設立準備委員会」を立ち上げ、本市の観光振興やまちづくり事業における課題や現状を共有、各事業の方向性などを協議し、令和4年12月に「一般社団法人竹原観光まちづくり機構」を設立した。 【今後の見通し】 観光地域づくり法人(DMO)への登録を目指す。持続可能な観光まちづくりに取り組む。